

特命子ども地域アクター養成アクション

子どもと大人がともに地域に参画し合う社会基盤構築を目指して

かながわ子どもの地域社会参画推進会議



事務局となっているNPO法人ミニシティ・プラスについて



NPO法人ミニシティ・プラスでは・・・
子どもたちが自主的に仮想のまちを創るプロジェクト
「ミニヨコハマシティ」を2007年から行なっています

ミニヨコハマシティは、19才以下の子どもたちが、
大人口出し禁止で自由な発想で創るまちです。
子どもたちは、まちで働き、ミニヨンを稼ぎ、
遊んだり、食べたり、また働いたりします。

NPO法人ミニシティ・プラスの理念

私たちミニシティ・プラスは、「まちはそこに暮らす人、かかわる人たちで創り上げていく」という理念から、まちの中で暮らす人が「まちについて知り」「まちのことを想い」「まちにかかわる」ために有効な事業をしていきます。

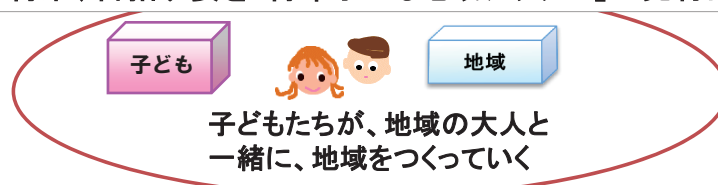
特に未来を担う子どもたちが、自由な発想で社会について知り、体験し、考えるチャンスをつくり、その中で自分らしさが活かせる生き方を自分の力で見つけられるように促していきます。また、「まちづくり」を通して、大人も子どもも、「生まれてきたすべての人が社会の大切な一員であることを互いに認めあい、助け合ってこそより良い社会がつくられる」ということを、楽しみながら学んでいくことを目指します。

特命子ども地域アクターとは？

3

- この提案のモトとなった「神奈川県青少年問題協議会」では、子どもの視点から意見や提案をもらうため、平成23年度に「特命子ども委員」を募集し、8名の中学生・高校生が審議に参加している。
- この「特命子ども委員」は平成23年度末に任期が終わるが、希望があれば、継続して参加し、まちづくりの現場でも活躍してもらいたい。
- さらに、県内の子どもたちに「特命子ども地域アクター」への応募を広く呼びかけ、24年度は30名の子どもたちと一緒にまちづくりに取り組んでいきたい。

将来、目指す姿を「特命子ども地域アクター」が先行的に実施する



子ども



本来、自由で主体性をもった子どもたちのはずなのに…

家、学校、塾だけを行き来する**専門子ども**が増え、多様な人とのコミュニケーションが取れていない。

地域の中で遊んだり、暮らしたりできていない。

主体的でない、社会性がない
→**ニートひきこもりの問題**

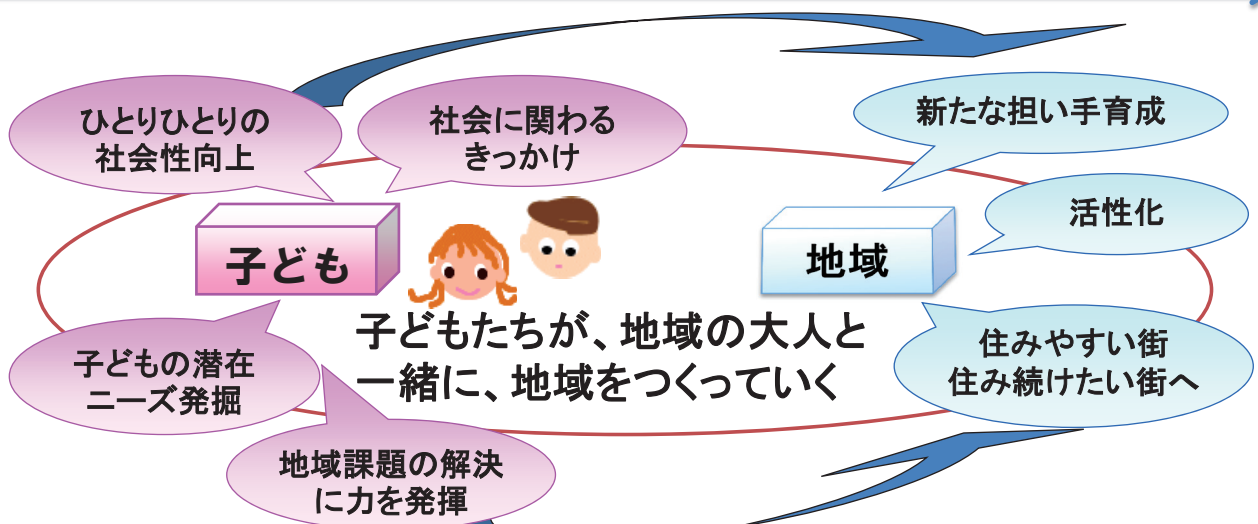
地域

自治会町内会、公園愛護会、地域活動、ボランティア団体の**高齢化、固定化**

子どもたちが関わる際には「お客さま」や「若い労力」「にぎやかし」だけで、子どもたちの満足度が低く、**地域活動に定着する次世代育成**ができていない。

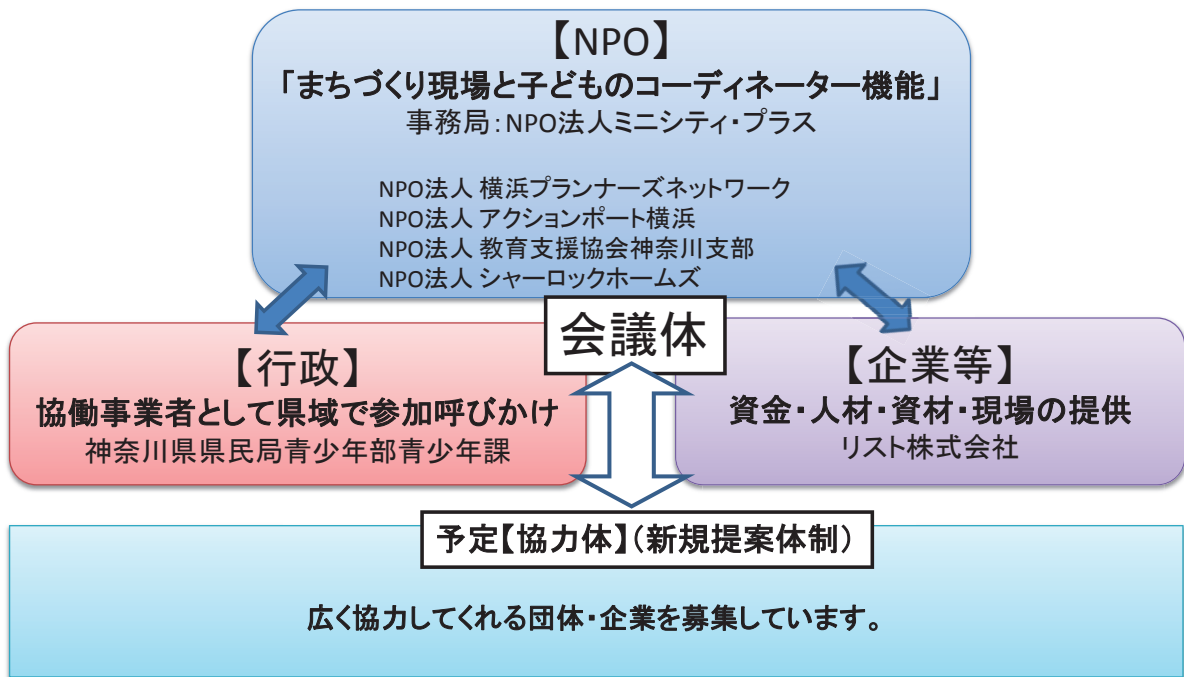
本来つながっているはずのものが切れている

目指す姿



例)

- ・自治会町内会主催の防災訓練に企画会議から参加 → **子どもたちが参加したいものになり活性化していく**
- ・地域のイベント、お祭りなどへの子どもたちの企画提案実施
- ・地域まちづくり協議会などに委員として参加 → **子どもの視点からの意見を聞くことができる**
- ・公共施設の運営委員会などの一員として参加 → **地域のまちづくりで、将来の重要なアクターとなっていく**



事業内容には、3つの柱があります

1. 「特命子ども地域アクター」の募集・養成

- ・特命子ども地域アクターの募集
- ・子ども会議の定期開催
- ・まちづくり「いろは勉強会」

2. 「特命子ども地域アクター」の派遣

- ・お見合い会を経て、派遣先を決定
- ・特命子ども地域アクターの派遣(7月～10月)

3. 「子ども地域社会参画フォーラム」の開催

- ・12月2日フォーラムでの成果発表
- ・フォーラムの企画も子どもアクターが行う。

25年度以降も会議体 & 協力体を継続させていく

1. 「特命子ども地域アクター」の募集



特命子ども地域アクター募集

- 対象
 - 中心は中高生。
 - ただし、一人で行動できる意欲的な小学生高学年も含む
- 人数 30人程度
- 任期
 - 平成24年4月～平成25年3月
- 3月21日当日消印有効



ティーンがまちをつくる

特命 **子ども** 地域アクター プロジェクト

<http://actor.minicity-plus.jp/>

8

1. 「特命子ども地域アクター」の養成

9

特命子ども地域アクターへの「いろは勉強会」を横浜市立大学とのタイアップで行います

- 第1回 まちづくりとはなにか～都市づくり・まちづくり・ひとづくり～
- 第2回 多様なまちづくりが展開するまち「ヨコハマ」
- 第3回 クリエイティブなまちづくり～横浜都心部活性化への挑戦～
- 第4回 安全・安心のまちづくり～横浜中間郊外地域の取り組み～
- 第5回 自分たちのまちについて考えてみよう(ワークショップ形式)

上記の内、1回目と最終会を含む3回受講を必須。
それ以外は編集されたビデオをウェブ上で見てレポートを書いてもらいます。

最終回の5回目の6月24日午後にお見合い会を開催します。

2. 「特命子ども地域アクター」の派遣

10

- ・お見合い会は必要に応じて数回行います
- ・派遣は7月～10月までの期間の5日間程度です
- ・期間は短くてもかまいませんが子どもアクターが主体的にかかわれるようお願いいたします。
- ・特命子ども地域アクターの希望と受け入れ団体の合意がとれれば、5日以上も可能です。

#ただし、交通費等の予算が限られるため、その点に関しては相談となります。

- ・派遣先の団体には、子どもアクターの報告レポートをチェックしていただき、簡単なコメントを書いていただきます。

子どもアクターとの調整がうまくいかない場合、派遣が行われなくてもあります。

もし今年度派遣がうまくいなくても、来年度も引き続き行なっていくしますので、ぜひ協力団体として登録してください。



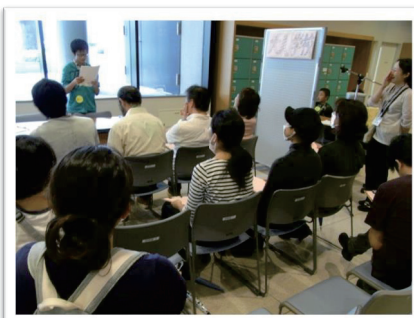
3. 「子ども地域社会参画フォーラム」の開催

11

特命子ども地域アクターの存在や活動を広く知ってもらうためのフォーラムの開催



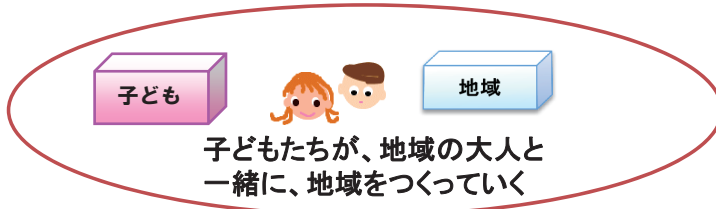
例) 今の子どもたちに社会やまちづくりについて聞く「U-19シンポジウム」



例) 子ども先生による「大人の学校」 例) 子どもによるお祭り開催

会議体、協力体で構成する連絡会を継続的につくる

- ・事務局はNPO法人ミニシティ・プラスが担う
- ・特命子ども地域アクターの継続的な活動
- ・まちづくりに深く関わる企業からの支援や連携



子どもの社会参画
モデルとして
まちづくり以外の
分野への広がり

未来

特命子ども地域アクターが、まちづくりの担い手になり、後輩を育てていく…
自然に子どもたちがまちの中で活動する基盤ができる

子どもと大人がともに地域に参画し合う社会

ティーンがまちをつくる

特命子ども地域アクター プロジェクト

応募締切 2012年5月7日 当日消印有効

約30名
募集

こんなティーンは生まれ！ 応募締切延長！

社会は大人だけにまかせてられない

今、やりたいことが見つからない

自分の地域以外のまちを知りたい、いってみたい

とにかくワクワクすることをしてみたい

楽しいことをして役に立ちたい

大人と同じように地域の中で活躍したい

学校や部活以外で活躍する場が欲しい

子どもだって困っている人を助けたい

学校や塾以外の友達が欲しい

大人と対等に議論したい

特命子ども地域アクターの会議、現場派遣時、いろは講座参加の交通費については、全額支給します。

また、派遣時、お昼をはさんでの活動になる場合のお弁当代についても基準を設け、支給します。ただし報酬はありません。

★特命子ども地域アクターの任務は？

自分たちのまちの課題や価値に気づき、自らその解決やその価値の向上のために活動する「地域アクター」がいろいろなまちづくりの現場で奮闘しています。

特命子ども地域アクターには、この大人だけで行ってきただけのまちのイベントや会議に参加してもらい、ティーンのが発想、行動力を実際のまちに活かし、活躍してもらいます。

まちのイベントやまちづくりで自分の企画を実現させませんか？ 地域で活躍できる「場」があなたを求めています。経験のある大人スタッフが、一緒に楽しく創っていきます。

★特命子ども地域アクターになれる人は……

1. 2012年4月に中学1年～高校3年生。神奈川県に在住か在学。
(一人で行動できる小学校高学年の方も応募可能です)
2. 特命子ども地域アクターの約1年の任期に最後まで参加できる人
3. まちに関心がある人、これからまちに関心を持ちたいと意欲をもっている人

★スケジュール★

(4月15日 アクター第1回会合13時半～15時半)

5月7日 当日消印有効、応募締切り(応募者多数の場合、応募用紙、面接等で選考)

5月13日 アクター第2回会合13時半～15時半

★以後アクター会議は6回開催します(日時現在未定)

5月27日/6月3日/10日/17日/24日(すべて日曜の午前)

いろは講座受講(まちづくりの現場に行くための勉強会。このうち3日間以上受講+レポート)

6月24日(午後) 午前中のいろは講座のあと、地域まちづくりの現場説明会・受け入れ団体との顔合わせ会議

7月～10月 まちづくりの現場へ(現場による。3日間～5日間くらい。ここがイチバン大事です!)

12月2日 第1回子ども地域社会参画促進フォーラム(フォーラムの企画立案、成果発表)

1月～3月は次年度の特命子ども地域アクター計画づくりなどを行う予定です。

★問合せ・応募先★

【かながわ子どもの地域社会参画推進会議事務局】

〒224-0001横浜市都筑区中川1-4-1-411

(I Love つづき内) NPO法人ミニシティ・プラス

Tel&fax (045) 306-9004 (月～金9時～17時)

メールアドレス minicityplus@gmail.com

★応募の方法★

チラシ裏面の応募用紙に記入の上、FAX、メール、郵送で。

ホームページ上 (<http://actor.minicity-plus.jp/>)

からもダウンロードできます。

このプロジェクトの会議体メンバー

神奈川県民局青少年部青少年課/NPO法人ミニシティ・プラス
NPO法人横浜プランナーズネットワーク/NPO法人 アクションポート横浜
NPO法人 教育支援協会 /NPO法人 シャーロックホームズ/リスト株式会社

引き続き協力団体募集中

この事業は、神奈川県新しい公共の場づくりのためのモデル事業

『神奈川特命子ども地域アクター養成アクションー

子どもと大人がともに地域に参画しあう社会基盤構築を目指して』

という名称の事業です。

中学生・高校生対象講座

まちづくりのいろは講座

最近よく耳にする「まちづくり」、誰がどんなきっかけでどんなことをしているのでしょうか。本講座ではまちづくりとはなにか、なぜまちづくり活動が必要なのかといった基礎学習と共に、様々なまちづくり活動が活発な横浜の事例からまちづくり活動の真髄にせまります。また最終回では、第 1 回～4 回の講座を踏まえ、ワークショップ形式にて自分たちが暮らすそれぞれの「まち」に照らして課題とその解決について、大学生も交えて考えます。

※本講座は「神奈川特命子ども地域アクター養成アクション」の一環として、かながわ子どもの地域社会参画推進会議（事務局/NPO 法人ミニシティ・プラス）との共催で、YCC スクールの関連講座として実施します。

「神奈川特命子ども地域アクター養成アクション」については <http://actor.minicity-plus.jp/> をご覧下さい。

5 月 27 日(日) 10:30～12:00	第 1 回「まちづくりとはなにか～都市づくり・まちづくり・ひとづくり～」 <講師: 三輪 律江(横浜市立大学大学院国際総合科学群 准教授)> まちづくりについての概念・定義やその歴史、都市づくりとの関係についての基礎教養とともに、まちづくりにおける多様なテーマとそれに取り組む人たちについて学んでいきます。
6 月 3 日(日) 10:30～12:00	第 2 回「多様なまちづくりが展開するまち『ヨコハマ』」 <講師: 三輪 律江(横浜市立大学大学院国際総合科学群 准教授)> 多様なまちづくり活動が活発な横浜の現状から、日本の都市が抱える現代課題を学びます。
6 月 10 日(日) 10:30～12:00	第 3 回「クリエイティブなまちづくり～横浜都心部活性化への挑戦～」 <講師: 鈴木 伸治(横浜市立大学大学院国際総合科学群 准教授)> 都市中心部の市街地活性とはなにか、都心再生がなぜ必要なのか、その取り組みに向けた新しい手法について横浜の事例を基に学びます。
6 月 17 日(日) 10:30～12:00	第 4 回「安全・安心のまちづくり～横浜中間郊外地域の取り組み～」 <講師: 山路 清貴(NPO 法人・横浜プランナーズネットワーク理事長)> 少子高齢社会はどんな風にまちづくりに影響しているのか、その解決に奔走する横浜中間・郊外地域の事例を基に学びます。
6 月 24 日(日) 10:30～12:00	第 5 回「自分たちのまちについて考えてみよう(ワークショップ形式)」 <講師: 三輪 律江(横浜市立大学大学院国際総合科学群 准教授)、 高城 芳之(NPO 法人アクションポート横浜事務局長)、大学生チーム> 第 1 回～4 回の講座を踏まえ、ワークショップ形式にて自分たちが住むそれぞれの「まち」に照らして課題とその解決について考えてみます。大学生がグループファシリテーターとなります。

受講対象者 / 中学生、高校生

受講料 / 全 5 回 無料 (部分受講可)

定員 / 10 名

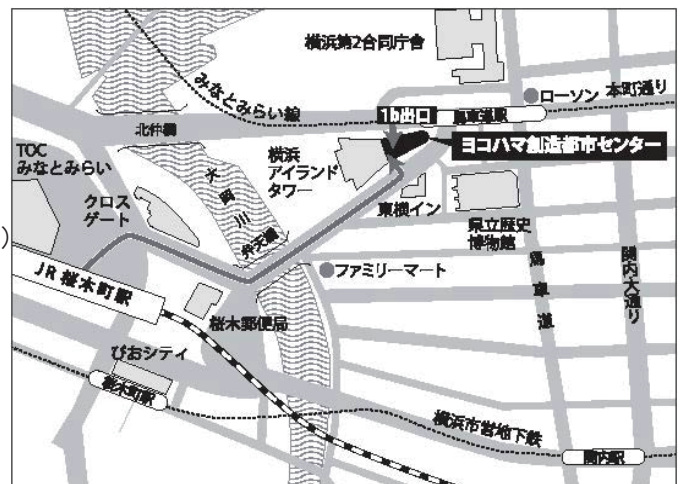
申込 / 事前に Email・ホームページ・FAX・電話のいずれかにてお申し込みください。

会場受付 / 当日は 10 時より受付を開始いたします。

会場 / ヨコハマ創造都市センター(横浜市中区本町 6-50-1)
 (アクセス)みなとみらい線「馬車道駅」直結
 JR・市営地下鉄線「桜木駅」より徒歩 5 分

共催 / かながわ子どもの地域社会参画推進会議
 (事務局/NPO 法人ミニシティ・プラス)
 YCC スクール
 横浜市立大学地域貢献センター

後援 / 横浜市政策局



まちづくりのいろは講座

第1回 まちづくりとはなにか ～都市づくり・まちづくり・ひとづくり～

横浜市立大学まちづくりコース准教授・NPO 法人ミニシティ・プラス理事長
三輪律江 / 博士（工学）

0. 「まちづくり」学ってなに？なぜ必要なのか

- ・成長する都市から縮退する都市、

都市は「つくる」時代から「マネジメント（管理運営）」する時代へ

- ・「建物空間」をつくる建築学と「都市空間」をつくる都市計画学の狭間に必要な「まちづくり」学に求められる“オーダーメイド性”
- ・他分野との横断関係が不可欠な学問

建物や都市を利用し活用する主役は「人」－社会福祉学や環境心理学等との関係

「人」と一緒に変化・成長する都市－経済学や経営学、生態学等との関係

1. 市民によるまちづくりとは

- ・住民・市民の個人の意見を束ね、地域の総意として高めていくムーブメント（社会的な動き）
- ・人々が生活している地域の諸問題を解決し、地域資源の価値を見だし、保全、修復、改善する取り組みであり、課題の提起と解決、価値の発見や評価、合意形成といったまちづくりプロセスを、住民・市民が主導しつつ行政や専門家、その他の仲間と協働してすすめる創造的で持続的な活動

2. まちづくりの歴史 / 反対→参加→協働へ 実験→モデル→制度へ

- ・ 1960年代後半
 - 公害反対運動などの住民運動
 - 建築・都市計画の分野でも交通環境、日照問題などで住民運動が盛んに

- ・ 1970～80年代
 - 対抗的な住民運動から参加へ、参加型まちづくりの確立
- ・ 1990年代
 - NPOと参加・協働の展開、まちづくりの課題の多様化
 - 行政の限界、新たな担い手への期待
 - 阪神淡路大震災の教訓 — 神戸市真野地区

3. 身近には「まちづくり」につながる課題が多いけれど、始めようとするとうつかる数々の壁

- ・ まちづくりの中核ともいえる都市計画のしくみが難しい。
- ・ 仲間や関係者を集め、それらの人々との情報交換、意見交換、利害調整、合意形成が必要（しかし、地域の主体は水平関係なのでなかなか難しい）。
- ・ 行政の仕組みがわかりづらい（タテ割り、市民の関与の具合）。
- ・ 関係する法律体系が複雑
- ・ これらを理解しうまく活用するために存在する専門家（=まちづくりを専門的にする人）、でも誰にどう相談すればいいのかわからない。

4. 地域にある沢山の課題と多様にある「まちづくり」のテーマ

- ・ 防災まちづくり
- ・ 福祉のまちづくり
- ・ 公園計画・公園再生のまちづくり
- ・ 自然保全・自然再生のまちづくり
- ・ “にぎわい”をつくるまちづくり
- ・ 商店街活性のまちづくり
- ・ 景観まちづくり
- ・ 歴史・文化をいかしたまちづくり
- ・
- ・ 市町村都市計画マスタープラン策定への市民参加
- ・ 住民主導での「建築協定、地区計画」策定
- ・ 次世代へのまちづくり教育 など

まちづくりのいろは講座

第2回 多様なまちづくりが展開するまち『ヨコハマ』

横浜市立大学まちづくりコース准教授
NPO 法人ミニシティ・プラス理事長
三輪律江 / 博士 (工学)

1. 「まちづくり」活動が活発なヨコハマ、その理由

(1) 「横浜」の成り立ちから

- ・ 2つの ぶんかけん 文化圏の統合 / とうごう 武蔵国 と さがみのくに 相模国
- ・ 横浜村から横浜開港への発展 / 関内・横浜駅周辺の埋立 / 横浜・新橋間の鉄道(1872)
- ・ こうわんとし 港湾都市としての発展 / りんかいぶうめたて 臨海部埋立と けいひんこうぎょうちたい 京浜工業地帯の形成、ドッグヤード
- ・ 横浜の災害復興 / さいがいふっこう 関東大震災(1923) / よこはまだいくしゅう 横浜大空襲(1945) / べいぐん 米軍による きちせつしゅう 基地接收

(2) 18区370万都市「横浜」の市街地の拡大とその特徴から

- ・ 中区・西区から徐々に急激に広がる
- ・ とうきょうこうがい 東京郊外としての発展と人口
- ・ しがいち 市街地の近くに てんざい 数多く点在する緑、といった土地利用の特徴
- ・ 日本の しゅくず 縮図のような都市形成-その特徴と課題、取り組み

① 都心地域 / 西区・中区

- ・ 都心部の急成長と関内地区の くうどうか 空洞化
→ 都心マンション急増、空きオフィス増加、商店街の空き店舗増加、未利用の れきしいさん 歴史遺産

② 中間地域 / 鶴見区・神奈川区・保土ヶ谷区・南区・港南区・磯子区

- ・ やど 谷と はら 原という独特の地形
- ・ 点々と虫食いのような住宅地 (スプロール市街地) になってしまった ていちぶ 低地部と、すきま 隙間をぬつて たくちかいはつ どんどん宅地開発された みっしゅうじゅうたくがい 密集住宅街の かんきょうあつか 環境悪化
→ こうみつどか 高密度化・ろうきゅうかおく 高齢化に伴う ろくきゅうかおく 空き家・ろうきゅうかおく 老朽家屋・ろくきゅうかおく 空店舗の増加、危険な幅の きょうあい 狭い (狭あい)

道路、防災性能の低下、斜面住宅・マンションの増加、管理されない空地の増加など

② 郊外地域／金沢区・栄区・戸塚区・泉区・瀬谷区・旭区・港北区・緑区・青葉区・都筑区

- ・市街地の中に市街化調整区域（山林・農地等のまとまった自然が残る）が散在。
- ・起伏の激しい地形が特徴で、谷戸のゆるやかな市街化と台地上の計画開発の進行。

「横浜郊外での南北問題」

- ・比較的規模の大きな計画開発の住宅地が多い北部郊外
人口増、年少人口比率の高さ（港北区は単身世帯多く、区民の出入りが激しい）
→新しく住みだした人と昔から住んでいる人の関係、
- ・大小様々な民間による計画開発やスプロール開発がまだら模様に進んだ南西部郊外
人口停滞と少子高齢化の急激な進展（鉄道駅近くでのマンション急増も）
→空き家増加、防犯力低下、商店街の空洞化、大規模店舗の撤退、
児童減少に伴う学校統廃合、交通不便、高齢者等の居場所不足、
→未利用農地や未管理山林の増加、散在する未利用オープンスペース、
利用しにくい河川空間、見捨てられた排水路など

2. 地域ごとの特徴によるまちづくりのテーマ

- ① 都心地域⇒都心らしいにぎわい、歴史建造物の保存や港町景観を生かしたまちづくり
／第3回へ
- ② 中間地域⇒防災まちづくりや福祉のまちづくり／第4回へ
- ③ 郊外地域⇒農を活かしたまちづくり、高齢者支援や子育て支援のまちづくり

◎いづれも身近な地域の課題を解決し、魅力として再発掘するまちづくり

◎行政だけに頼らず、一人の力だけでなく、複数の人や組織が協力して進めていく

⇒「市民参加による地域協働型まちづくり」

◎「風のひと・土の人」「よそのもの・ばかもの・わかもの」－他者への期待

3. 横浜の地域まちづくりに関わる地元の人たち

一課題解決のためには、多様な地域運営主体が「連携」すること

多様な地域運営主体って？・・・ 地域組織、NPO等、中間支援NPO、企業・事業者・大学、行政

・・・

(1) 地域組織

・自治会町内会 ～組織率 約77% (単位町内会2868、連合町内会 249、区連会18、市連会1)

・自治会町内会は基礎的な助け合いと親睦の取組みが基本

こども会・老人会活動、防火・防災活動、親睦・レクリエーション活動、ゴミの集積所の管理・

環境美化推進活動、交通安全活動、防犯活動

(2) NPO等

・生涯学習等の趣味のサークルから、各種実行委員会を含む市民活動団体、NPO法人と多彩。

・区役所の生涯学習講座・母親クラブ等をきっかけに、自立した活動として発展するケースが多い。

(3) 中間支援NPO等

・地域での活動を横つなぎする地域型NPO、市域での活動やテーマを横つなぎする専門家型(総合型)

の役割は高まっている。

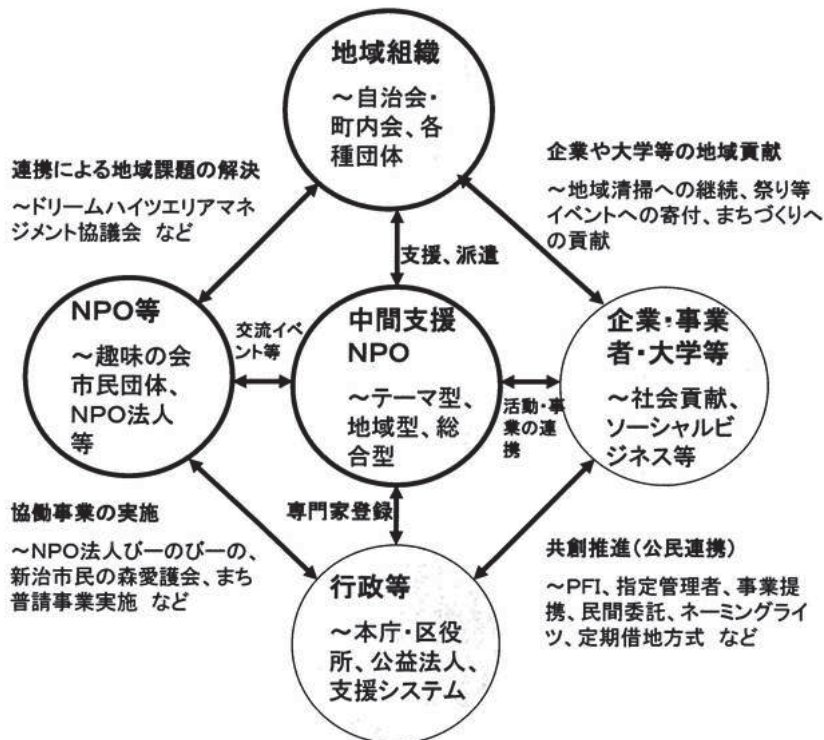


図 多様な地域運営主体の「連携」の形

歴史・文化をまちづくりに活かす

横浜市立大学 鈴木伸治

1. 良い「まち」の条件って何だろう
 - ・ いろいろな考え方 例) お祭り／本屋／和菓子屋
2. 都市計画は良いまちを作ってきたの？
 - ・ 効率中心の都市計画
 - ・ 景観、歴史や文化は重視されず
3. まちづくりの目標はなに？
 - ・ まちが好き！／まちへの愛着を取り戻そう
 - ・ 人口減少の時代に生き残るまちにするために
4. 歴史や文化を大切にする横浜の都市デザイン／創造都市
 - ・ 都市デザインの取り組みは 1970 年代から
 - 歩行者中心のまちづくり
 - 横浜らしい歴史的な建造物を残すこと
 - ・ 2004 年からは創造都市の取り組み
 - 創造都市（そうぞうとし）って何だ
 - デザイン、映像制作、アートなどの新しい産業に注目
 - 歴史的な建物をアートの拠点に
 - アートイベント／文化イベントでまちを元気に
5. 黄金町の再生
 - ・ 社会問題を解決するまちづくり
 - ・ コミュニティづくりとアートの関係
 - ・ 大事なものは人のつながりをつくること
6. これからのまちづくりを担う皆さんへ
 - ・ 歴史を大事にする取り組みが始まって 4～50 年
 - ・ 新しい時代の価値を考えよう
 - ・ 古い建物は増える？

《安全・安心のまちづくり ～横浜中間・郊外地域の取り組み～》

2012.6.17

(NPO)横浜プランナーズネットワーク理事長 山路 清貴

1. 「安全・安心」とは何か

- ・何に対する「安全・安心」か？
- ・「安全」と「安心」とどこが違う？
- ・さまざまな「安全・安心のまちづくり」

2. 安全・安心のまちづくりの背景その1

～横浜中間・郊外地域はどのように形成されたか～

- ・村の時代に人はどこに住んでいたか
- ・市街地形成の推移と市街化のパターン分類
- ・旧市街地を主体にした中間地域
- ・新市街地（計画市街地）を主体にした郊外地域

3. 安全・安心のまちづくりの背景その2

～世帯・地域コミュニティの変化～

- ・人口減少社会（少子高齢化社会）の到来（まだら模様の人口増減）
- ・無縁社会の孤独

4. 安全・安心のまちづくりを進めるための着眼

- ・身近な暮らしの充実に求められる2つの方向性
- ・プラス志向を忘れない
- ・「〇〇人」を育てる
- ・「まちのとおき」探しからまちづくりへ展開する
- ・「タテワリの大きなまちづくり」から「ヨコツナギの小さなまちづくり」へ
- ・世代を超えて、フラットなつながりをつくる
- ・「する／される」関係から「お互いさま」の関係へ
- ・「楽」してもらいよりも、ちょっと大変でも「楽しい」ことを行う

5. 安全・安心のまちづくりの具体的な進め方（事例）

1) 一本松まちづくり協議会（西区西戸部町地区）：いえ・みち まち改善事業

- ・計画検討のための活動
- ・防災まちづくり計画
- ・地域まちづくり事業

2) てらお福まち協議会（鶴見区寺尾地区）：地域福祉計画地区別計画の推進

- ・まちづくり素材を発掘するプロジェクト
- ・まち環境を協働して形づくるプロジェクト
- ・まち情報を伝えるプロジェクト

氏名： _____

調査の日付： _____ 月 _____ 日

いろは講座 ワークショップに向けての宿題シート

テーマ「自分の身近にあるまちづくり活動について」

●調査した団体名：

●所在地：

① どんな目的でやっているのか？

→具体的な活動の内容は？

- ・
- ・
- ・

② どんな人たち、組織がやっているのか？

→始めたきっかけは？

③ 活動の抱えている問題・課題とこれからの活動方針について（展望）

その他・調べてわかったことなど



名前	調査した団体名	所在地	目的	活動内容	どんな人たち・組織	始めたきっかけ	問題・課題	展望	その他
中1	ジュニア記者	都筑区		取材	小学生・中学生・高校生				
中1	地域情報	左近山など	地域の人たちに情報を送るため	チラシを配り、多くの人たちに情報を伝える	自治会やお店の人たち	例えば、サッカー教室がやっていて、それを知らないでいる人が多いためにつくられた団体	チラシを作るのに人手が足りない、チラシを身近な所に張っているが見る人が少ない		チラシを見て色々なことが分かった
高3	不法投棄やめさせ隊	池町の農業専用地区	不法投棄の完全撲滅 この地域をきれいにしようと目指している	農作業に利用する車両に「不法投棄通報車」のステッカーを貼り、不法投棄を防止するための啓発活動と不法投棄発見時の通報 車両に常にゴミ回収用のポリ袋を常備、定期的な夜間パトロールや一斉清掃	池辺農業専用地区の農業者およそ150人 横浜市や神奈川県警とも協力	以前から、夜間パトロールや夜間監視装置の設置、一部の道路封鎖などをしてきたが、若干の改善のみで撲滅に至らず、一斉清掃時には山のようなゴミ	大量に捨てられていた不法投棄の量は激減したが、いまだ不法投棄撲滅には至っていない		
高3	港北ニュータウン緑の会	大塚蔵勝土遺跡	市民の力で公園や緑地を管理し、自然豊かな雑木林や竹林の育成と多様な生物と共生できるまちづくりを行う 市民の自然管理能力と技術の向上を図る	公園内の雑木林や竹林の維持、整備 技術講習会(チェーンソーなど)	港北ニュータウン内各地の自然保護団体、公園愛護会13団体が連合してできた。	ニュータウンの開発で住民が居住をし、緑地、緑道の管理をするものがないとわかり、住民同士が声を掛け合い、ボランティアが集った。	近隣住民の入会が少ないこと 少しでも会のことを知ってもらうために、交流の場を設けている。		
高3	つるキャン実行委員会(実行委員の福島さん(会社員))	鶴見	元気で力のある生活にする 福島復興、震災の追悼、支援 町も空気もきれいに、人も心もつなぐ	バザー、夏至の日にキャンドルナイト、キャンドルでカンパを集め義捐金に	主婦中心、会社員、区民、役員(市役所、ボランティアさん)全5名	地球温暖化の啓発(2008年から活動)	担い手の準備時間の確保(それぞれの空いている時間が違う(平日/休日)) 考え方の違い(原発賛成かなど)	活動をつなげていきたい(担い手の確保) 外とのつながりを大事にしていく イベントで終わらせない	同じ目的を持って、楽しみながら協力できる良い活動だと思う。少人数で企画・準備して大変だった。来年は午前中も行って盛り上がりた。
高3	横浜市鶴見中央コミュニティハウス	鶴見区	地域のコミュニケーション・活動の場をつくる	登録団体に活動場所を提供(ホール:ダンス、体操、大人数の会議(~80名) 会議室:語学、手工芸、書道など(~20名))	行政(鶴見区の委託)から鶴見区地域活動協会			利用者が気持ちよく利用できる、居心地の良い施設にしたい	シークレインにはサルビマホール、コミュニティハウス、国際交流ラウンジの3つの施設がある。ここを解放するお祭りや、国際交流ラウンジは、個人で利用できるようなので行ってみたい。
高3	コミュニティサロン 鶴見ふれあい館	鶴見区	広場として開放、社会貢献 休憩場所をつくる 利用者同士交流を(友達、知り合いづくり)	平日:ランチ、飲み物売る 休日:スペースを貸す ふたつを運営費にしている	市民団体(まち普請事業に応募し通った) 区からの援助、賛同者からの寄付、ボランティアで運営	障害者、年配者に休憩スペースをつくりたい。トイレが気軽に借りられる場所を	運営費が不足(今も赤字) スタッフが足りない(7・8人)	軌道に乗せたい、いろんな人に来てほしい 催し物をもっと開催したい	家の近くにこうした解放された場所があることを今回調べて初めて知った。この運営にこぎつけたのも運営をしていくのも、人の助けやつながりが必要不可欠だと知った。今度は客として行きたい
小6	おやじの会	茅ヶ崎東小学校	学校に通っている児童のために普段働いている大人は何かができるか	小学校でのイベント(夜の学校で遊ぼう、昔遊びにチャレンジ)	主に、小学校に通っている児童のお父さん(お母さんもいる)	児童のために、大人は何かできないのかと考えた人がいて、このおやじの会を考え、スタートした	お父さんも子どもと同時に卒業してしまう。新しい人を集めるために、活動を伝え、同じ心で一緒に活動してもらえるようにしていけないといけない		
高1		公園	ゲートボール	ゲートボール	おじいちゃん・おばあちゃん		人を増やす		
高2	Iloveつづき	都筑区	大好きな都筑、そして横浜をもっと素敵にしようと活動している	誰もが参加できる身近なまちづくりを形にする	子育て中の母中心にさまざまな人たち	まちの環境調査や勉強会をするため	人材の確保		

チーム脱ゆとり	中1	ジュニア記者	都筑区	まちを好きになる人を増やすため	ズーラシア取材、あいたい取材、きょうけん	小学4年生～高校3年生		費用がない	
	小5	Iloveつづき	都筑区	広く市民に対して、コミュニティーや地域の環境に関する情報を提供し、市民の参加を促し、まちの活性化や健全なまちづくりのための活動を通じて、地域の発展に寄与すること	緑のカーテン、打ち水大作戦、キャンドルナイト、落書き消し		都筑を愛する市民が集まり、1999年から2001年までの3年間、横浜市都筑区生涯学習支援制度の援助を受けて、身近な環境とまちづくりをテーマに講座を開き、運営し、学んできた	若い人を増やしたい(人材確保)	多くの人が住んでいる町を、住みやすい町にしたり、いつまでもきれいな町でいられるように色々なことをやっていかなくてはいけないんだと思いました。誰かがやってくれるのを待っているのではなく、自分たちで参加して作っていくというのは小学校での活動と同じだと思いました。
ちいむめい。	小5	子ども会	川和町	子どもたちを健全に指導育成すること	レクリエーション、区民祭りの手伝い、ラジオ体操	小学生の保護者	地域の活性化のため	少子化にともない、運営維持が難しい	
	小6	ほどがや人まち文化振興会	保土ヶ谷	歴史を大事にする町	イベントの手伝い、朝市をやっている、お母さんたちの居場所づくり、	保土ヶ谷のお店の人たち	みんなが話し合える場所をつくる	若い人が少ない(現在は約30人、30歳～70歳)	
	高1	横浜サンタプロジェクト		横浜に笑顔を届けることや、普段接点が少ない人同士でも話せるようにする活動	サンタクロースになり、福祉施設に訪問したり、清掃活動をしている。子どもが遊べる活動	NPO法人のひとたちや大学生	最初は会社の手伝いだったが限界があるために、みんなでもやろうということになった	活動している人たちが次々に変わっていくため、目的が変わり、なにをしていたのかわからなくなったこと	目的が変わらないようにする(一貫した目的をもつ)
	高校生	サマーフェスタ	金沢区		野外ステージ(学校やプロ)、夜店、花火	地域の人、近隣のスーパーや商店街		柄の悪い地元の人じゃない人が遊びに来て騒ぐ、違法駐車、駐輪、ゴミのポイ捨て	
	高3	ヨコハマ3R夢		3Rによって更なるゴミ減量と温暖化に取り組み、豊かな環境を後世に引き継ぐことで、子どもたちが将来に「夢」をもつことができるまち・横浜の実現をめざす。前身はG30。3Rとはリデュース(ゴミそのものを減らす)、リユース(何回も繰り返し使う)、リサイクル(分別して再び資源として利用する)	各地域を回って、ゴミの出し方が正しいかチェックするなどごみ分別の指導。各イベント時にブースを設け、分別指導。環境団体と共同で、幼稚園生や小学1年生にゴミの出し方を寸劇にして指導	環境事業推進委員会、全市的な推進組織(佐江戸、加賀原地区)		不法投棄、治安、ごみ集積場所の確保	ゴミを減らし、埋め立て処分場を永く使う脱温暖化
高3	チョコボラ		1人暮らしの人の孤立を防ぐ	簡単なお手伝い(電球交換、庭の草むしり、家具の移動、病院への送迎)	都筑区、民生委員、町内、社会福祉協議会		老人が多いため、お金が絡むことに対しては対応が難しい。家の中で家具の移動を行うと、物が無いと言われトラブルの発生につながりやすい	負担にならない程度のボランティアをめざす	
高3	ひまわり会		ボランティア団体への発表の場の提供	老人ホーム・ケアプラザなどで歌や踊りの披露、各種イベント時における他団体への依頼、老人ホームへの慰問、および慰問支援	佐江戸同好団体、社会福祉協議会		月1回の活動のため、ネタのマンネリ化。近隣の町内に依頼することもあり、負担になることも。老人ホームのスタッフからは、同じでも覚えていないので構わないと言われるが、やる方としてはやりづらい。短期ステイ、長期ステイによっても違う。		

	高3	水辺愛護会		下水道局より浄化した排水を利用し、小川の流れをつくり、コイを放流している。	鯉の世話、水路両側に花を植える						
	高3	お散歩隊		小学校の登下校時に合わせて付き添いや十字路での交通安全を図っている		主婦、老人					
	高3	花壇の会		公園内に花壇をつくり、季節の花を植え、雑草を取り除く作業をしている							
マスカット隊	高1	つづきミュージックビート	都筑区	中高生が活躍できるように	コンサート(無料)	都筑区に住んでいる人	音楽が好きだから。子どもたちにそれを伝えたい	資金がない			
	高3	沢渡三ツ沢地域ケアプラザ	神奈川区	地域において、健康で安心して生活を営むことができるように、福祉活動、保険活動等の進を図るとともに、福祉サービス、保険サービスなどを身近な場所で総合的に提供する	地域の福祉保健団体や個人の活動支援や活動場所の提供 地域の健康づくり支援、身近な相談窓口 、地域交流、講座、講演会などの自主事業実施	横浜市から委託された法人	平成元年ごろ、横浜市健康福祉局により、地域活動や身近な相談拠点の設置が検討された。また、国により、高齢者を支えるサービスの充実が求められたため、高齢者デイサービス機能を付加した、地域の身近な福祉保健活動拠点として作られた。	地域において、まだまだ認知されていないことや、例えば知っていてもどのようなことが行われている施設なのか知られていないこと、また、地区センターとの違いが認知されていない(単なる貸館ではなく、地域交流に役立つものでなければならぬ)		「地域ケアプラザ」は横浜市の独自の施設であり、他都市には全く同じものがないということを初めて知りました。また、歩いて5分以内にある、とても身近な施設で単なる介護施設だとも思っていました。赤ちゃんからお年寄りまで、いろいろな年代の人たちが、いろいろな理由で利用している施設なのだとということがわかりました	
	高2	地域ビズ左近山	左近山	安心な気持ちで過ごせる人を過ごすため	コミュニティカフェ、教室(パソコンや習字など)、イベント	地域住民	地域の人たちの役に立ちたかったから	多くの人に受け入れてもらえるイベントを開きたいけど、スタッフが不足している	地域での人生最後は、安心な気持ちで過ごせる人を増やしたい		
	小6	子ども会	都筑区 荏田南1丁目(1班)	地区の子どもたちがイベントを通して仲良くなること	会員の小学生を対象にしている。クリスマスパーティー、六年生を送る会、カレーパーティーなどの行事。自治会館でやっている	地区の子どもたちのお母さんたち		地域の子どもの数が少なくなってきている、会員が少なくなってきている			
	高校生	野毛大道芸	中区 野毛町一帯	街の活性化、地域の振興(25年間)	大道芸	町内会、婦人部、商店街、学生ボランティア	にぎわいを失いつつあった町の活性化				
スケッチブック	中2	ミニヨコハマシティ	都筑区	子どもたちが住みやすいまちをつくる	19歳以下でつくる子どものまちを考える、夏祭り、ミニヨコの開催	Illoveつづきの方					7月7日に夏祭りがあることがわかった
	高1	グリーンサポーター	東山田		ゴミ拾い、雑草抜き	東山田中学校の生徒でボランティアに参加している人と、地域のおじいちゃん、おばあちゃん					



ティーンがまちをつくる 特命子ども地域アクタープロジェクト

第1期
5月10日
締切

特命子ども地域アクター派遣先「まちづくりの現場」を募集します!!

まちを元気にする、中学生、高校生をあなたのまちの「まちづくり」に活かしませんか?
「特命子ども地域アクター」にあなたのまちの活動をお手伝いさせてください。

➤ こんな団体・企業はぜひ参加ください

地域のためのイベントをしているけど、来て欲しい若者が集まってくれない。

まちづくり活動をしているが、シニア世代が多く、若い人の意見を取り入れたい。

地域の企業として、子どもたちと一緒にまちを元気にする地域貢献を考えたい。

地域活性のために、若者のアイデアを取り入れて、プロジェクトを組み立てたい。

子ども向けの企画を考えているが、中学生、高校生の力を借りたい。

【まちづくりの現場団体について】

応募者は企業、団体に限ります。個人での応募はできません。また、特命子ども地域アクターの役割は単なるイベントのお手伝いの派遣ではありません。それを踏まえて、派遣先は以下の基準を満たしている必要があります。

- ・子どもアクターを受け入れるのにふさわしい団体、事業であるかどうか。
- ・団体内で子どもアクター受け入れの合意ができているか。
- ・受け入れたい事業に、子どもアクターの活躍の場が多いか。
- ・今後も、このような子どもの受け入れ等について取り組んでいきたいかどうか。



➤ 特命子ども地域アクターはこのように派遣されます

3月21日締切で、まちづくりに関心のある中学生・高校生を募集しています。まちづくり現場で課題解決や価値向上のために奮闘する「地域アクター」の担い手となるべく、企画や会議に出席するところも含め、まちづくり現場に深くかかわり参加してもらいながら、若者ならではの発想、行動力を活かしてもらいます。

派遣先との調整や子どもたちのケアなどは事務局がサポートします。

【派遣期間】7月～10月（1つの企画に3日～5日程度を想定しています）

【経費の負担】応募者の負担 ----- 応募した企画の実施に係る費用

事務局の負担----- 子どもたちの交通費と昼食代、事前打ち合わせ、お見合い会、フォーラム参加の際の団体数名の交通費等

いままで大人だけで行ってきた企画や会議に子どもたちの力を活かしませんか。

子どもたちにまちづくりへ参加してもらおうノウハウについて、一緒に考えていただけませんか。

この事業は、神奈川県新しい公共の場づくりのためのモデル事業です。正式名称は以下です。
『神奈川特命子ども地域アクター養成アクションー子どもと大人がともに地域に参画しあう社会基盤構築を目指して』

「新しい公共の場づくりのためのモデル事業」とは、NPO等と県や市町村、さらに多様な担い手が参加し組織化された会議体が、地域課題の先進的な解決を進めるための事業です。ここでは、『子ども支援事業者と、地域まちづくり実践者及び県の協働で、地域のまちづくりに参画する「特命子ども地域アクター」を育成します。子どもの社会参画の機会の拡大、積極的に地域に関わる意欲のある子どもに対する活動の場の提供、後継者問題等を抱えるまちづくり現場の課題解決をマッチングした、新たな仕組みづくりを行う』ことを主旨とした事業として、平成23年12月に採択され、実施されるものです。

★特命子ども地域アクタースケジュール★

3月21日 アクター応募締切り(応募者多数の場合、応募用紙、面接等で選考)

特命子ども地域アクターの会議を、年間8回開催し、さまざまな調整を行います

5月27日/6月3日/10日/17日/24日

いろは講座受講(まちづくりの現場にいくための勉強会をします)

★6月24日交流会
アクターとの顔合わせ
会議のあと、1時間程度
の応募団体の簡単な
交流の場を考えています。

★まちづくりの現場の受け入れ・成果発表★

6月24日(午後)まちづくりの現場説明会・アクターと受け入れ団体との顔合わせ会議

7月～10月 アクターまちづくりの現場へ(3日間～5日間くらいを予定)

12月2日 第1回子ども地域社会参画促進フォーラムでの成果発表

★まちづくりの現場募集★

募集締切 5月10日(派遣時期:概ね7月～10月)

追加募集締切(#参照) 7月31日(派遣時期:概ね9月～10月)

#追加募集は秋季活動のみ対象です。
#子どもとのマッチングが成立し派遣先が揃った場合には、追加募集を行わないことがあります。
できるだけ5月10日までに応募ください。
子ども30人に対して7～10団体くらいをイメージしています。

受け入れ団体・企業には、アクターが書いた報告書の簡単な評価やチェックを事業終了後、1ヶ月をめどにお願いします。

★問合せ先★

【かながわ子どもの地域社会参画推進会議事務局】
〒224-0001 横浜市都筑区中川1-4-1-411 (I Loveつづき内)
NPO法人ミニシティ・プラス
ホームページ <http://actor.minicity-plus.jp/>
Tel&fax (045) 306-9004 (月～金9時～17時)
メールアドレス minicityplus@gmail.com

このプロジェクトの会議体メンバー

神奈川県民局青少年部青少年課
NPO法人ミニシティ・プラス
NPO法人横浜プランナーズネットワーク
NPO法人アクションポート横浜
NPO法人教育支援協会
NPO法人シャーロックホームズ
リスト株式会社

ティーンがまちをつくる 特命子ども地域アクタープロジェクト

事業説明会を神奈川県内3カ所で開催します

申し込み不要
説明会
参加者募集

各回の内容は同じです。ご都合のよい会場に参加ください。
申し込みは不要です。

1. 小田原市での説明会

2月19日(日) 13時～15時

場所：小田原市役所 7階大会議室
(小田原市荻窪300番地)

アクセス

徒歩：小田原駅西口、小田急線足柄駅、大雄山線井細田駅から約15分
バス：小田原駅西口から久野車庫・免河原循環方面(2番のりば)約4分
小田原駅東口から久野車庫・船原・小田原フラワーガーデン方面(2番のりば)
所要時間約8分 いずれも市役所前下車徒歩約1分

2. 横浜市での説明会

2月24日(金) 18時～20時

場所：県立青少年センター 多目的プラザ
(横浜市西区紅葉ヶ丘9-1)

アクセス

JR根岸線、横浜市営地下鉄線で「桜木町駅」下車、徒歩10分
京浜急行線で「日ノ出町駅」下車、徒歩10分

3. 相模原市での説明会

3月4日(日) 13時～15時

場所：相模原市民会館 第2大会議室
(相模原市中央区中央3-13-15)

アクセス

JR横浜線「相模原駅」南口
神奈川中央交通バス1番、2番、6番乗り場よりバス5分。

➤ こんな団体・企業はぜひ参加ください

地域のためのイベントをしているけど、来て欲しい若者が集まってくれない。

まちづくり活動をしているが、シニア世代が多く、若い人の意見を取り入れたい。

地域の企業として、子どもたちと一緒にまちを元気にする地域貢献を考えたい。

地域活性のために、若者のアイデアを取り入れて、プロジェクトを組み立てたい。

➤ こんな中学生・高校生はぜひ参加ください

地域での活動に関心のある方。
大人と対等に社会参加してみたい意欲ある方。

#説明会は、保護者の方も一緒に参加可能です。
#いままでのボランティア経験などはとくに問いません。
#特命子ども地域アクターに決まった方には、活動時の交通費等は支給されます。

➤ 特命子ども地域アクターになれる人は……

1. 24年4月に中学1年～高校3年生。神奈川県に在住か在学。
(一人で行動できる小学校高学年の方も応募可能です)
2. 約1年の任期に最後まで参加できる人
3. まちに関心がある人、これからまちに関心を持ちたいと意欲をもっている人

この事業は、神奈川県新しい公共の場づくりのためのモデル事業です。正式名称は以下です。
『神奈川特命子ども地域アクター養成アクションー子どもと大人がともに地域に参画しあう社会基盤構築を目指して』

「新しい公共の場づくりのためのモデル事業」とは、NPO等と県や市町村、さらに多様な担い手が参加し組織化された会議体が、地域課題の先進的な解決を進めるための事業です。ここでは、「子ども支援事業者と、地域まちづくり実践者及び県の協働で、地域のまちづくりに参画する「特命子ども地域アクター」を育成します。子どもの社会参画の機会の拡大、積極的に地域に関わる意欲のある子どもに対する活動の場の提供、後継者問題等を抱えるまちづくり現場の課題解決をマッチングした、新たな仕組みづくりを行う』ことを主旨とした事業として、平成23年12月に採択され、実施されるものです。

★スケジュール★

3月20日 応募締切り(応募者多数の場合、応募用紙、面接等で選考)
4月15日 アクター第1回会合(午後を予定) 以後アクター会議は6回開催します(日時現在未定)
5月13日 アクター第2回会合(午後を予定)
5月27日/6月3日/10日/17日/24日(すべて日曜の午前)
いろは講座受講(まちづくりの現場にいくための勉強会をします)
6月24日(午後)地域まちづくりの現場説明会・受け入れ団体との顔合わせ会議
7月～10月 まちづくりの現場へ(3日間～5日間くらいを予定)
12月2日 第1回子ども地域社会参画促進フォーラム
(特命子ども地域アクターは、フォーラムの企画立案、成果発表を行います)
1月～3月は次年度の特命子ども地域アクター計画づくりなどを行います。

★特命子ども地域アクターの任務は？

大人だけで行なってきたイベントや
まちの会議に参加してもらい、
実際のまちに活かし、活躍してもらいます。

まちのイベントやまちづくりで自分の企画を
実現させませんか？
地域で活躍できる「場」があなたを求めています。
経験のある大人スタッフが、一緒に楽しく創って
いきます。

このプロジェクトの会議体メンバー

神奈川県民局青少年部青少年課
NPO法人ミニシティ・プラス
NPO法人横浜プランナーズネットワーク
NPO法人アクションポート横浜
NPO法人教育支援協会神奈川支部
NPO法人シャーロックホームズ
リスト株式会社

★問合せ先★

【神奈川県子どもの地域社会参画推進会議体・事務局】
〒横浜市都筑区中川1-4-1-411 (I Love つづき内)
NPO法人ミニシティ・プラス
ホームページ <http://actor.minicity-plus.jp/>
Tel&fax (045) 306-9004 (月～金9時～17時)
メールアドレス minicityplus@gmail.com

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	
1	シート No.	アク ター No.	学年	性別	団体 No. ※2	団体名	イベント名 ☆	何回 目？☆	今日の目標☆	活動内容☆	感想1☆	感想 2 ※3	自動表示	感想 3 ※4	自動表示	感想 4 ※5	自動表示	感想 5 ※6	自動表示	感想6(1)☆	感想6(2)☆	コメント☆	
2	9	15	高2	男子	1	I LOVE YOKOHA MA	源平ゴミ拾 い合戦		なし	活動概要の説 明、話し合い	アットホームな雰囲気です話 し合いが進められた。活動 にしっかり参加できるように していきたい。	2	まあまあ できた	2	まあまあ 話せた	2	まあまあ 言えた	2	まあまあ できた	なし	なし	今日初めてのかかわりで 「大丈夫かな？入りこめるの か？」と不安があったが、思 いのほか馴染んでおり、しか も積極的に大役を果たしてく れて感謝している。	
3	10	15	高2	男子	1	I LOVE YOKOHA MA	スポーツご み拾い		2	ごみを拾う	ごみ拾い、集計・ 発表、打ち上げ	2	まあまあ できた	1	よく話せ た	2	まあまあ 言えた	1	よくでき た	平氏に負けた こと	頑張っ て集めたのに大 差をつけられた から	ネット中継のコメントも含め、 一生懸命やって頂いた。河 原でとりにくいゴミも熱心に 拾ってくれた。今度は企画な ども！期待している。	
4	12	15	高2	男子	1	I LOVE YOKOHA MA	海の公園ご み拾い		3	頑張る	夢はまバッグを 作る、ごみ拾い	夢はまバッグは時間がか かったが大体形になって 良かった。ゴミ拾いは思っ たほどゴミが多くなり、さら に浜をきれいにするこ うができた。	1	よくでき た	2	まあまあ 話せた	2	まあまあ 言えた	1	よくでき た	バッグ作り	自分で実際 に平たいもの を編んで作 ったことが なかったの で貴重な体 験ができた。	
5	11	23	小5	女子	1	I LOVE YOKOHA MA	スポーツご み拾い		1	聞きたいことはきち んと聞いてくる。	ゴミ拾い	大人と話せてよかった。こ んなにゴミが歩道などに 落ちていて知らなかった のでびっくりした。	2	まあまあ できた	2	まあまあ 話せた	2	まあまあ 言えた	1	よくでき た	ゴミ拾い	ゴミがたく さん拾えてい たと思うから	小さなゴミも一生懸命拾っ て頂いた。よく頑張ってく れた。今度は取材の協力な どもお願いします。
6	13	23	小5	女子	1	I LOVE YOKOHA MA	海の公園ご み拾い		2	砂浜をきれいにする。	ゴミ拾い	花火と煙草の吸殻が多 かった。少し疲れた。	1	よくでき た	3	あまり話 せなかつ た	3	あまり言 えなかつ た	1	よくでき た	砂浜でもこ んなに多くの ゴミが落ちて いると思っ ていなかった。	きれいな砂 浜だと思っ ていたから。	
7	111	23	小5	女子	2	ASHIGAR Aアート プロジェクト 推進室	アート		3	大人と話すこと	大きな旗に絵を 描く	自由に絵が描けていた。 ステンドグラスも作れて良 かった。旗が上から見ると きれいに見えた。3色だけ できれいになるとは思わな	2	まあまあ できた	2	まあまあ 話せた	3	あまり言 えなかつ た	2	まあまあ できた	大きな旗を すぐに塗った こと。	あんなに早 く塗れると は思わなかつ たから	とてもよく手 伝ってくれて 助かった。
8	76	1	中1	男子	2	ASHIGAR Aアート プロジェクト 推進室	なし		1	なし	会場下見、打ち 合わせ	すごくきれいな所で来 れて良かった。森田さん とおもしろく話せた。	2	まあまあ できた	1	よく話せ た	2	まあまあ 言えた	2	まあまあ できた	きれいな所 を見れた。た くさん話せた。	こうい う所にはあ まり来れな いから。当 日も話さ れたこと	景色に慣 れなくてと うきれい” から細い 感想が出 てくると 思う。当 日は周り の方と仲 良く願 いします。
9	110	1	中1	男子	2	ASHIGAR Aアート プロジェクト 推進室	アート		2	作品を仕上げる	アート	みんなでいい作品が できました	2	まあまあ できた	1	よく話せ た	2	まあまあ 言えた	2	まあまあ できた	他のアー ティスト と仲良く なれたこ と	なし	幼児～小 学生がメ インのお 絵かきワ ークショ ップだっ たが、率 先して描 くことで 参加者が 取り組み やすくな り良いお 手本とな ってくれ た。色々 サポート してくれ て助かつ たこと
10	77	24	小6	男子	2	ASHIGAR Aアート プロジェクト 推進室	なし		1	なし	下見、打ち合 わせ	まわりの山がきれい だった。人が30人し かいなかった。	1	よくでき た	2	まあまあ 話せた	3	あまり言 えなかつ た	2	まあまあ できた	なし	なし	ユニークな コメントや パフォーマンス を交えて参 加して いた。当日 は周りの方 と仲良く 願います。
11	113	24	小6	男子	2	ASHIGAR Aアート プロジェクト 推進室	アート		2	作品を仕上げる	絵を描くサポ ート	みんなが絵を描い て笑顔にな れたから良 かった	1	よくでき た	1	よく話せ た	1	よく言 えた	1	よくでき た	笑顔の 絵	みんなが 嬉しくな っていら たから	色々なこ とに興味 を持ち、進 んでサポ ートをし てもら った。小 さな子 たちの良 いお手本 となり、 良い作品 がで
12	112	24	小6	男子	2	ASHIGAR Aアート プロジェクト 推進室	アート		3	なし	アートを描くサ ポート	いろいろな人を喜 ばせられて 良かった	1	よくでき た	1	よく話せ た	1	よく言 えた	1	よくでき た	アート	みんなが 笑顔にな れて良 かった	とてもよく 手伝ってく れて助 かった。
13	100	5	中2	女子	3	日本ス ポーツ GOMI拾 い連盟	ミーティ ング		1	新しい案を出す	説明と質問、お 客さんを呼ぶ 方法を考 える	新しいルール	1	よくでき た	2	まあまあ 話せた	1	よく言 えた	2	まあまあ できた	お客さん をたく さん呼ぶ 方法を 考えるこ と	たくさん 考えた から	

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
1	シート No.	アク ター No.	学年	性別	団体 No. ※2	団体名	イベント名 ☆	何回 目？☆	今日の目標☆	活動内容☆	感想1☆	感想 2 ※3	自動表示	感想 3 ※4	自動表示	感想 4 ※5	自動表示	感想 5 ※6	自動表示	感想6(1)☆	感想6(2)☆	コメント☆
14	98	5	中2	女子	3	日本ス ポーツ GOMI拾 い連盟	ミーティング	2	意見を言う	スポーツGOMI 拾いのミーティ ング	始めのほうは少し難しい 内容だったがメモして理解 しようとした点は良かった。	1	よくできた	1	よく話せ た	2	まあまあ 言えた	1	よくできた	参加人数を増 やすためには どうすればい いか。	それを中心 に考えたから	いつも新鮮な意見と前向き なアイデアを出してもらいあ りがとう。引き続きよろしくお 願いします。
15	1	5	中2	女子	3	日本ス ポーツ GOMI拾 い連盟	ゴミ拾い	3	待ち時間にみんなが 退屈しないように ゲームをスムーズに 進める	受け付け、ゲー ム準備、ゲーム 担当	最初はどうなるか心配だっ たが、人もたくさんきて、晴 れて良かった。	1	よくできた	2	まあまあ 話せた	2	まあまあ 言えた	2	まあまあ できた	ゲーム	ちよっと忙し かったから。 でも楽しんで もらえて良 かった。	
16	101	5	中2	女子	3	日本ス ポーツ GOMI拾 い連盟	ゴミ拾い	3	自分の役割を覚えて おく	当日のミーティ ング	目標が達成できたので良 かった。	1	よくできた	1	よく話せ た	1	よく言え た	1	よくできた	人数を集める 為には・・・？	人数が少な すぎるから	
17	99	24	小6	男子	3	日本ス ポーツ GOMI拾 い連盟	ミーティング	2	なし	話し合い	次の木曜日ではいっぱい 意見を言いたい	2	まあまあ できた	3	あまり話 せなかつ た	1	よく言え た	4	全く出来 なかった	なし	なし	
18	2	24	小6	男子	3	日本ス ポーツ GOMI拾 い連盟	ゴミ拾い	3	みんなを楽しめるゴ ミ拾いにしたい。	受け付け、ゲー ム準備、ゲーム 担当	今日はみんな精一杯頑 張っていて良かった。	1	よくできた	1	よく話せ た	1	よく言え た	1	よくできた	ゲーム時間	すこしのゲー ムなまでに いたのがよ かったです。	
19	102	24	小6	男子	3	日本ス ポーツ GOMI拾 い連盟	ミーティング	3	なし	話し合い	本番に宿題などをやって きて頑張りたい	2	まあまあ できた	3	あまり話 せなかつ た	2	まあまあ 言えた	4	全く出来 なかった	なし	なし	
20	103	12	高3	女子	4	スマイル ミニシテ ィさがみは ら	会議	1	スマイルさがみの活 動状況をよく見るこ と	会議の事前準 備、会議	企画を任されて、これから たくさん考えていかな くはならないと思った。子供 達ともっとコミュニケーション をとって楽しくイベ ントを盛り上げたいと思う。	2	まあまあ できた	2	まあまあ 話せた	2	まあまあ 言えた	1	よくできた	子供たちがと てもしっかり して、楽しそ うだったこと。	なし	子供目線の意見と共に私 たちの気が付かなかった 点を発言してくれて とても参考になった
21	108	12	高3	女子	4	スマイル ミニシテ ィさがみは ら	子どものま ち	3	イベントを成功させる こと。	ピース屋さん	お客さんもたくさん来て くれて、イベントが盛り 上がって良かった。また機 会があったら手伝いをし たい。	1	よくできた	1	よく話せ た	なし	1	よくできた	子供たちがと ても楽しそ うだったこと。	一人でも行 動している人 が多く、みん な生き生き していた。	とても熱心に取り組んで いた。子供に対する対応も 満点で小さい子供がと ても嬉しそうにしていた のが印象的だった。	
22	104	1	中1	男子	4	スマイル ミニシテ ィさがみは ら	会議	1	発言する	なし	ミニヨコのことを参考に 発言できた	1	よくできた	1	よく話せ た	1	よく言え た	1	よくできた	会議	話せたから	
23	109	1	中1	男子	4	スマイル ミニシテ ィさがみは ら	子どものま ち	1	なし	ソースせんべい 占い、悩み相談 室	みんな悩みを打ち明けて くれた。みんな楽しかつ たし美味しかったと言っ てくれた。また来た い。	2	まあまあ できた	2	まあまあ 話せた	1	よく言え た	2	まあまあ できた	みんなと仲良 くなれたこと	楽しかったか ら	
24	96	11	高3	女子	5	I love つ づき	なし	1	どうしたら商品が 売れるか考える。少 し無茶なことでも言 ってみる。	ロゴを考える。 ブースの棚につ いて	自分の好きなアイデアより 見やすいロゴを考えるの が難しかった。大人の方 でイメージがすぐでき ていて驚いた。	2	まあまあ できた	3	あまり話 せなかつ た	2	まあまあ 言えた	2	まあまあ できた	ロゴのイメ ージ図がたくさんあ ったこと	送られてきた ものより図が たくさんあ ったから	目的を踏まえ、積極的 に意見やアイデアを出 してくれ、大変参考 になった。
25	97	26	中2	男子	5	I love つ づき	なし	1	話し合いで自分の 意見をしっかり言う。	ロゴとブースに ついての話し合 い	自分の気に入った ロゴという 時にとっても悩 んだ	2	まあまあ できた	3	あまり話 せなかつ た	2	まあまあ 言えた	2	まあまあ できた	ロゴを決 めるときに たくさん のロゴがあ ったこと	来る時にそ んなに多 くないと思 っていたた め	店のデザイン (ロゴ等)を決 める貴重な 会議でしたが、 自分の意見を しっかり伝え たため
26	3	19	高2	女子	6	あざみ野 第二小学 校地域防 災拠点運 営委員会	防災訓練	1	積極的に意見を 言う	当日の打合せ	ゲーム決めに頭をひね った。当日は 楽しくゲーム をした。	2	まあまあ できた	3	あまり話 せなかつ た	3	あまり言 えなかつ た	3	あまりで きなかつ た	震災	教えてもら ったから。	訓練に参加 する子ども たち に楽しく防 災を考えて もら う アイ デア を活 発に 出 し て ら う ら っ た

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
1	シート No.	アク ター No.	学年	性別	団体 No. ※2	団体名	イベント名 ☆	何回 目？☆	今日の目標☆	活動内容☆	感想1☆	感想 2 ※3	自動表示	感想 3 ※4	自動表示	感想 4 ※5	自動表示	感想 5 ※6	自動表示	感想6(1)☆	感想6(2)☆	コメント☆
27	6	19	高2	女子	6	あざみ野第二小学校地域防災拠点運営委員会	防災訓練		自分もみんなも楽しめるように！！	打ち合わせ、防災ゲーム、寝床	色々な人達と関わって楽しかった。ご飯も最初は抵抗があったけど食べたらおいしかった。	2	まあまあできた	2	まあまあ話せた	2	まあまあ言えた	1	よくできた	防災ゲーム	色々な子たちの考えなどを聞いておもしろかった。	サバイバルゲームや寝床づくりでは児童が楽しそうに活動してくれた。子供達の心をつかむ指導を感じた。
28	4	20	中1	男子	6	あざみ野第二小学校地域防災拠点運営委員会	防災訓練		意見を言う	当日の打合せ	計画通りいく心配だけど頑張る。	2	まあまあできた	1	よく話せた	2	まあまあ言えた	2	まあまあできた	なし	なし	訓練に参加する子どもたちに楽しく防災を考えてもらうアイデアを活発に出してもらった
29	8	20	中1	男子	6	あざみ野第二小学校地域防災拠点運営委員会	防災訓練		とにかく頑張る。	打ち合わせ、ゲーム、寝床づくり	楽しく、小学生とも友達になれてよかった。	2	まあまあできた	1	よく話せた	2	まあまあ言えた	1	よくできた	全部	楽しく教えてくれたから	サバイバルゲームや寝床づくりでは児童は盛り上った。子供たちの心をつかむ指導を感じた。
30	5	5	中2	女子	6	あざみ野第二小学校地域防災拠点運営委員会	防災訓練		意見をたくさん言う	当日の打合せ、仙台のことを色々話した	①グループ分け②グループ名・リーダー決め③ゲーム	1	よくできた	2	まあまあ話せた	2	まあまあ言えた	2	まあまあできた	ゲームを決めたこと	普段やるような遊びではなくて考えるのに少し苦戦したから！	訓練に参加する子どもたちに楽しく防災を考えてもらうアイデアを活発に出してもらった
31	7	5	中2	女子	6	あざみ野第二小学校地域防災拠点運営委員会	防災訓練		盛り上げる	打ち合わせ、防災ゲーム、寝床評価	ゲームの内容を言う。	1	よくできた	2	まあまあ話せた	2	まあまあ言えた	1	よくできた	ごはん	普通のご飯があることに幸せを感じた	サバイバルゲームや寝床づくりの指導では児童の気持ちが活発につけて活発な訓練ができた。
32	51	4	中1	女子	7	おもしろやリライト運動事務局	大川印刷		きちんと取材する	取材	印刷で環境について考え、インクなども天然油で作っていることに驚いた。契約者の方にも思いやりライトのことを話していることを知った。	1	よくできた	2	まあまあ話せた	3	あまり言えなかった	2	まあまあできた	なめこを大人が知らなかった。印刷もエコだった。	流行りだから。初めて知ったから。	子供たちに流行っていることをきくこともできておもしろかった。
33	55	4	中1	女子	7	おもしろやリライト運動事務局	おもしろやリライト		しっかり会議で発表する	会議で提案などの発表	面白い話が聞けて良かった。分かりやすかった。自分の意見をしっかりと言えた！キャラクターとか・・・	1	よくできた	2	まあまあ話せた	1	よく言えた	1	よくできた	シンデレラ	シンデレラの話をつくった時、ライトがない！！	
34	48	8	小6	女子	7	おもしろやリライト運動事務局	おもしろやリライト		おもしろやリライトの活動を良く知ることができて良かった。	打ち合わせ	おもしろやリライトはどういう運動か、事務局はどういうイベントを通して伝えているのかなどをよく知ることができて良かった。	2	まあまあできた	2	まあまあ話せた	2	まあまあ言えた	2	まあまあできた	おもしろやリライトの活動内容を詳しく知れたこと。	皆に教えることができるから。	問いかけに対ししっかり自分の考えを言うことに驚いた。活動への理解も深まったと感じ、今後が楽しみ。これを機に自分事として捉えてもらえると嬉しい。
35	54	8	小6	女子	7	おもしろやリライト運動事務局	おもしろやリライト		しっかり発言する	活動内容の報告	しっかり「おもしろやリライト会議」で発言して、話せたので良かった。	2	まあまあできた	2	まあまあ話せた	2	まあまあ言えた	2	まあまあできた	発表したこと	大人の前で発表できたから	なし
36	50	13	小5	女子	7	おもしろやリライト運動事務局	大川印刷		きちんと取材する	取材	大川印刷では環境に優しいコピー用紙を作っていることが分かった。思いやりライトで早めにライトをつけることを考えていて驚い	1	よくできた	1	よく話せた	1	よく言えた	1	よくできた	大人がなめこを知らなかったこと。	流行っているから。	はきはきと、よく話をできていて、小学生なのにとってもしっかりしてて驚いた。
37	70	13	小5	女子	7	おもしろやリライト運動事務局	市民会議		おもしろやリライトの活動をアピールできるような記事を書く！	発表会	緊張していたけれど、うまく喋れて良かった	1	よくできた	1	よく話せた	1	よく言えた	1	よくできた	なめこを見せたこと	なめこがかわいいから	
38	53	13	小5	女子	7	おもしろやリライト運動事務局	シクロポリタン		自転車をこいでみる！	取材、自転車をこぐ、乗る	乗ってこいだ時が気持ち良かった。	1	よくできた	1	よく話せた	2	まあまあ言えた	1	よくできた	自転車をこいだこと。	初めてだったから。	元気が良くて、たくさん質問してくれた。いっぱい勉強してね。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	
1	シート No.	アク ター No.	学年	性別	団体 No. ※2	団体名	イベント名 ☆	何回 目？☆	今日の目標☆	活動内容☆	感想1☆	感想 2 ※3	自動表示 3	感想 3 ※4	自動表示 4	感想 4 ※5	自動表示 5	感想 5 ※6	自動表示	感想6(1)☆	感想6(2)☆	コメント☆	
39	49	26	中2	男子	7	おもいや りライト運 動事務局	おもいや りライト	1	おもいやりライト運動 について知る。	打ち合わせ	思いやりライト運動につ いて知ることができ、どうい う活動をしていたかが分 かった。	2	まあまあ できた	1	よく話せ た	2	まあまあ 言えた	1	よくでき た	日産の本社 ビルに入っ たこと	日産はとも で有名で一 度は行っ てみたい と思っ ていたから。	問いかけに 対ししっかり 自分の考 えを言える ことに驚 いた。活 動への理 解も深ま ったと感 じ、今後 が楽しみ。 これを機 に自分事 として捉 えてもら えると嬉 しい。	
40	52	26	中2	男子	7	おもいや りライト運 動事務局	大川印刷	2	なし	取材	大川印刷では取引先など におもいやりライトのこ とを説明する。自分た ちの会社 の車を使うときは早 くライトをつけてい る。	2	まあまあ できた	1	よく話せ た	2	まあまあ 言えた	2	まあまあ できた	大川印刷の 社長に会っ たこと	会社の社 長さん に会う機 会がない から。	大川さん の話のポ イントを ちゃんと つかんで いたよう で良かった です。	
41	71	26	中2	男子	7	おもいや りライト運 動事務局	市民会議	4	市民会議でし っかり発表 する	打ち合わせ、 発表	発表してと ても緊張 した	1	よくでき た	2	まあまあ 話せた	1	よく言え た	1	よくでき た	会議に参 加して人 前で話し たこと	人前で話 すことは 好きで はないの で、話し たから		
42	32	17	中1	男子	8	つづき ミュージッ クビート	T-POPfes	1	TMBのチ ラシをでき るだけ多く の人に配 る	TMBのチ ラシま き	あまり多く の人にチ ラシを配 れなかつ た。自分 が積極 的に配れ なかつた からく やしい。	3	あまりで きなかつ た	3	あまり話 せなかつ た		なし	3	あまりで きなかつ た	人がし っかり受 け取って くれたと き	気持ちが 伝わった と思っ たから		
43	43	17	中1	男子	8	つづき ミュージッ クビート	T-POPfes	2	会議に積 極的にの ぞむ	会議	なし	3	あまりで きなかつ た	3	あまり話 せなかつ た	4	全く言 えなかつ た	3	あまりで きなかつ た	なし	なし		
44	42	17	中1	男子	8	つづき ミュージッ クビート	T-POPfes	3	会議をす る	会議	TMBの詳 細がよく わかつた。 これから 頑張っ ていき たい。明 日も頑 張るぞ！	3	あまりで きなかつ た	3	あまり話 せなかつ た	3	あまり言 えなかつ た	3	あまりで きなかつ た	なし	なし	イベント に全体を 感じて もらえ た。当 日本番 にむけ てよろ しくお願 いします。	
45	38	17	中1	男子	8	つづき ミュージッ クビート	T-POPfes	4	なし	合同会議	遅れて来 てよく話 がわか らなかつ たが来 てよかつ た。	3	あまりで きなかつ た	3	あまり話 せなかつ た	3	あまり言 えなかつ た	3	あまりで きなかつ た	なし	なし		
46	46	22	中1	女子	8	つづき ミュージッ クビート	T-POPfes	1	なるべく 発言す る	会議	なし	4	全く出 来なかつ た	3	あまり話 せなかつ た	4	全く言 えなかつ た	4	全く出 来なかつ た	なし	なし		
47	35	22	中1	女子	8	つづき ミュージッ クビート	T-POPfes	2	話をきち んと聞 く	会議、説 明会準 備	なし	2	まあま あでき た	2	まあま あ話し せた	3	あまり言 えなかつ た	2	まあま あでき た	なし	なし	大切な 会議の 参加あ りがと うござ いまし た。本 番に向 けてよ ろしく お願 いしま す。	
48	45	14	高1	男子	8	つづき ミュージッ クビート	T-POPfes	1	なし	会議	なし	1	よくでき た	1	よく話 せた	1	よく言 えた	1	よくでき た	なし	なし	協力的 な態度 で会議 に参加 して もら った。	
49	33	9	高1	男子	8	つづき ミュージッ クビート	T-POPfes	1	多くの 人にチ ラシを 配る	TMBのチ ラシま き	中高生 にチラ シを配 り、そ の他の 人には あまり 配らな かつた。 あまり 多くの 人に配 れなかつ た。	3	あまりで きなかつ た	3	あまり話 せなかつ た	2	まあま あ言 えた	3	あまりで きなかつ た	チラシ を多くの 人に配 れなかつ た	中高生 に範囲 を狭め てしま ったか ら		
50	47	16	高1	女子	8	つづき ミュージッ クビート	T-POPfes	1	なし	会議、確 認	広告？ 頑張 ろう	2	まあま あでき た	2	まあま あ話し せた	2	まあま あ言 えた	なし	なし	なし	なし		
51	39	16	高1	女子	8	つづき ミュージッ クビート	T-POPfes	2	チラシ 配り	なし	なし		なし		なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし		
52	37	16	高1	女子	8	つづき ミュージッ クビート	T-POPfes	3	ちゃんと 理解す る！！	打合せ、 説明会	MCの事 で覚 えるこ とがた くさん あるの で次回 まで に なる べく 覚 える！ 大変	3	あまりで きなかつ た	2	まあま あ話し せた	3	あまり言 えなかつ た	2	まあま あでき た	なかつ た。	なし		
53	34	1	中1	男子	8	つづき ミュージッ クビート	T-POPfes	1	チラシ を配る	TMBのチ ラシま き	思っ たより チラシ を受け 取って くれた ので 良かつ た	2	まあま あでき た	1	よく話 せた	2	まあま あ言 えた	1	よくでき た	チラシ 配り	思っ たより チラシ を受け 取って くれた ので 良かつ た	皆様元 気でや る気分 で今後 が楽し みです。	
54	44	1	中1	男子	8	つづき ミュージッ クビート	T-POPfes	2	なるべく 発言 (大きな 声で)	第1回 定例会	思っ たより 発言 ができた ので よかつ た。	1	よくでき た	1	よく話 せた	1	よく言 えた	1	よくでき た	初めて だった けど 発言 できた ので よかつ たです	初めて だった けど 発言 できた ので よかつ たです		

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
1	シート No.	アク ター No.	学年	性別	団体 No. ※2	団体名	イベント名 ☆	何回 目？☆	今日の目標☆	活動内容☆	感想1☆	感想 2 ※3	自動表示 3	感想 3 ※4	自動表示 4	感想 4 ※5	自動表示 5 ※6	自動表示	感想6(1)☆	感想6(2)☆	コメント☆	
55	41	1	中1	男子	8	つづき ミュージック クビート	T-POPfes	3	「こうしたほうがいい」 などの意見を言う	定例会議	色々大変そうだった。少 ししか発言ができなかつ た。	3	あまりで きなかつ た	3	あまり話 せなかつ た		なし	3	あまりで きなかつ た	なし	なし	イベントの全体を感じてもら えた。MCのフォロー大役を よろしく願います。
56	36	1	中1	男子	8	つづき ミュージック クビート	T-POPfes	4	司会のリハ、頑張ろ うー！	会議、司会のリ ハ	原稿をもらって責任を感じ た	2	まあまあ できた	1	よく話せ た	3	あまり言 えなかつ た	2	まあまあ できた	なし	なし	
57	40	1	中1	男子	8	つづき ミュージック クビート	T-POPfes	4	チラシ配り	なし	なし		なし		なし		なし	なし	なし	なし	なし	
58	87	16	高1	女子	9	ほどがや 人・まち・ 文化振興 会	宿場祭り	1	一つは案をだす	保土ヶ谷の歴史 を聞く、案を出す	横浜よりも保土ヶ谷のほう が倍歴史があることを知っ た。また保土ヶ谷がとても 栄えていることを知り、お 祭りで何か活かせるか考 えてみようと思った。	2	まあまあ できた	2	まあまあ 話せた	2	まあまあ 言えた	1	よくできた	横浜より歴史 があること	今までは横 浜の歴史(バ リー来航と か)しか知ら なかつたけ ど、それよ りも前から 保土ヶ谷の ほうがあつ たか	歴史の楽しみ方を勉強しよう
59	88	16	高1	女子	9	ほどがや 人・まち・ 文化振興 会	宿場祭り	2	イベントの活動内容 の提案や発言をする	打ち合わせ	次回の打ち合わせまでに 自分でちぎり絵を試してみ ようと思った	3	あまりで きなかつ た	2	まあまあ 話せた	2	まあまあ 言えた	2	まあまあ できた	特になし	なし	すごく面白いアイデアを出し てもらった。
60	86	1	中1	男子	9	ほどがや 人・まち・ 文化振興 会	宿場祭り	1	なるべくしゃべる	歴史についての 勉強	保土ヶ谷の事についてたく さん知れたし、発言できた ので良かった。	2	まあまあ できた	2	まあまあ 話せた	2	まあまあ 言えた	2	まあまあ できた	昔の話	学校では聞 けないよう なことを色 々と聞けた から	歴史の楽しみ方を勉強しよう
61	89	1	中1	男子	9	ほどがや 人・まち・ 文化振興 会	宿場祭り	2	言うべきことをしっか りと言う	なし	目標は達成できたし説明 できて良かった	2	まあまあ できた	2	まあまあ 話せた	1	よく言え た	2	まあまあ できた	発言がちゃ んとできた こと	言うべきこ とをちゃん と言えたか ら	すごく面白いアイデアを出し てもらった。
62	85	1	中1	男子	9	ほどがや 人・まち・ 文化振興 会	宿場祭り	3	神輿で人を笑わせる	神輿	みんなを笑わせられた	2	まあまあ できた	2	まあまあ 話せた	2	まあまあ 言えた	1	よくできた	子供達と接 した	楽しかった から	神輿の掛け 声は最高で した。大人 がみんな喜 んでいた。 また公園の イベントに 来てくださ い。
63	63	17	中1	男子	10	一般社団 法人 横 浜みなと みらい21	Jazz&Beer	1	なし	会議	色々なことを丁寧に教えて くれてよく分かった。少し積 極的でなかったかなと思 う。	3	あまりで きなかつ た	3	あまり話 せなかつ た	3	あまり言 えなかつ た	3	あまりで きなかつ た	特になし	なし	静かに話をよく聞いてくれ た。内容は難しかったと思 うが資料を真剣に見て長時 間対応してくれた。
64	60	17	中1	男子	10	一般社団 法人 横 浜みなと みらい21	Jazz&Beer	2	アンケートを集める	アンケート	色々な人がアンケートに 答えてくれて良かった。明 日も頑張ってるインタビュー したい。	2	まあまあ できた	2	まあまあ 話せた	2	まあまあ 言えた	1	よくできた	なし	なし	知らない人へのアンケートは 大変だったと思うが最後まで やり遂げ、人数もしっかり確 保でき結果が楽しみだ
65	59	17	中1	男子	10	一般社団 法人 横 浜みなと みらい21	Jazz&Beer	3	アンケートに答えて もらう	アンケート集め	色々な人に答えてもらって 良かった。若者が多いとい うことが分かった。	2	まあまあ できた	2	まあまあ 話せた	2	まあまあ 言えた	1	よくできた	答えてもら ったとき	こっちがなん となく嬉し かったから	待つ時間が多かつた中でも アンケートはきっちり取り、真 面目に仕事をしてくれた。
66	61	11	高3	女子	10	一般社団 法人 横 浜みなと みらい21	Jazz&Beer	1	アンケートをたくさん 集めたい	打ち合わせ	アンケートを集める方法が 難しい	2	まあまあ できた	3	あまり話 せなかつ た	2	まあまあ 言えた	2	まあまあ できた	なし	なし	アンケートをシール方式で行 うなど子供ならではの柔軟 な発想に驚いた。当日も楽し みながらやっていけそうなき がする。
67	58	11	高3	女子	10	一般社団 法人 横 浜みなと みらい21	Jazz&Beer	2	積極的に話しかけ る。	アンケートを取る	あつという間だった。人が 多い時と少ない時の差が あり、アンケートを取るの が難しかった。	2	まあまあ できた	2	まあまあ 話せた	2	まあまあ 言えた	2	まあまあ できた	最初にアン ケートを取 る練習をし た時	どう話しか けようか?考 えたり、大 人の方から のアドバイス が印象的だ った。	長い時間外でのアンケートは 精神的にも肉体的にも大 変だったと思う。このような 方からのアドバイスが印象 的だった。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
1	シート No.	アク ター No.	学年	性別	団体 No. ※2	団体名	イベント名 ☆	何回 目？☆	今日の目標☆	活動内容☆	感想1☆	感想 2 ※3	自動表示	感想 3 ※4	自動表示	感想 4 ※5	自動表示	感想 5 ※6	自動表示	感想6(1)☆	感想6(2)☆	コメント☆
68	72	11	高3	女子	10	一般社団法人 横浜みなとみらい21	Jazz&Beer		積極的に！笑顔で！昨日お話ができなかったアルバイトの方と話す！	アンケートを取る、駅での演奏手伝い	船に乗れなかったのが少し残念。広場でジャズの演奏が聞けて良かった。テーブルとベンチに座っている人達にはほとんどアンケートを取ることが出来たと思う。	2	まあまあできた	1	よく話せた	2	まあまあ言えた	2	まあまあできた	駅での演奏	いきなり道で演奏したにも関わらず、たくさんの方が立ち止まって手拍子をしてくださった	雨で船上演奏が中止になったが臨機応変に対応してくれ、短時間ながらアンケートも取ってくれた。
69	62	15	高2	男子	10	一般社団法人 横浜みなとみらい21	Jazz&Beer	1	活動を助ける、いい提案をする	イベント内容の説明と質問	現地に着くのが少し遅れて申し訳ない。イベントをぜひ成功させたい。あまり提案できなかったのが残念。	2	まあまあできた	2	まあまあ話せた	2	まあまあ言えた	2	まあまあできた	みなとみらいでイベントを発売にするためのアピール事業であること。	理想的な街により近づくと思った。	アイデアを出した時の発想の柔軟性に驚いた。当日の成功が期待できると思った。
70	57	15	高2	男子	10	一般社団法人 横浜みなとみらい21	Jazz&Beer	2	なし	準備、インタビューの様子の撮影	みなとみらいのあちこちにジャズがあふれていた。インタビューは多くの人に答えてもらい様々な意見が出てきて良かった。	2	まあまあできた	2	まあまあ話せた	2	まあまあ言えた	2	まあまあできた	歩いているジャズバンド	周りにたくさんの方が一緒にきて楽しかった	社会体験とはいえ人にカメラを向けることはハードルも高かったと思う。来場者も時間によるばらつきが多く集中力を保つのが大変な中、一生懸命働いてくれた。
71	56	15	高2	男子	10	一般社団法人 横浜みなとみらい21	Jazz&Beer	3	頑張る	みなとみらいで演奏の手伝い、美術館前でアンケート取り	ジャズ奏者と船に乗る予定が、雨で駅での公演になり残念だった。ライブはたくさん観客がいて盛り上った。アンケートも無事に集計できて良かった。	2	まあまあできた	2	まあまあ話せた	2	まあまあ言えた	2	まあまあできた	お客さんがけっこういた。	暖かく見てくれてよかったです。	雨でプログラム変更があり、イス配りや運ぶ手伝いまでしてくれた。お昼も大幅に遅れたのに笑顔で仕事をしてくれた。大変感謝しています。
72	78	14	高1	男子	11	戸塚フリーステージ実行委員会	なし	1	なし	打ち合わせ	いろいろ打ち合わせをした。	1	よくできた	1	よく話せた	1	よく言えた	1	よくできた	なし	なし	当日積極的に参加してくれることを期待しています。
73	81	14	高1	男子	11	戸塚フリーステージ実行委員会	なし	3	最後までやる	セッティング、出演	ハードだった	1	よくできた	1	よく話せた	1	よく言えた	1	よくできた	出演したとき	目立ったから	
74	79	9	高1	男子	11	戸塚フリーステージ実行委員会	なし	1	なし	打ち合わせ	戸塚フリーステージ内でプログラム作りやユースト配信をして客を呼び込めるように打ち合わせをした。	3	あまりできなかった	3	あまり話せなかった	3	あまり言えなかった	2	まあまあできた	チャリティなどの宣伝の打合せ	とても詳しく打ち合わせをしていたから	当日積極的に参加してくれることを期待しています。
75	82	9	高1	男子	11	戸塚フリーステージ実行委員会	なし	2	セッティングの準備を手伝う	セッティング、出演	最後まで戸塚にいて片付けを手伝って良かった。	1	よくできた	1	よく話せた	1	よく言えた	1	よくできた	片付け	アンプを片づけたとき	
76	80	15	高2	男子	11	戸塚フリーステージ実行委員会	なし	1	セッティングから最後まで頑張る	ステージのセッティング、出演、片付け	ステージのセッティングの機材運びが結構ハードで朝なのにすごく汗をかい	1	よくできた	1	よく話せた	1	よく言えた	1	よくできた	ステージ出演	練習がそれなりにできていたので少し余裕をもって演奏でき	
77	83	1	中1	男子	11	戸塚フリーステージ実行委員会	なし	1	放送事故を起こさない	セッティング、Ustream配信	たくさんの方が放送を見てくれてよかった	1	よくできた	1	よく話せた	1	よく言えた	1	よくできた	暑かった	太陽が輝いているから	
78	14	3	高3	女子	12	小田原まちづくり応援団	自然観察会	1	しっかり話を聞いて理解する。	静閑亭の見学、ネイチャーゲームの説明。	静かですごく素敵な場所だったので来て良かった。	2	まあまあできた	2	まあまあ話せた	3	あまり言えなかった	2	まあまあできた	静閑亭の見学	思っていたよりも広くて驚いた。	しっかりと取り組み、笑顔がさわやかでした。
79	20	3	高3	女子	12	小田原まちづくり応援団	自然観察会	2	とにかく楽しむ！	ゲーム、クイズ、紋づくり	アクターとして参加したのにお客さんのように楽しんでしまいましたが、みんなと協力して楽しかったので良かったです。	2	まあまあできた	3	あまり話せなかった	3	あまり言えなかった	2	まあまあできた	植物を当てるゲーム	最後まで当てられなかったから。	笑顔がとても印象的でした。「楽しんでしまった」まずこれが一番だと思います。企画は自分が楽しみたいと周りにも伝わりません。学んだことをこれからも活かしてください

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
1	シート No.	アク ター No.	学年	性別	団体 No. ※2	団体名	イベント名 ☆	何回 目？☆	今日の目標☆	活動内容☆	感想1☆	感想 2 ※3	自動表示	感想 3 ※4	自動表示	感想 4 ※5	自動表示	感想 5 ※6	自動表示	感想6(1)☆	感想6(2)☆	コメント☆
80	18	4	中1	女子	12	小田原ま ちづくり 応援団	自然観察会	1	自然と人と触れ合う	受付、問題を出 題	植物のことをよく知れた。 建物の周りには植物が多 かった。	2	まあまあ できた	1	よく話せ た	2	まあまあ 言えた	1	よくできた	植物当てゲー ム	植物のことを ヒントを通して よく知れた。	初めてなのいきなり受付 をありがとうございます。「植 物のことをよく知れた」良 かったです。企画は自分が 楽しむことが一番！です。
81	15	24	小6	男子	12	小田原ま ちづくり 応援団	自然観察会	1	なし	自己紹介、見回 り、ネイチャー ゲーム	周りが自然がいっぱいで すごかった。	1	よくできた	1	よく話せ た	2	まあまあ 言えた	4	全く出来 なかった	家紋	自分の家の 紋が良いと 思った。	元気が良く、活動に積極的 に参加してくれて良かった。
82	19	24	小6	男子	12	小田原ま ちづくり 応援団	自然観察会	2?	なし	クイズ、家紋づく り	自然とも触れ合えて楽し かった。	1	よくできた	1	よく話せ た	2	まあまあ 言えた	3	あまりで きなかつ た	家紋づくり	自分のオリ ジナルのが できたから。	活動に積極的に参加して盛り 上げてくれた。「自然と触 れ合えて楽しかった」それが 一番です。学んだこと、感じ たことを周りの人に教えてあ げて下さい。紋もよくできまし
83	16	26	中2	男子	12	小田原ま ちづくり 応援団	自然観察会	1	8月23日の活動を しっかり決める。	自己紹介、見 学、ネイチャー ゲーム	なし	1	よくできた	2	まあまあ 話せた	2	まあまあ 言えた	2	まあまあ できた	ネイチャー ゲーム	初めてやっ て、自然な どに興味も もてると思 う	「自然などに興味ももてる と思った」良かったです。
84	17	26	中2	男子	12	小田原ま ちづくり 応援団	自然観察会	2	なし	クイズ、紋づくり	とても身近に自然と触れ 合えてとても楽しかった。	1	よくできた	2	まあまあ 話せた	2	まあまあ 言えた	2	まあまあ できた	自然の紋づく り	オリジナルのものを作る作 業楽しいですね。自分が楽 しんだこと、気づいたこと、 是非周りの人に伝えてあげて	
85	107	3	高3	女子	13	特定非営 利活動法 人 都筑 ハーベス トの会	なし	1	みんなで楽しく過ご す！	ぼったら焼き	畑でピーマンなどを取らせ てもらったり、ぼったら焼き の作り方や手作りおき なども食べさせてもらっ たり、とてもいい体験がで き	2	まあまあ できた	3	あまり話 せなかつ た	3	あまり言 えなかつ た	2	まあまあ できた	ぼったら焼き	昔の人の話 とかいっ ぱい聞 けて楽し かったから	よく話を聞いてメモを取っ ていました。
86	105	23	小5	女子	13	特定非営 利活動法 人 都筑 ハーベス トの会	なし	1	聞きたいことはきち んと聞いてくる	野菜売り	あまり売れなかったけど ハーベストというところ はどういうをやっているの かというのが知れた。	2	まあまあ できた	2	まあまあ 話せた	2	まあまあ 言えた	1	よくできた	野菜がいっ ぱいあ ったこと	思っていた 以上にあ ったから	お客さんはあまり来なかつ たけど、その分ハーベス トのことや畑の話を色々聞 いて嬉しかったです。また畑 にも遊びに来てください。
87	106	23	小5	女子	13	特定非営 利活動法 人 都筑 ハーベス トの会	なし	2	色々な人と話すこと	都筑の話、昔な がらの料理	都筑の昔のおやつには 「ぼったら焼き」というもの があるということを知 り、醤油をつけたらおい しかった。	1	よくできた	2	まあまあ 話せた	2	まあまあ 言えた	2	まあまあ できた	ぼったら焼き には色々 なものが 入っている こと。	おやつだか ら、米や野 菜が入って いると思 わなかつ た。	これからいっ ぱい勉強し てください。 頑張っていました。
88	65	7	中2	男子	14	都筑民家 園	アート月 間	1	なし	打ち合わせ	なし	2	まあまあ できた	2	まあまあ 話せた	2	まあまあ 言えた	2	まあまあ できた	ガリガリとん ぼが回 せなかつ た	イベントの 企画、当日 ともに頑 張ってくだ さい。期待 しています。	
89	116	7	中2	男子	14	都筑民家 園	なし	1	とにかく楽しませ る	風船作り、パ ネル作り、セ ッティング	本番は残念ながら雨が 降ってしまったけど次回 に良いものができたら いいと	1	よくできた	1	よく話せ た	2	まあまあ 言えた	1	よくできた	本番が中止	雨	
90	114	21	中1	男子	14	都筑民家 園	なし	1	とにかくみんなが 楽しめるようにする。 怪我のないように気 を付ける	前日準備、セ ッティング	こうやってイベントが できているんだと思 った。こういうイベント に参加して いきたい。	2	まあまあ できた	1	よく話せ た	2	まあまあ 言えた	なし	風船をた くさん膨 らませた	100個も膨 らませたから		
91	117	21	中1	男子	14	都筑民家 園	なし	3	手際よく行動する	受付	とても楽しかった。また機 会があれば来たい。	2	まあまあ できた	1	よく話せ た	2	まあまあ 言えた	2	まあまあ できた	弓矢をや ったとき に貫通し た	そんなに威 力がある とは思わ なかつ た	大人たちとも飛び入りの小 学生ボランティアの皆さん とも仲良く活動できた。
92	64	10	中1	女子	14	都筑民家 園	アート月 間	1	積極的に参加する	打ち合わせ	なし	2	まあまあ できた	2	まあまあ 話せた	2	まあまあ 言えた	なし	竹で作った 弓矢	手作りして いたので驚 いた	イベントの 企画、当日 ともに頑 張ってくだ さい。期待 しています。	
93	115	10	中1	女子	14	都筑民家 園	なし	2	本番に対応できるよ うにしっかり話を聞 く	明日の仕事の説 明	途中参加だったので最初 の手伝いはできなかった が、本番に足でまといに ならないように頑張りたい。	3	あまりで きなかつ た	2	まあまあ 話せた	3	あまり言 えなかつ た	2	まあまあ できた	弓矢が飛 んだこと	感動した	主体を持って活動している 姿が頼もしい。自主的に活 動してくれて感謝してい ます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	
1	シート No.	アク ター No.	学年	性別	団体 No. ※2	団体名	イベント名 ☆	何回 目？☆	今日の目標☆	活動内容☆	感想1☆	感想 2 ※3	自動表示	感想 3 ※4	自動表示	感想 4 ※5	自動表示	感想 5 ※6	自動表示	感想6(1)☆	感想6(2)☆	コメント☆	
94	95	7	中2	男子	15	NPO法人 篠原の里	お祭り	1	誰にでも笑顔で接する	幼児と遊ぶ、血拭き	最初は幼児と打ち解けられなかったけど、遊びを通してコミュニケーションがとれた。幼児たちも積極的に話しかけてくれて嬉しかった。また機会があれば絶対	1	よくできた	1	よく話せた	2	まあまあ言えた	1	よくできた	川遊び	一番最初の遊びで、そこから子供達と仲良くなれたから。		
95	90	18	小6	女子	15	NPO法人 篠原の里	なし	1	篠原の里についてよく知り、本番が成功するようにする	後藤さんとの会議、大石神社見学	本番で上手できるように篠原の里の方たちと良い会議ができたと思う。	2	まあまあできた	1	よく話せた	2	まあまあ言えた	1	よくできた	大石神社見学	前夜祭の会場となる場所を見学できたから		
96	93	18	小6	女子	15	NPO法人 篠原の里	なし	2	福島・地域の方と交流する	前夜祭のボランティア・お世話ボランティア	初めてだったので何をしていたのか分からなかった。保育で福島の子と触れ合うことも少なかった。ソースせんべい屋さんはお客さんに楽しんでもらえて良かった。福島の子供達ととても仲良くなって嬉しかった。特に一対一で接することが出来て良かった。色々な子がいたが平等に対応できたと思う。また来たい。	2	まあまあできた	1	よく話せた	3	あまり言えなかった	3	あまりできなかった	保育	小さい子と遊ぶ機会が少なかったから		
97	92	21	中1	男子	15	NPO法人 篠原の里	なし	1	福島の子供達と仲良くなり、お祭りなどを盛り上げたい。	保育、血洗い	福島の子供達ととても仲良くなって嬉しかった。特に一対一で接することが出来て良かった。色々な子がいたが平等に対応できたと思う。また来たい。	2	まあまあできた	2	まあまあ話せた	3	あまり言えなかった	3	あまりできなかった	ブランコと一緒に乗った	とても楽しかったから		
98	91	13	小5	女子	15	NPO法人 篠原の里	なし	1	会議できちんと自分の意見を言う	会議	本番が成功するように考えられたと思う	1	よくできた	1	よく話せた	1	よく言えた	1	よくできた	大石神社に行ったこと	大石神社でお祭りをやると聞いて嬉しかったから		
99	94	13	小5	女子	15	NPO法人 篠原の里	なし	2	成功するようにする	ボランティア	小さい子供と触れ合いができて、食事の支度もきっちりできたので良かった。	1	よくできた	1	よく話せた	1	よく言えた	1	よくできた	調理	あまりやると動きづらく声もかけづらかったから。当日は他スタッフも多くて、動きづらく声もかけづらかったと思うが頑張ってくれた。		
100	67	2	高1	女子	16	富士通研究所ソーシャルソリューション研究部	富士通	1	頑張る！	インタビュー術、記事作成講習	インタビューや記事作成のポイントを知って日常会話でも使えそうだなと思った。	2	まあまあできた	1	よく話せた	2	まあまあ言えた	2	まあまあできた	インタビューの演習	自分の理解していない所がよくわかったから	取材先希望のところでの積極性がよかったと思う。実際の取材も期待している。	
101	68	2	高1	女子	16	富士通研究所ソーシャルソリューション研究部	BankART 1929NYK	2	前回の練習の時に見つけた改善点に気づけながらインタビューする。	インタビュー、まとめ	何を言えばいいのかわからなくなってしまった。キーワードを抜き出すのが大変だった。	3	あまりできなかった	1	よく話せた	2	まあまあ言えた	3	あまりできなかった	インタビュー	初めてだったので反省点が多かった	大人にインタビューをするのは初めてのことだったので十分に対応できていたと思う。記事の構成決めも二人で話し合っってよく考えていた。	
102	73	2	高1	女子	16	富士通研究所ソーシャルソリューション研究部	横浜市大	3	積極的に質問する	インタビュー、まとめ	大学の教授が思ったより気さくな方でびっくりした	1	よくできた	1	よく話せた	1	よく言えた	1	よくできた	インタビュー	初めて大学の教授と話してとても面白かった	2回目になってインタビューがとても上手になった。特に話の聴き方が上手になった。	
103	75	2	高1	女子	16	富士通研究所ソーシャルソリューション研究部	なし	4	よりよい記事を作る	振り返り、記事の直しについて	インタビューをされた時に相手にわかりやすく答えるのが大変だった。自分もインタビューする時にはわかりやすい質問をしなくてはならないと思う。	2	まあまあできた	1	よく話せた	1	よく言えた	2	まあまあできた	インタビューされたこと	きちんとしたインタビューをされたのは初めてだったので言いたいことをまとめるの	しっかり振り返りができていたのでよかったと思います。	
104	66	25	高3	女子	16	富士通研究所ソーシャルソリューション研究部	富士通	1	取材のノウハウをきちんと理解して、万全の状態での取材に臨む	インタビューについて(練習など)、次回待ち合わせについて	意外と横浜について知らないと思った。取材のコツがつかめたので回りの取材がとても楽しみ。万全の態勢で臨みたい。	1	よくできた	1	よく話せた	1	よく言えた	1	よくできた	次回取材の予約取り(候補出し)	偉い人に取材する方向にいくとは思わなかった。	取材先希望のところでの積極性がよかったと思う。実際の取材も期待している。	

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
1	シート No.	アク ター No.	学年	性別	団体 No. ※2	団体名	イベント名 ☆	何回 目? ☆	今日の目標☆	活動内容☆	感想1☆	感想 2 ※3	自動表示	感想 3 ※4	自動表示	感想 4 ※5	自動表示	感想 5 ※6	自動表示	感想6(1)☆	感想6(2)☆	コメント☆
105	69	25	高3	女子	16	富士通研究所ソーシャルソリューション研究部	BankART 1929NYK	2	BanARTの取り組みについて理解を深める、建築(建築家)についても知る。	施設見学、取材、記事の構成決め	BankARTの活動を知ることが出来た。地域との関わりを大切にしている団体なのだと思います。	1	よくできた	2	まあまあ話せた	2	まあまあ言えた	1	よくできた	取材	池田さんの言葉の中に情熱を感じたから	大人にインタビューをするのは初めてのことだったが十分に対応できていたと思う。記事の構成決めも二人で話し合っってよく考えていた。
106	84	25	高3	女子	16	富士通研究所ソーシャルソリューション研究部	横浜市大	3	横浜市大が地域貢献しているのかを知る	取材、記事の構成決め	前回よりも堅い感じの取材になるかと思っていたが、たくさんのお話を聞けて、横浜市大が地域貢献をたくさんしていると分かった。取材の腕も少しあがった	1	よくできた	1	よく話せた	2	まあまあ言えた	1	よくできた	取材	岡田先生が熱く話ってくれたのが印象的。	2回目になってインタビューがとても上手になった。特に話の聴き方が上手になった。
107	74	25	高3	女子	16	富士通研究所ソーシャルソリューション研究部	なし	4	活動を振り返って今後につなげる!	振り返り	活動を振り返る機会が今までなかったので今日改めて自分の行ってきたことを見直せて良かった	1	よくできた		なし	1	よく言えた	1	よくできた	インタビュー	自分で実際に言葉にすることで活動を通して思ったことや感じたことをまとめられた。	しっかり振り返りができていたのでよかったですと思います。
108	25	2	高1	女子	17	和田町タウンマネジメント協議会 地域とこどもプロジェクト	ワークショップ	1	注意して色々と観察する	街歩き	いっつき避難場所や2008年ワークショップで訪ねた井戸や湧水の確認など色々な所に行った。	2	まあまあできた	1	よく話せた	2	まあまあ言えた	1	よくできた	和田一丁目公園	思っていたよりも絵がうずくなっていた。	暑い中よく頑張って街歩きできました。斜面地の多い和田町のことを知ってもらえたと思います。
109	31	2	高1	女子	17	和田町タウンマネジメント協議会 地域とこどもプロジェクト	ワークショップ	2	積極的に手伝う	チラシ作り	自分画がすごく大変だった	3	あまりできなかった	2	まあまあ話せた		なし	3	あまりできなかった	和田子	画が大変だった	それぞれの役割に応じてチラシの完成に向けて様々なアイデアを出して頑張っていた。
110	28	16	高1	女子	17	和田町タウンマネジメント協議会 地域とこどもプロジェクト	ワークショップ	1	自分の意見を積極的に言う。	ワークショップのチラシ全体のデザイン、キャッチコピーのアイデア	チラシづくりは改めてむずかしいなと思った。話し合いに参加したものあまり役に立てなかった。	2	まあまあできた	2	まあまあ話せた	2	まあまあ言えた	2	まあまあできた	なし	なし	広報用のチラシづくりに参加してアイデアを出し合った。何も無い所から一から作るのには難しかったと思うが頑張った。
111	30	16	高1	女子	17	和田町タウンマネジメント協議会 地域とこどもプロジェクト	ワークショップ	2	とりあえず頑張る!	書いてきたイラストの手直し	楽しかった。また疲れた。こんなんでも良かったのかな...	1	よくできた		なし	2	まあまあ言えた	2	まあまあできた	イラストを何回も消してしまっ	よくわからない	
112	24	16	高1	女子	17	和田町タウンマネジメント協議会 地域とこどもプロジェクト	ワークショップ	3	話し合いの内容をちゃんと把握する。	ミーティング	全然アイデアを出せなかった	3	あまりできなかった	4	全く話せなかった	4	全く言えなかった	3	あまりできなかった	特になし	なし	こども町探検の実施には協力できる積極的な意見も出され、期待したい。
113	21	16	高1	女子	17	和田町タウンマネジメント協議会 地域とこどもプロジェクト	ワークショップ	4	楽しく行動	会議、街歩き、サバめし	とても楽しかったけど、すごく疲れた。サバ飯の時にハブニングもあったけどおいしく作れた。カレーがおいしかった。いっちゃんが可愛かった。	2	まあまあできた	2	まあまあ話せた	2	まあまあ言えた	1	よくできた	いっちゃんが走る自分も走っていたこと	いっちゃん役的な...?	

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V
1	シート No.	アク ター No.	学年	性別	団体 No. ※2	団体名	イベント名 ☆	何回 目？☆	今日の目標☆	活動内容☆	感想1☆	感想 2 ※3	自動表示	感想 3 ※4	自動表示	感想 4 ※5	自動表示	感想 5 ※6	自動表示	感想6(1)☆	感想6(2)☆	コメント☆
114	27	8	小6	女子	17	和田町タ ウンマネ ジメント協 議会 地 域とこど もプロ ジェクト	ワークショ ップ	1	和田町をよく見てよく 知ること	ワークショップの 下見	坂道が多くて暑くて疲れた けれど町のことをよく知る ことが出来て良かった。町 の防災意識が高く、消火 器が多くてびっくりした。	1	よくできた	1	よく話せ た	1	よく言え た	1	よくできた	緑がとても多 かった。	井戸がある 場所には緑 がたくさん あったから。	暑い中よく頑張って街歩きで きました。斜面地の多い和 田町のことを知ってもらえた と思います。
115	22	8	小6	女子	17	和田町タ ウンマネ ジメント協 議会 地 域とこど もプロ ジェクト	ワークショ ップ	2	他の子たち(参加者) が楽しめるようにす る！！	街歩き、サバめ しづくり	和田町の防災のこと、井 戸・湧水のことがよくわか り、地域の子とも話せて楽 しかった。サバめしづくり は難しくて大変だったけど 美味しくできて良かった。	1	よくできた	2	まあまあ 話せた	1	よく言え た	2	まあまあ できた	サバめしづくり	大変だけどう まくできたか ら。	早くからご苦労様でした。水 探しや空き缶での炊飯など 新しい体験ができて良かった ですね。これを機に和田 町にお馴染みになってくれる と嬉しいです。
116	26	13	小5	女子	17	和田町タ ウンマネ ジメント協 議会 地 域とこど もプロ ジェクト	ワークショ ップ	1	町を知ること。	ワークショップ (下見)	防災についてよく知れた。 暑かった。	1	よくできた	1	よく話せ た	1	よく言え た	1	よくできた	坂がとても多 く、緑がとて 多かったこと。	井戸のある ところに緑が たくさんあっ たから。	暑い中よく頑張って街歩きで きました。斜面地の多い和 田町のことを知ってもらえた と思います。
117	29	13	小5	女子	17	和田町タ ウンマネ ジメント協 議会 地 域とこど もプロ ジェクト	ワークショ ップ	2	終わるように頑張る	イラストの色付 け	楽しかった。でも疲れた。	1	よくできた	1	よく話せ た	1	よく言え た	1	よくできた	イラストの色 付け	疲れたから。 大変だった から。	
118	23	13	小5	女子	17	和田町タ ウンマネ ジメント協 議会 地 域とこど もプロ ジェクト	ワークショ ップ	3	和田町について理解 する。	会議	難しかったけど、和田町の ことが理解できた。全然ア イデアを出せなかった。	3	あまりで きなかつ た	4	全く話せ なかった	2	まあまあ 言えた	1	よくできた	なし	なし	こども町探検の実施には協 力できる積極的な意見も出 され、期待したい。

子どもが変える！まちが変わる？

子どもまちづくりアクション成果発表会

～第1回子ども地域社会参画促進フォーラム～

2012年12月2日(日)13時～17時(終了後交流会 17時～18時)

場所：県立青少年センター（横浜市西区紅葉ヶ丘 9-1） JR 根岸線、横浜市営地下鉄線で「桜木町駅」下車、徒歩 10 分
京浜急行線で「日ノ出町駅」下車、徒歩 10 分



ティーンがまちをつくる
特命子ども地域アクタープロジェクト

「新しい公共」という枠組みの中、平成 24 年 1 月から、神奈川県、NPO、企業が協働で、「神奈川特命子ども地域アクター養成アクション」に取り組んできました。

このアクションは、公募で集まった各地の子どもたちが、受け入れを希望したまちづくり団体の活動現場に行き、大人たちと一緒にまちづくりに参画するという試みです。

参加する「特命子ども地域アクター」にとっては、まちにかかわり、社会を知り、自分自身が大きく成長するよいチャンスとなり、まちづくり団体にとっては、子どもの自由な発想力、元気な行動力をまちづくりの現場に入れることで、まちづくりをパワーアップさせようというものです。

参加無料 申込み不要

ただし交流会は申し込みが必要です

成果発表会プログラム

26 名の「特命子ども地域アクター」たちが、17 の団体・企業の活動に参画した成果を、団体や企業の方と一緒に発表します。子どもアクターから直接話を聞ける、パネルセッションも行います。

- 13 時～ 15 時 30 分 「活動報告シアター」と題した発表会（IFホール）
- 15 時 45 分～17 時 パネルセッション（IFホワイエ）
- 17 時～18 時 交流会（3F）

かながわ子どもの地域社会参画推進会議メンバー

NPO法人ミニシティ・プラス(事務局) / 神奈川県県民局青少年部青少年課 / NPO法人横浜プランナーズネットワーク
NPO法人アクションポート横浜 / NPO法人教育支援協会 / NPO法人シャロックホームズ / リスト株式会社

問い合わせ：かながわ子どもの地域社会参画推進会議事務局 NPO法人 ミニシティ・プラス

〒224-0001 横浜市都筑区中川 1-4-1-411

Tel& fax (045)306-9004 (月～金 9 時～17 時)

メールアドレス minicityplus@gmail.com

こんなキーワードに関心のある方はぜひご参加ください。

かならずヒントが得られます！

子どもの社会参画、子どものまちづくり、まちづくりの活性化・高齢化の課題、子どもの社会教育、まちづくりの担い手の育成、まちづくり団体と青少年育成団体のネットワーク化、小中高生の活躍の場

今回活躍した「特命子ども地域アクター」

高橋美利
(小 5)

武信和未
(小 6)

工藤百花
(小 6)

矢野颯人
(小 6)

青野瞳子
(中 1)

和田英里
(中 1)

鶴見尚香
(小 5)

花岡直幸
(中 1)

古館竜稀
(中 1)

小林恵人
(中 1)

今村怜那
(中 1)

矢野淳奈
(中 2)

井出風之介
(中 2)

高崎基
(中 2)

斎藤宙
(高 1)

石井真央
(高 1)

川本森也
(高 2)

小幡彩
(高 3)

黒川遥
(高 1)

森本大樹
(高 1)

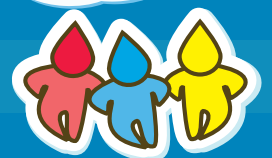
井出凧子
(高 3)

栗原里実
(高 3)

安達妃美
(高 3)

多田茜
(高 3)

古館柚希
(高 2)



今回特命子ども地域アクターを受け入れたまちづくり団体、組織、企業

ティーンがまちをつくる
特命 **子ども** 地域アクタープロジェクト

活動の記録 2012

あざみ野第二小学校
地域防災拠点運営委員会



防災訓練の中子ども向け
防災ワークショップの企画と実施他

特定非営利活動法人
小田原まちづくり応援団



歴史ある建物「清閑亭」の中で行つた
自然体験イベントへの協力

富士通研究所
ソーシャルソリューション研究部



企業が運営するまちづくりイノベーション
HUBサイトの取材記事作成

特定非営利活動法人 篠原の里



廃校になった学校の宿泊体験施設にきた
福島の子もたちとの交流。お祭りの盛り上げ

子どもたちは 様々な人たちと一緒に、地域のために役割を持って活動することでさらに成長します。

I LOVE YOKOHAMA



大人が中心のごみ拾いイベントへの
参加と意見だし

戸塚フリーステージ実行委員会



駅前コンサートの準備、盛り上げ、
プログラム作り、ユーストリーム中継の実施

ほどがや 人・まち・文化振興会



恒例の宿場まつりへの企画提案
「じゃがいも神輿練り歩き」「浮世絵工作」

一般社団法人 横浜みなとみらい21



社会実験で行なっているイベントでの
アンケート調査実施

子どもの頃から、まちづくりに参画することは、将来のまちづくりの担い手が育つことです。

和町タウンマネジメント協議会地域と
こどもプロジェクトチーム



まちあるきイベントの下見、準備、アイデア出し

特定非営利活動法人 都筑ハーベストの会



障がい者が運営する畑で採れた野菜を
使った新商品の開発参加

日本スポーツGOMI拾い連盟



ごみ拾いイベントの企画からの参加
イベント内でのゲーム実施等

おもいやりライト運動事務局



おもいやり運動に参加している企業の取材と
より波及させるためのアイデア出し

NPO法人 都筑民家園管理運営委員会



アートイベントの企画提案とイベント運営

17 団体への子どもの社会参画の成果と失敗？を、子どもたちとまちづくり団体が一緒に発表します。

非営利活動団体スマイルミニシティプロジェクト



子どものまちのイベントの盛り上げ、運営

神奈川県東西地域県政総合センター



アートイベントの中で、子どもたちが
参加する「元気旗」づくりのお手伝い

特定非営利活動法人 I Love つづき



主に障がい者の製品を扱うネット
ショップの商品企画への参加等

つづきミュージック・ピート実行委員会



中高生のバンド、ダンスの祭典のPR、
当日の運営、司会等

◆発表会への参加申込み◆ 事前申し込みはとくに必要ありませんが、当日資料に限りがありますので、申し込みをしていただくと確実に資料がお渡しできます。申し込みは 下記に記入の上FAXしていただくか、必要事項を書いてメールでお願いします。

かながわ子どもの地域社会参画推進会議
事務局 NPO法人 ミニシティ・プラス

〒224-0001
横浜市都筑区中川 1-4-1-411
Tel & fax (045) 306-9004
Email minicityplus@gmail.com

お名前	所属 (あれば)
メールアドレス あるいは 電話番号	交流会に参加しますか <input checked="" type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

◆協力体を募集します◆ この事業への「協力体」を募集します。事業に参画したい、まちづくり団体、青少年団体の登録をお待ちしています。子どもの社会参画を一緒に進めませんか？

協力体に登録するとメンバーリストに入り、事業の進捗、2ヶ月に1回程度の推進会議への参加情報等が得られます。子どもの社会参画へのしほきと一緒に検討し、実践する仲間になっていただきたいと思います。協力体の中身についてのご案内はフォーラム当日、あるいは当日以降ホームページ等に掲載します。



《子どもまちづくりアクション成果発表会・活動報告シアター》

2012年12月2日(日)13時～15時30分 県立青少年センター1Fホール



神奈川特命子ども地域アクタープロジェクト2012

百崎： みなさんこんにちは！

多田： 本日は子どもまちづくりアクション成果発表会にお越し下さりましてありがとうございます。本日の司会は

百崎： 百崎と

栗原： 栗原と

多田： 多田が担当します。どうぞよろしくお願いいたします。初めに、この事業の趣旨などについて、かながわ子どもの地域社会参画推進会議代表の三輪さんよりご説明します。よろしくお願いいたします。



三輪： みなさんこんにちは。かながわ子ども地域社会参画推進会議代表を務めております NPO ミニシティ・プラス事務局の理事長の三輪です。本業は横浜市立大学で市民まちづくりというのを教えています。今日はこの事業の概要と、今までどのような活動をしてきたかについてご説明します。

特命子ども地域アクター育成アクションは昨年度から始まり、この四月から本格的に活動をしています。私や神奈川県青少年問題評議会という組織において、子どもの地域社会参画ということをテーマに二年ほど前から話し合いをしてきました。その中で、「そもそも子どもの社会参画がテーマなのに、大人だけで話をしても意味がないだろう」という話があり、特命子ども委員を樹立し、中高生にも話し合いの場に参加してもらうことになりました。すると一般公募で8名の中高生が参加してくれました。委員の子ども達と何度か話しをする中で、この事業をなんとか繋げて形にしたいと思い、県と協働で内閣府の新しい公共事業に応募をし、今回の子どもまちづくりアクション成果発表会の運びとなりました。

この事業の目指す姿としては、子ども達が地域の一員、仲間として大人と一緒に地域を作っていくためのきっかけ作りをすることです。例えば、現地でいまやっているまち作り事業に子ども達にもなるべく関わってもらうこと、自分たちのまちへの愛着や課題に向けて頑張っている大人の姿を見てもらい、子ども達自身の声がまちに寄与されていくのだということを伝えることです。

事業を進めていくにあたって、私達 NPO ミニシティ・プラスを事務局とし、複数のまちづくり団体や、教育シェアや子どもたちの専念育成を行っている企業などで、子どもの地域社会参画推進会議を開き、この事業を広げながら評価できることになりました。

それではメンバーの皆さん、自己紹介をお願いします。

皆川： 神奈川県青少年課の企画の皆川です。

山路： NPO 法人横浜プランナーズネットワークの山路です。

内海： NPO 法人横浜プランナーズネットワークの内海です。

東： NPO 法人シャーロックホームズの東です。

松本： リスト株式会社の松本です。



三輪： ありがとうございます。

今日壇上に上がって頂いた団体、企業の皆さんとは、それぞれまちづくりに力をいれている協働として今回初めてタッグを組みました。

さらに今回、事業の内容として3つの柱を掲げています。

「特命子ども地域アクター」の募集・養成として、県内3ヶ所でアクター募集とまちづくり団体募集についての事業説明会を行い、いろは勉強会を開催しました。そして実際に派遣をする、このフォーラムを開催する、以上がこの事業の三本柱となっています。

アクターの募集最終参加人数は26名になります。資料に学年と名前が出ているので見て頂ければと思います。メンバーの中心は中高生をイメージしていましたが、非常に意欲的な小学校5、6年生の方も参加していて、メンバーとしてしっかり活躍しています。アクターは月に1回ほど子ども会議を開催し、派遣するまでの準備を含め、派遣してから、今日この会場をつくるにあたっての準備も、子どもたちが関わって行っていました。

派遣する前の勉強として行なった、いろは講座は、私が所属している横浜市立大学エクステンション共催でヨコハマ創造都市センターにて5月～6月に毎週5回連続して行い、まちづくりの基礎教養のようなことをわかりやすく学べるようにしました。最終回は、大学生と一緒に振り返りを含めたワークショップを行いました。

また、まちづくり団体として子ども達を受け入れて頂いた17団体の方々とお見合い会を行い、子どもたちがどこに行きたいか、なにをしたいか、を事務局がいていねいにヒアリング、マッチング作業を行い、夏から秋に派遣を行いました。アクターの実際の活動内容は、この後、子どもたち自身に舞台上で話をしてもらいます。アクターは一人一か所ではなく、複数団体へ行っています。熱心にあちこち行き、それぞれ比較し、子ども自身の中でも変化があると思います。事業終了後も子ども会議は何回か行う予定なので、子どもたちにどんな変化があったのか、事務局としては意識して分析し、今後の事業に生かしたいと思っています。

事業として補助金という形は今年で終わってしまいますが、今後は、今回生まれたネットワークをつなげていきたいと思っています。来年度以降も、子どもたちの、まちづくりへのインターンのような形での参加を進めていくことを目指していきたいと思っています。

では、私のほうからはこの事業についての経緯と報告を終わります。

司会： みなさん、特命子ども地域アクターについてお分かりになりましたでしょうか？
ここで特命子ども地域アクターの皆さんに登場してもらいたと思います。
(アクター順番に登場。それぞれ自分のキャッチコピーを考えました！)

やる気だけは、まけません 小学5年生 高橋美利
本が好きな 小学5年生 鶴見尚香
フランス語で自己紹介できます。今日は写真での参加です。小学6年生 武信和未
ダンスが踊れます。小学6年生 工藤百花
声が大きいです。小学6年生 矢野颯人
いつも腹ペコ、トコです。中学1年生 青野瞳子
サクスが吹ける、中学1年生 花岡直幸
写真での参加です。ボルトを抜く！中学1年生 古館竜稀
乗馬が趣味です。中学1年生 小林恵人
バスケ部で動くこと大好きな中学1年生。和田英里
エレキギターやっています。写真での参加です。中学1年生 今村怜那
得意な科目は体育です。中学2年生 矢野淳菜
ドアを開けたら僕がいる 中学2年生 井出風之介
動物が大好きです。中学2年生 高崎基
女総理大臣を目指しています。高校1年生 黒川遥
写真を撮るのが大好きで写真部部长です。高校1年生 石井真央
写真の参加です。寝るのが一番。高校2年生 古館柚希
小さいけど、高校生です。高校3年生 小幡彩
動けるデブ 高校3年生 井出凧子
受験だ！と思ったら え？もう高校受験と聞かれました。高校3年生 栗原里実
特技はダンスです。高校3年生 安達妃美
おしゃれをすることが大好きです。高校3年生 多田茜



ここでバンドを担当している、アクターを紹介します。

君がコーヒーなら僕はミルクさ。高校1年生 斎藤宙
カリッとあげたポテトです。高校1年生 森本大樹
この世を救済するために降りてきた神。高校2年生 川本森也
そして司会を務めさせて頂いたのは…
無駄な知識で頭が一杯です。中学1年生の百崎佑です！！

以上で地域アクターの紹介を終わります。

司会： ここからは各団体の発表を行いたいと思います。

《あざみ野第二小学校地域防災拠点運営委員会》

特命子ども地域アクター：矢野淳奈、(欠席：古館柚希、古館竜稀)

司会：あざみの防災訓練の活動について紹介します。

あざみ野第二小学校地域防災拠点運営委員会の活動にアクターの3人が参加しました。青葉区の小学校で小学生とその保護者を対象に避難所体験を含む防災訓練を行うことになりました。初めて行う体育館の宿泊体験を含む防災訓練で、特命子ども地域アクターには2つのリクエストがありました。1つは子ども達を飽きさせない防災ゲームを考えること。そしてもう一つは夜の寝床作りをお手伝いすることです。防災ゲームではチームで競いました。みんなに4種類キャンディを配り、受け取ったキャンディの種類でチームに分かれました。これはアクターのワークショップでもやったのでそのやり方を真似しました。

子どもたちの寸劇風の発表



★グループ決め

子役1： ミルキーだったよ。

子役2： 私も。

子役3： 僕もミルキーだったよ。じゃあチーム名はミルキーにしよう！

★問題1を出す

矢野： 避難所で子ども達を静かに遊ばせる方法を考えてください。大人の人たちはみんな疲れているから、小さい子が避難所で騒ぐと辛いのです。

(それぞれフリップを持って)

子役1： 折り紙をして静かに遊んでもらいます。

子役2： お絵かきをしてもらいます

子役3： 寝たふりごっこをしてもらいます

★問題2を出す



矢野： 次はヘリコプターから見える助けを求めるサインを人文字でつくってくださいという課題を出しました。

チームの団結力が試されます。どれが見やすいか、インパクトがあるか競いました。写真をごらんください。(写真表示) みんな楽しそうでした。「SOS」やひらがなの「きて」など、みんな工夫していました。

西本： 青葉区のあざみ野第二小学校地域防災拠点運営委員の西本です。私たちの防災訓練では、今年の夏に小学校の体育館に泊まり、避難所生活を体験する防災訓練を行いました。特命子ども地域アクターには、小学校の子どもたちが楽しく防災ゲームを学ぶことと、寝床作りのお手伝いをお願いしました。特命子ども地域アクターが子どもたちの自由な発想をどのように

引き出してくれるか、大変期待していました。
子どもたちが自由に作った寝床には、色々なアイデアがつまっていました。暗い体育館の中で周りに明かりがもれない、段ボールにお互いの顔が見える窓を作るといった、頭の固い大人では考え付かないアイデアが生まれました。
参加した子どもたちからは「大変だったけれど楽しかった」、一緒に泊まった親子からは「子ども達が自分で考え行動する体験ができて良かった」という声が聞かれました。
あざみ野第二小学校では「来年もまた体験訓練をやりたい、その時にはぜひ地域アクターに来て欲しい」という声が出ています。また、この訓練を見学に来た他の防災拠点の方からも、「うちの拠点の防災訓練にもぜひ地域アクターに来てほしい」という声が来ています。

司会： 西本さんありがとうございました。
アクターとして参加した矢野さんはいかがでしたか？
矢野： 子どもが多くてまとめるのが大変でしたが、楽しみながらみんなでゲームをやることができ良かったです。
司会： この活動をして自分自身が変わったこと、ためになったことはありますか？
西本： ためになったのは、まず防災の知識です。災害の時にどのようなことがあるのかの基礎知識について深く知りました。また、ゲームでは子どもたちだけでも、チームで団結をして色々なことができるということを私自身も知れたし、参加してもらった子どもたちにも知ってもらえたのかなと思います。
司会： これからも継続していけたらいいですね。

《小田原まちづくり応援団》

特命子ども地域アクター：小幡彩、矢野颯人、高崎基、青野瞳子

司会：小田原まちづくり応援団には、アクター4名が参加しました

小田原まちづくり応援団は、明治末期から大正初期に建てられた歴史的価値のある清閑亭を拠点に、小田原のまちづくりを行っています。アクターたちは夏休みに行われる「自然観察会」をお手伝いし、盛り上げました。



矢野： 自然観察会ということで、虫取りなどを行うと思っていましたが、室内で自然の勉強ができるカードゲームを行いました。動物の名前を当てるゲームでした。事前に家紋や学校のマークなどを調べ、発表して、最後に自分のオリジナルマ



ークを作りました。できたオリジナルマークは自分の家に飾っています。
高崎： 小田原には何回か行ったことがありますが、清閑亭に行ったのは初めてでした。自分のオリジナルマークを作ったのは初めてでとても楽しいイベントでした。これからも自然をよく観察してデ

ザインなどを描いていこうと思いました。今回は参加人数が少なかったので少しさびしかったです。もう少し参加人数が多いと良いと思いました。そのためには、学校や地区センターなど、子ども達が多く集まる場所でもっと宣伝をすると良いと思いました。

小幡： 清閑亭という歴史ある建物でのお手伝いをしました。クイズのカードを読んでみんなにクイズを出したり、自然を取り入れたマークを探して紙に書くゲームをしたりしました。清閑亭は海が見えてとても落ち着ける場所でした。色々なイベントが開かれており、お茶も飲めるのでぜひ皆さん機会があれば、行ってみて下さい。

青野： 清閑亭というところで自然観察会のお手伝いをしました。自然観察会といってもこんなまち中で自然があるのかな、と不安な気持ちで目的地に向かいました。清閑亭に着くと不安な思いを吹き飛ばす、すばらしい景観があり、とてもすがすがしくなりました。そして自然観察会では動物あてゲームなどをしました。動物当てゲームでは問題を出題したり回答したりして、とても楽しかったです。また、清閑亭スタッフの黒田さんの「自然を感じるには見る、かぐ、触る、聞く、食べる、の4つで感じるんだ」との言葉がとても印象的でした。

司会： ありがとうございます。
本当ならば、小田原まちづくり応援団の方々に来ていただく予定でしたが、残念ながら来られないとのことですので、代わりにメッセージを頂きました。

金山： 矢野君、青野さん、高崎君、小幡さん、NPO ミニシティ・プラスの皆さん、そして会場の皆さんこんにちは。今日はせっかくの発表会に急いがかえなくなってしまう、ごめんなさい。皆さんにまたお会いできるのを楽しみにしていたので

すが、本日開催される清閑亭でのイベントの人手が急きよ足りなくなってしまう、出席できなくなっていました。

さて、自然観察会と一緒に盛り上げてくれた4名のアクターの皆さん、どうもありがとうございました。そしてお疲れ様でした。当日は参加者が少なく、また参加者のほとんどが小学生だったこともあり、お兄さん、お姉さんのような形でイベントのスタッフとして活躍し、場をとて盛り上げてくれました。

実は今回私たちの団体は、受け入れ登録をしたもののこの事業のために新規のイベントを立ち上げることは難しく、アクターの受け入れは厳しいのでは、と一度はお断りをするとも考えていました。しかし、既存のイベントでも良いということで、受け入れさせてもらいました。

やはり、若い柔軟な皆さんが活動にかかわってくれと、こちらたくさん刺激をもらいます。素直な反応や正直な意見。今回は顔合わせと説明会の1日とイベント当日の、計2日だったので、なかなか長い時間じっくり皆さんと話すことはできませんでしたが、皆さんがいてくれたことでイベントが活気づいたことは確かです。それからイベント自体の企画についても改めて考えさせられました。「参加者が集まらないのはなぜ?」「イベントタイトルと内容があっていない?」など、地域アクターの皆さんがいてくれたことでイベントを客観視することができました。

受入れ団体としての反省点としては、今回お手伝いとしてでしか関わってもらえなかったことです。もう少し、アクターの皆さんから意見をもらい、イベントに反映できればよかったですと思います。アクターの皆さん2日間どうもありがとうございました。また時間があればおこしく下さい。

《富士通研究所ソーシャルソリューション研究部》

特命子ども地域アクター：黒川遥、多田茜

司会：次は富士通研究所です。

富士通研究所ではまちづくりに取り組む団体や個人を取材し、ウェブサイトを紹介する「まちばたネット」を運営しています。いつもは大人が取材し記事を作成していますが、今回、高校生アクター2人が取材先から企画し、実際に取材にいき、記事を作成しました。



黒川： 今回、私達は BankART(バンカート)1929 という美術館を取材しました。BankART1929 は、ただ作品を鑑賞するだけではなく、アートをきっかけにアーティストと一緒に交流・活動できる、今までにない美術館です。

今回、このような経験をさせてもらい、初対面の方に色々話を聞く大変さがわかりましたが、それをきっかけに他の人のインタビューや姉妹記事に自然と目がいくようになりました。そして、初対面の人と話をするのがとても楽になりました。このような経験を活かし、これからは色々な人と話をして知識や情報を吸収して成長をしていきたいと思いました。

多田： 次に私達は横浜市立大学合国際総合科学部長岡田先生にインタビューしました。横浜市立大学が果たす役割は、国際化の時代にグローバルな視点をもって活躍できる人材や地域医療、社会保障を育てること、そして市民に支えられた公立大学としてさまざまな地域貢献をすることです。「なぜ横浜市立大学は多くの地域貢献をしているのか？」と聞くと「それは横浜市立大学の大学だから、横浜市のあり方を示したい。人だけではなく、まちと積極的にかかわりたい、大

学ならたくさん専門家がいるので大いに活用していかなければならない」と答えてくれました。

そして取材の中でもっとも印象に残った言葉は、「まちづくりは各学部の教授が知識を出し合っ一緒にすべき」というものです。また、まちの良さを生かしたまちづくりの重要性についても話してくれました。私達は常にまちの悪い面ばかりに目がつきますが、良い面を発見し、見つめなおすことで、新たな発見が生まれる事もあります。

初めは少し緊張しましたが、岡田先生がとてもきさくに話をしてくれたので、次第にリラックスして取材する事ができました。大学の先生ということで固いイメージをもっていたのですが、私達にもわかりやすい言葉で話してくれ、とても楽しい取材になりました。

私は生まれ育った横浜のことが大好きなので、できれば横浜に関連したまちづくりについて、大学で学びたいと考えています。今回の取材で横浜市立大学の国際都市横浜を良くしていこうという姿勢、また世界的な視野を持った取り組みに感銘を受けました。ますますまちづくりについ

て学びたいという気持ちが強くなりました。このような機会を与えて下さった NPO 法人や富士通研究所の方々に感謝したいと思います。ありがとうございました。

岩山： 富士通研究所の岩山です。
富士通研究所が運営している「まちばた. ネット」は、まちづくりや地域の活性化に取り組む個人、組織、団体を繋いで、社会に新しい価値を生み出すための、まちづくりイノベーションハブサイトです。富士通は「まちばた. ネット」から、まちづくり活動の実際の状況や今困っていること、今後困りそうなことなどを直に知り、企業として適切な関係や支援を行えるようになることを目指しています。
子ども地域アクタープロジェクトに参加して良かったことが3つあります。1つ目は地域アクター

プロジェクトと関連して「まちばた. ネット」を広く知ってもらえたことです。2つ目は、高校生の言葉でまちづくりの活動を発信することで、これからのまちづくりを担う若い方にも伝わりやすいことです。3つ目は高校生がまちばた記者になった事例として他地域にも紹介できることです。
取材に同行してまちづくりで活躍する素敵な人のお話を一緒に聞かせてもらい、私たちも元気をもらおうと共にとっても幸せな気持ちになりました。どうもありがとうございました。

司会： ありがとうございました。
多田さんはこの取材活動を含めたプレゼンテーションで希望の大学に推薦で合格されたそうです。おめでとうございます！
岩山： 多田さんの合格のお知らせは自分の子どものことのように嬉しかったです。本当におめでとう！

《特定非営利活動法人 篠原の里》

特命子ども地域アクター：小林恵人、井出風之介、高橋美利、工藤百花

司会：次は篠原の里です。

廃校になった学校の宿泊体験施設、それが篠原の里です。一番近い駅は藤野駅です。歩くで一時間くらいかかっています。保育も併設しています。そこにアクター4名が行き、ここに宿泊して、遊びに来た福島の子供達と交流したり、地元のお祭りを盛り上げるお店を開いたり、神輿を担いだりしました。



(リュックを持って演技)

高橋： わー、ついたついた。篠原の里！いっぱいお手伝いしよう！

工藤： 福島の子供達と仲良くなれるかな。私たちはまずお昼の食事の準備の担当だよ。男子は川に行って小さな子供達と川遊びしてきて。



高橋： 私たちは篠原の里に行くのを楽しみにしていました。いっぱいお手伝いをするぞと張り切っていました。小さい子供たちの面倒を見たり食事の支度をしたり、たくさんお手伝いをしました。

工藤： 今回主に食事作りのお手伝いをしました。大人の人たちと親しくなれてとても楽しかったです。

2日目の大石神社のお祭りでは、お神輿を担いだり周りの見守り役を担当したりして、みんなが安全に楽しめるよう活動しました。帰るときに「助かった。また来てね。」と言われたのがとても嬉しかったです。

井出： お祭りに自分たちで考えた屋台を出しました。そのお店は金運や恋愛運を占うソースせんべい占いです。今から実演します。

ソースせんべい占い実演-----

井出・小林

： いらっしゃい。いらっしゃい。ソースせんべいはいかがですか？

はい。ではどうぞ。何を占ってほしいですか？

客： 金運をお願いします。

井出： はい。では、割りたいと思います。

小林： 綺麗に割れましたのでこれからも金運があがると思います。

客： ありがとうございます。

小林： ではどうぞ、ソースが垂れるので気を付けてください。

客： ありがとうございます。

井出： このような形でソースせんべい占いをやりました。

井出： 篠原の里では僕は小さい子どもたちの面倒を見ました。小さい子どもが好きなので楽しかったです。また川遊びなどもでき、自然に触れることができました。最後に神輿を福島の子たちと担いだのが一番の思い出です。福島の方の力に少しでもなれたので嬉しかったです。

小林： 僕は着いてすぐに福島の子もたちと川遊びに行きました。あまりのパワフルさに圧倒されました。静かな子や、やんちゃな子や、いろんな子がいましたが、みんなで仲良く遊べました。川遊

びから帰るころにはびしょびしょになっていました。お祭りなども盛り上げられたし、お神輿も一緒に担げたので良かったと思います。とっても良い経験になりました。また機会があったら行きたいと思います。

司会： 篠原の里からは後藤さんが来て来ています。後藤さんどうでしたか？

後藤： 私たちは篠原という地域に住んでいます。人口200人くらいの少子高齢化の本場にさみしい集落、村に住んでいます。

昔から市民活動が盛んで、昨年からはNPO法人篠原の里の色々な活動の一環として、「福島から原発の影響で外に出て遊ぶことがあまりできない子どもたちを呼んで、自然のなかでいっぱい伸び伸び過ごしてもらおう」という活動を始めました。

今回このアクターのお話があり、小学生中学生のお子さんたちに何をしてもらえるのかなと思いました。しかし子どもが大勢いるということは嬉しいことだし、他にも200人くらいのボランティアが参加している活動なので、一緒にやってもらえたらと思い、食事作りと保育をお願いしました。また、大石神社のお祭りの夜店でソースせんべい屋さんをやってもらいました。

自分たちで自主的に動いてくれたので、危なげなく任せられ、とくに保育では、小さい子どもに寄り添って心を込めて遊んでくれたので、福島から来ているお母さんたちから、「とても安心して預けることが出来た」という感謝の言葉をもらいました。私たちもこんなに頑張ってくれるとは正直思っていなかったのが嬉しい驚きであり、また今後もこういった機会があれば来てもらいたいと思いました。

《I LOVE YOKOHAMA》

特命子ども地域アクター：井出凧子、川本森也、鶴見尚香

司会：続いては I LOVE YOKOHAMA です。I LOVE YOKOHAMA はミクシィというインターネット上のコミュニティの交流の中から生まれた、横浜を愛する人たちのゆるやかなネットワークです。普段は横浜に関する情報をインターネット上でやりとりしていますが、月に1回有志が集まり、ゴミ拾いをしたりキャンドルナイトをしたり、楽しくまちに素敵なことをしています。今回アクター3名がゴミ拾いの活動に参加しました。



川本：僕は活動に2回入りました。最初に参加したのが鎌倉や横須賀線沿線で開かれるゴミ拾いだったのですが、それぞれ源氏と平家に分かれて競い合うという楽しい要素がありました。大人の参加者の皆さんも優しくすぐに馴染むことができました。2回目に八景島の海の公園で清掃活動をして、ここでは始まる前に「夢はまバック」というゴミを入れるためのバックを作りましたが、制作が間に合わなくなってしまいました。その後で完成したので今後の活動に使えたらいいなと思います。

鶴見：私は8月4日の源平ゴミ拾い合戦から参加しました。源平ゴミ拾い合戦とは自分の名字の由来で源氏と平氏のチームに分かれて戦う合戦です。ゴミの量と種類でのポイントを競いました。特に煙草の吸殻はポイントが高いです。この日は服装も浴衣や甚平、はっぴ、甲冑など昔の人をイメージした格好をみんな、していました。私は源氏のチームでゴミの量では負けてしまいましたが、多くのゴミが取れてよかったです。

井出：私は8月25日に行われたゴミ拾いに行きました。午後からのゴミ拾いだったので午前中はゴミを

入れるかご、「夢はまバック」を作りました。結束バンドを組んで作りました。このバックは(拾ったゴミがぬれていても)水も切れて、使いまわしもできるのでとてもエコだと思いました。買い物かごとしても利用できるのとても重宝しそうです。

午後からは I LOVE YOKOHAMA の方たちと合流して50名くらいで2つの班に分かれて掃除を始めました。大学生から40～50代くらいの方たちまで様々で、いろんな年代の人と交流しながら行うことが出来ました。この日は夜から花火大会があってたくさんの方がいたので、このようなゴミ拾いの活動をたくさんの人に知ってもらえたと思います。

I LOVE YOKOHAMA の方たちは SNS などのネットでできたグループですが、とても気さくな方ばかりでとても楽しかったです。それがこのような活動が長く続く秘訣なのではないかと思いました。今はネット上での繋がりなので、今後は SNS にログインしにくい若い中高生やお年寄りの方が参加できるような、横浜にいる全ての方が

I LOVE YOKOHAMA になれればいいと思います。

司会： それではI LOVE YOKOHAMAの方にアクターを受け入れての感想などをお聞きしたいと思います。

佐藤： I LOVE YOKOHAMAの代表管理人の佐藤です。

インターネットを通じて横浜好きが集まり、主に20代から40代が活動しています。仕事が忙しい、他に趣味があるなどの理由でなかなか地域に貢献できないであろう年代の人たちが、累計清掃活動は63回、サンタ清掃という活動も累計7回行っています。息の長い活動ができるのは、本当に気楽にみんなで集まっているからです。年配の方にはインターネットをされない方もいるので、区の広報を通じて何名かに来てもらっています。

子どもの参加は親子でというのはありましたが、今回のように運営を中心にかかわることはあり

ませんでした。そのため、最初は上手くいかどうか、時間の調整やコミュニケーションにも不安がありました。2回の源平ゴミ拾い合戦と海の公園清掃の活動を通じてこの不安は完全に払しょくされました。

非常に積極的に関わってくれ、特に「夢はまバック」という海の公園から生まれた廃材を使って作るゴミ袋すらゴミにしないという徹底したゴミ袋の最終兵器の制作も一生懸命やってくれ、海の公園の方々も非常に喜んでくれました。このノウハウ、この便利さをぜひ次につなげてもらいたいと思っています。

本当に一緒にこれからも関わっていきたいと思える責任とやる気を実感しました。チームのリーダーやイベントの責任者として、サポートをしながら一緒にやっていきたいと思いました。また来年以降もぜひ一緒にやらせてもらいたいし、ここでの経験を次に活かしてもらいたいです。

《戸塚フリーステージ実行委員会》

特命子ども地域アクター：齋藤宙、川本森也、森本大樹、百崎佑



(FM 戸塚風 演技から)

片山： 片山大蔵です。毎週土曜日、日曜日と14時から放送させていただいております。「大ちゃんの熱中タイム」の時間がやってきました。今日は、特命子ども特命地域アクターをゲストにお招きして、放送させていただいております。戸塚



の子もたちが作った戸塚テーマソング「だいすきとつか」という曲はありますが、以前はヒップホップ調だったのですが、今回ロック調に編曲してくれました。それでは聞いていただきましょう。特命子ども地域アクターの演奏で「だいすきとつか」です！！

—————「だいすきとつか」歌と演奏—————

司会： ありがとうございます。

戸塚フリーステージ実行委員会について少し話したいと思います。戸塚フリーステージ実行委員会は戸塚駅前のにぎわい作りのためにコンサートをしたり、キャンドルナイトをしたり雪国から雪をもらってきて駅前で雪遊びをするなど、多彩な活動をしています。

今回は毎年行っているセプテンバーコンサートに、過去戸塚の子どもたちがつくった「だいすきとつか」という曲をアクターが練習し演奏したり、コンサート全体のユーストリーム中継を設定からすべて担当したりしました。この活動にはアクター4名が参加しました。

川本： とても楽しい演奏ができました。参加側としてやらせてもらい、ステージの設営にも参加し大変な所もありましたが、結果的に良い成果が出せたと思います。

森本： 演奏はしなかったのですが、手伝いとして機材の搬入をしました。演奏をしなくてもみんなの演奏を聞き気分が乗り楽しかったのも、これからも参加したいと思いました。

斎藤： 私は演奏をして機材も運びましたが、機材がとても重く地下2階の倉庫から途中は階段しかなくて、とても疲れて大変でした。

百崎： 僕はユーストリーム中継を担当しました。大人の方たちがユーストリームの設定が分からないとの事で、自分は機械が好きなため、駆けつけ、設定から配信まですべて担当させていただきました。こんなにたくさんの方が聞いてくれる音楽の配信は初めてだったので、とてもやりがいがありました。

司会： では片山さんに感想をお聞きしたいと思います。

片山： FM戸塚の私の番組にゲストとしてきてもらい、1時間しゃべってもらいました。本当に地下2階の階段ばかりの所で重たい機材をたくさん運んでもらって、大助かりしました。

駅前コンサートでは、私達はインターネットが得意ではなかったので駅前で演奏をしておしまいましたが、今回は特命アクターにユーストリーム放送を中継してもらいました。最初から機材を持ってきてくれて、1バンドずつコメントを入れ、音合わせ・映像合わせを行い、駅前だけの発信だったものが全世界に発信されました。インターネットのアクセスが増えていき、我々がやった事が数値としても評価され、新たな試みとしてとても良かったです。

FM戸塚のスタッフも含めて、子どもたちと接する事により、どう接すれば良いか、どう指導すれば良いかなど、大人もとても勉強をさせていただきました。

《和田町タウンマネジメント協議会地域と子どもプロジェクトチーム》

特命子ども地域アクター：黒川遥、石井真央、高橋美利、(欠席：武信和未)

司会：次は、和田町タウンマネジメント協議会地域と子どもプロジェクトチームに移りたいと思います。

和田町タウンマネジメント協議会、地域と子どもプロジェクトチームは今年で10年目を迎えました。このプロジェクトのメンバーは地域の町内会、自治会、商店街などまちの方々、横浜国立大学の大学生などでなり、地域の子も達とまちづくりに取り組んでいます。今回は、秋に予定している防災まちあるきの企画に会議からアクター4名が参加しました。さて、どのような活躍があったのか様子を見てみましょう。



神奈川特命子ども地域アクタープロジェクト2012

藤岡： 和田町タウンマネジメント協議会地域と子どもプロジェクトチームの藤岡です。

(演技)

藤岡： 今年のまち探検は、こんな文字たっぷりのちらしを作ってみただけでどうかな？(大人が作ったチラシを見せる)

石井： それだと、文字が多すぎて大人は見るかもしれないけど、子どもは見ないと思います。

黒川： もっと子どもが見やすいように、文字を少なくして絵をもっと入れた方が良いと思います。こんなのはどうでしょうか？(実際につくったチラシを見せる)

藤岡： すごく手づくり感たっぷり、参加したくなるチラシになったと思います。これでたくさん参加してくれるようになるといいですね。

～～まち探検に出る演技～～

藤岡： ではまち探検が終了しましたので、みんなで探検した成果を発表してください。

高橋： はい。私達特命子ども地域アクターと和田町に住んでいる子どもたちは、和田町子どもまち探検と体験会を行いました。防災井戸と湧水、防火水槽シェイクアウトを行いました。まず一人一人に付箋を配り、気づいたことを書いてもらいました。防災井戸では、井戸の水が冷たかった、



神奈川特命子ども地域アクタープロジェクト2012

地面の下になぜ水があるのかななどの疑問、防火水槽はたまにしか見ないが消火栓はよく見るという意見があり、シェイクアウトでは危ない所はたくさんある、どこでかがめばいいかわからないという意見がありました。私たちは活動の中で気づいたことや感想をまとめました。

司会： 藤岡さんに子ども達を受け入れての感想などをお願いします。

藤岡： 和田町では今回で10回目のまちあるきイベントを行い、アクターに参加してもらいました。その中でいくつか気が付いたことがあります。まずは横浜市は坂道が多いのですが、中でも保土ヶ谷区は坂道が多く、アクターの皆さんとまちあるきしてみて、坂が多いと感想をもらい、やっぱり自分たちのまちも坂道が多いのだと、まちを新鮮な目で見ることができました。それから、町内会からはみんなが準備の段階から目的意識をもって参加し、町内会を引っ張ってくれたとコメントがありました。

会議の中では、(10年間もやってきたこともあり)話題についてくるのがなかなか難しかったのではないかなと思いましたが、しっかり要点をつかんで内容にもついてきてくれて、本当に良いイベントになったと思います。また機会があれば一緒に活動したいと思います。ありがとうございました。



栗原： 私たちは横浜みなとみらい 21 という団体に参加してきました。
みなとみらいで行われるJAZZ&BEERという、ジャズを演奏してまち中の色々なところでジャズの音楽が流れるというイベントの開催時に、みなとみらい21ではアンケート調査を行っています。アンケートの取り方などについて、一緒に考えました。アンケート自体は毎年毎回あり、普段は大人のアルバイトの方がとっていますが、断られて回答がなかなか集まらないということでした。私たちはスケッチブックにアンケートの項目を書いて、まちを歩く人にわかりやすく、気軽に答えてもらうという方法を提案しました。

花岡： そのアンケートの打率が9割と、子どもが集めることの効果があって良かったです。そのほか感じたことではみなとみらい 21 で働く大人の人たちがカッコいいと思いました。



川本： 僕はそのインタビューの様子をビデオカメラで撮影しました。多くの方の声をそのまま録画しました。ひとりひとりの本当の声が聞けていると思うので、とても良いと思いました。

岩松： みなとみらい 21 が今回子ども地域アクターの子どもたちを受け入れた動機の一つとしては、来年みなとみらいも埋め立て着工から30年がたち、当初はビジネスまちとしての要素が多い大人のまちだったのが、最近訪れてきているのは家族連れ、特に子どもを中心の夫妻が非常に多いので、従来の大人中心のまちづくりの視点では行き詰っていくのではないかと思ったからです。アンケートを手伝ってもらいとても良い結果が出たので、来年以降もぜひとも参加して欲しいと思います。

《ほ도가や 人・まち・文化振興会》

特命子ども地域アクター：百崎佑、石井真央



神奈川特命子ども地域アクタープロジェクト2012

百崎： 神輿部隊いくぜー！
じゃがいも食べよう！わっしょい！わっしょい！ 小遣いあげろ！わっしょい！わっしょい！ ～～～と壇上へ。

百崎： ほ도가や 人・まち・文化振興会では、このまちを愛する人たちが集まって、まちのにぎわい作りのための会議やイベントを重ねています。今回私達アクターは保土ヶ谷宿場まつりのイベントを盛り上げるために、子どもたちをお祭りに巻き込む仕組みについて提案しました。

僕たちを受け入れてくれた人たちを紹介します。

ほ도가や 人・まち・文化振興会メンバーで青年会議所の田中さんと慶応大学の大学生奥津さんです。

僕が提案したのは保土ヶ谷のじゃがいもを祀ったお神輿を作ってみんなで担ぎ、お祭りを盛り上げるということです。

奥津： ほ도가や 人・まち・文化振興会の奥津です。アクターの子どもが青年会議所のメンバーと一緒に神輿をかついでくれて、宿場祭りを盛り上げてくれました。ほかにもいろいろと取り組んでくれました。

石井： 私は保土ヶ谷の宿場町の浮世絵がたくさん描かれていることを知りました。そこでこの浮世絵をトレースしてちぎり紙でちぎり絵を完成させるという提案をして実行しました。当日は雨のため



神奈川特命子ども地域アクタープロジェクト2012

来場者が少なかったですが、来てくれた人はみんな立ち寄って参加してくれました。

山田： 横浜青年会議所の山田です。我々は開港祭を主催したりしている団体ですが、今回はスポット的に公園の有効活用をしようという活動をしました。その中で地域子どもアクターの方々から一緒にやってくれと話があり、宿場祭り当日、ちぎり絵とお神輿をやりました。子どもがいると人があるという言葉があるように、大人だけでやるより、地域の活性化には子どもの力が必要だと感じました。

須藤： 横浜青年会議所の須藤です。保土ヶ谷駅前を舞台にちぎり絵をやったりじゃがいものお神輿があつたり、戸惑った方もいるかもしれませんが、旧東海道の名所という土地柄、浮世絵やちぎり絵は受け入れやすいのかなと思いました。またじゃがいもも、明治初期、保土ヶ谷が種イモの発祥の地とわかり、地産地消という切り口から地域の方にじゃがいもをPRするきっかけにもなりました。子どもたちがじゃがいものお神輿をかついで練り歩いているのを見て、あれはなに？と、初めて保土ヶ谷にこんなじゃがいもがあつたんだと気づかれる方もいて、とても良い行事だったと思います。

柴田： ほ도가や 人・まち・文化振興会の柴田です。ほ도가や 人・まち・文化振興会は今年の5月

にできあがったばかりで、歴史と多世代と朝市の面で、保土ヶ谷のために活動していきたいと思っています。今回は子ども地域アクターの皆さんにじゃがいもの神輿をかついでもらいました。これからも保土ヶ谷のじゃがいもをアピールしていきたいと思っています。

石井： 保土ヶ谷の宿場祭りに参加することになった私たちに、事前におそばやさんの方が保土ヶ谷の

歴史や地域の特色について、教えてくれました。全く知らなかったことなどをいろいろ知ることができて、良い経験になりました。

百崎： 僕はじゃがいもの神輿を担当しました。今回のこの神輿のじゃがいもも、保土ヶ谷の本物のじゃがいもです。この後交流会で食べられるので、みなさん、どうぞ保土ヶ谷のジャガイモを口にしてみてください。

《特定非営利活動法人 都筑ハーベストの会》

特命子ども地域アクター： 小幡彩、鶴見尚香

司会：次は都筑ハーベストの会です。

横浜市都筑区で精神障がいのある人達が畑作業をしながら社会とのつながり、社会復帰を目指しています。昨年からコミュニティガーデンを作り、地域の人たちを巻き込む活動を始めました。今回アクターは畑で採れた野菜を使って新商品を考案するというプロジェクトに参加しました。今日はたくさんのお客様が来てくださっているので紹介します。



神奈川特命子ども地域アクタープロジェクト2012

鈴木： 都筑ハーベストの会の鈴木です。都筑区で活動をしています。精神障害の方が主に畑作業を中心に一緒に活動しています。新しい商品を作っていききたい、特に地域に根差した美味しいものを作っていききたいと考え、今回子どもアクターの話をしていただき、子どものアイデアでなにかいいものを見出したいと思い参加しました。畑作業というのはなかなかスパンが長いのですが、すぐに何かが見つかるというものではないですが、すぐに食べられる野菜を使った新しいものということで、今回はぼったら焼きというのを作りました。地域の方にぼったら焼きの話をしていただきたいと思っています。



神奈川特命子ども地域アクタープロジェクト2012

子ども達には一日がかりで作ることに参加してもらいました。今日は交流会の時に皆さんにも召し上がっていただきたいと思っています。

おばあちゃん：

茅ヶ崎の金子です。都筑ハーベストの近くの調整地域で野菜作りをしています。昔、私たちが子どもの頃ですが、お昼休みに親がぼったら焼きを作って、私たちは学校から帰ってきておやつに食べました。

おばあちゃん：

茅ヶ崎南で、本当に昔、山と畑と田んぼがあった頃に暮らしていました。6月にできた小麦を粉に挽いて、野菜や残ったご飯を小麦粉とこねた

のがぼつたら焼きです。昔ではそれが一番おいしかったので、みんなにも食べて頂きたいと思い、今回お手伝いさせていただきました。

司会： アクターの子どもたちに感想を聞きたいと思います。

鶴見： 私は2回参加しました。2回目のセンター南のお祭りのときにはたくさんの方が来ていたのに、あまり人が来てくれなくて残念でした。施設で昔のお料理のぼつたら焼きを作ったのですが、野菜だけではなくご飯を入れていたのでびっくりしました。砂糖醤油をつけて食べましたがとても美味しかったです。

都筑ハーベットの会では農薬を使っていない野菜なのでとても美味しいです。もっと他の人にも都筑ハーベットのことを知ってもらいたいと思いました。

小幡： 今日発表会に来てくれた人たちにもぜひぼつたら焼きを食べてもらいたいと思い、昨日都筑ハーベットの施設の皆さんとぼつたら焼きを作ってきました。ハーベットの皆さんはとても優しく、楽しい時間を過ごすことが出来ました。交流会ではぜひぼつたら焼きを食べてみて下さい。

《日本スポーツ GOMI 拾い連盟》

特命子ども地域アクター： 矢野淳奈、矢野颯人

司会： 続いては日本スポーツ GOMI 拾い連盟の発表に移りたいと思います。

日本スポーツ GOMI 拾い連盟では、まちを楽しみながらきれいにするため、スポーツの要素を取り入れたゴミ拾いを行っています。参加者は地域で参加し、決められたエリアの中で、分別しながらゴミ拾いをしてゴミ量を競います。今回アクターはこのゴミ拾いを多くの人に知ってもらうための提案や、当日ゴミ拾いから順番に帰ってきた子ども達の待ち時間にゲームをするなど、飽きさせない工夫をしました。ではアクターの子たちに感想など聞いてみたいと思います。



矢野淳奈：

待ち時間に簡単なゲームをしました。あまり道具を使わずにできる椅子とボールを使ったゲームをしました。呼びかけをしたらどんどん人が集まってきてゲームをやってくれたので良かったです。

矢野颯人：

事前の準備会議で人を集めるにはどんな工夫が大切かということで、例えば一緒にこのイベントを行っている株式会社リストさんが応援してい



るマリノスやベイスターズの選手に来てもらって、一緒にゴミを拾うようにしたら、きっと人がたくさん集まるだろうと思い提案しました。残念ながら試合などでスケジュールが合わず実現はしませんでした。今後ぜひ検討してくれるとうれしいです。また当日は集まったゴミの量が多くてびっくりしました。「ゴミ拾いはスポーツだ」というイベントに合わせるため、スポーツを意識したボールを使うゲームを行いました。このようなまち

をきれいにする活動が楽しみながらできることを知ってもらえて良かったです。

松本： リストの松本です。スポーツゴミ拾いに関して連盟の方と連携して取り組んでいます。今日も山下公園で横浜マラソンに連動したスポーツゴミ拾いを開催しています。今回地域子どもアクターにお越しいただき、楽しみにしていましたが、楽しみにしていた以上に色々刺激をもらうことが出来ました。小学生以

下の子どもたちに対する告知や呼びかけは違う形で行ったほうが良いだろうということで、横浜市資源循環局のキャラクターのイーオくんやミーオくんのキャラクターを活用した告知チラシをこれ以降作らせてもらっています。子どもの目線ということで、大人とは違う、簡単なゲームで子どもの気持ちをつかんで、非常に楽しそうに、場を盛りあげてくれました。また機会があればぜひ連携させてもらいたいと思います。

《おもいやりライト運動事務局》

特命子ども地域アクター：高崎基、青野瞳子、高橋美利、(欠席：武信和未)

司会：次は、おもいやりライト運動事務局です。

おもいやりライト運動とは夕方早めの時間にライトをつけることで、自動車の接近を歩行者に知らせ、この時間に多い交通事故を減らそうというキャンペーンです。黄色がこのキャンペーンのテーマカラーです。アクターはおもいやりライト運動に参加している企業を取材し記事にしました。そしてもっと多くの人たち、特に子どもたちに知ってもらいたいと思い、キャンペーンを提案しました。今日はその内容について発表します。



高崎： 僕は思いやり運動に参加して大川印刷に取材に行きました。大川印刷は環境に配慮した紙やインクを使っていてすごいなと思いました。夕方早めにライトをつけると事故が減るということを知って、車だけでなく、僕も自転車のライトを早めにつけようと思いました。友達にも広めようと思いました。

青野： 大川印刷さんに取材に行きました。大川印刷さんは崎陽軒などが作る焼売の黄色の包装紙や、洋服、眼鏡などの様々なものを印刷しています。水と空気以外に印刷できないものはないとのことです。また大川印刷さんは印刷するときのイ



ンクに石油を使わず植物系の油を使って印刷するなど人にも優しい印刷をしています。人や環境への優しさからおもいやりライト運動に参加し、今では印刷関係に関わっている人にもおもいやりライト運動への協力を求めているそうです。もちろん大川印刷さんの車もおもいやりライトをしています。

高橋： 私たちはシクロポリタンに取材に行きました。シクロポリタンでは自分たちでペダルをこいで車を走らせるということをやっています。ウィンカーを出せて、楽しいことがたくさんありました。他にもナメコ、イエローキティなどの提案がありました。

司会： おもいやりライト事務局の方、お話をお願いします。

二村： おもいやりライト事務局の二村です。
夕方に早めのヘッドライトを付けて頂くということ
をドライバーの皆さんに呼びかけをしていくという
ことと、自転車を運転している方にも、事故に遭
わないように自転車のライトを早めに付けよう
とか、黄色い目立つものを身に付けて事故に遭
わないようにしようなど、呼びかける活動をして
います。
今回、特命地域子どもアクターの皆さんに、実
際におもいやりライト運動に賛同してくれている
企業に取材に行ってもらいました。また黄色い

ナメコを提案してもらって作りました。事務局や
大人が考えないアイデアがたくさん出てとても
驚きました。これだけ目立てば車にひかれない
ですね。

8月におもいやりライト運動に興味がある人達の
会議がありましたが、大人がたくさんいる中でと
ても立派に発表をしていたので事務局全員が
驚きました。またおもいやりライト運動では、この
黄色い T シャツを着て横浜の町を巡るというお
もいやりライトシャツというイベントを開催しま
したが、子どもたちが楽しみながら交通安全の運
動に興味を持ってくれるような仕掛け作りがで
きればいいと思っています。

《NPO 法人都筑民家園管理運営委員会》

特命子ども地域アクター：井出風之介、小林恵人、(欠席 和田英里)

司会：続いては都筑民家園管理運営委員会の発表をします。

都筑民家園とは江戸時代の民家を移築し、地域交流の拠点として運営されている施設です。ここで毎年行ってきたア
ート月間の中で今回は子ども達が楽しめるイベントを施設のスタッフとアクターが準備会議を行い、動物の的を古代人の扮装
をして弓矢で射るというイベントを実施しました。アクターに感想を聞きたいと思います。



井出： 僕はゲームの準備をしましたが、当日はスタートする時間にどしゃぶりの雨が降り延期になってしまいました。本番に出られなくて残念でした。準備では熱心に取り組みとても楽しかったので、来てくれたお客さん達にも楽しんでもらえたのではないかと思います。

小林： 弓矢体験をしに来た子がもう一回やりたくないと評判でした。弓矢体験を終えた子どもたちに、



最後に「写真撮影はいかがですか？」と聞くと「やりたい！」と多くの子が言ってくれました。この古代人の服を着て写真撮影をしました。予想より弓矢の威力が強く、的を貫通させることができました。とても貴重な体験ができました。またやりたいです。

司会： アクターを受け入れての感想をお願いします。

木村： 都筑民家園の木村です。

民家園は地域の交流の拠点になっていて、年に一回アートデイというイベントをやっています。もっともっと子どもたちに参加してもらえるイベントにしたいと思い今回地域アクターの皆さんに参加してもらいました。

色々なアイデアがぼんぼん出てきて、最初は弓矢で遊ぼうという程度のことでしたが、どうせ遊ぶなら楽しく遊ぼうとなり、当たったら鈴の音がする、古代衣装を着て写真を撮ろうとなりました。次から次に短い時間で色々なアイデアが出て

きて、大人たちもそれに呼応する形で、的もリアルな鴨からカラフルな鴨になり、古代のイノシシと鹿も作りました。動物の目つきも怖くしました。細かい所まで子どもたちの目が入ったことで楽しいイベントになりました。民家園では数多くのイベントをやっていますが、もっともっと子どもたちに親しんでもらいたいと思っています。また来年も企画の段階から色々なアイデアを出してもらいたいと思います。

《非営利活動団体スマイルミニシティプロジェクト》

特命子ども地域アクター：安達妃美、百崎佑

司会：スマイルミニシティプロジェクトの活動を発表します。



安達：スマイルミニシティプロジェクトには私、安達と百崎くんが行きました。スマイルミニシティプロジェクトは小学生の子どもたちが中心となってつくる仮想のまち、「エンジョイスマイルさがみ」を運営している団体です。私たちは子ども会議に参加し、当日のイベント運営をお手伝いしました。最初は公共の仕事などで子どもたちのサポートをするつもりでしたが、店舗数が少ないとの事で、私たちも一人1店舗ずつ出店する事になりました。私はビーズ、アクセサリ屋さんを運営しました。たくさんビーズを用意し、お客さんに自由にアクセサリを作ってもらいました。みんな楽しそうに作っていて子どもたちの笑顔を引き出せたと思います。



また、一人で店を企画し、運営するのは大変だと思い、ほかのお店の子どもたちにも気を配り、声をかけるようにしました。大人の方々と子どもたちのコミュニケーションを円滑にできるようにつとめました。

イベントにお客さんがたくさん来てくれたので運営側がとても忙しく、あまり手がまわってない印象を受けました。よりイベントを盛り上げていくには、お客さんとして来てくれた子どもたちが今度は運営側をやりたいと思えるように呼びかけ、もっと活動人数を増やした方が良いと思いました。

百崎：今回僕は茶室を借りて、大人の悩み相談室とソースせんべい占いをやりました。最後に残ったソースせんべいをセールしたのですが大行列

ができてびっくりしました。人がいっぱいで大変でした。

司会： 今日相模原の子どもたちが応援に来てくれてます。みなさん、自己紹介をお願いします。

伊豫田： エンジョイスマイル相模の市長をしています伊豫田です。小学4年生で習い事は水泳と体操をやっています。

井本那： エンジョイスマイル相模で副市長をしています井本那です。小学4年生です。習い事は水泳と陸上とビーチボールバレーをやっています。

佐藤： エンジョイスマイル相模で副市長をしています佐藤です。小学4年生で習い事は剣道をやっています。

篠崎： エンジョイスマイル相模の幹部という事になっています。小学6年篠崎といいます。好きな科目は体育です。

井本那(妹)：
エンジョイスマイル相模副市長の井本那の妹です。今回は特別スタッフとして参加している小学2年生です。好きな科目は体育です。

司会： 皆さんありがとうございます。
今回はスマイルミニシティのテーマ曲を歌ってくれるとの事でアクターでも練習しました。それではエンジョイスマイル相模の皆さんミニシティのテーマソングをお願いします

—————スマイルミニシティのテーマ歌と演奏—————

司会： それでは最後にスマイルミニシティプロジェクトの山家さんから話を伺います。

山家： 潤水都市相模原の子どもの町を主催しておりますスマイルミニシティプロジェクトの山家と申します。今回はアクターを受け入れていろいろと助けてもらいました。

皆さんがみる通り、実はほとんど低学年なので運営するのもなかなか続かなくてとても助かりました。特に今回はリピーターをなんとかたくさんやりたかったのですが、宣伝方法がチラシしかなかったので、ほかに方法はないかと悩んでいた時に、アクターの子から郵送で直接届けてはどうか、と提案され実際に行ってみました。それまでは予測来客数は50人程度と見込んでいましたが当日は200名を超えてしまい、スタッフが足りなくなってしまうほど、たくさん来てもらえました。

準備からイベントを盛り上げてもらい、アクターの皆さんにはぜひ来年もスマイルミニシティプロジェクトに協力してもらいたいと思っています。

《神奈川県西地域県政総合センター》

特命子ども地域アクター：百崎佑、鶴見尚香、矢野颯人



百崎： 神奈川県西地域県政総合センターが運営している、あしがらアートプロジェクトの中で子どもたちがつくる元気旗をつくるお手伝いをしました。

鶴見： 足柄アートプロジェクトでは旗にたくさんの人と絵を描きました。旗には自由にニコニコ顔の絵を描いたりしました。会場に年齢の小さい子どもがたくさん来ていたのでびっくりしました。イベントにもっと多くの人に来てくれるといいなと思いました。人を集める工夫について考えたいと思いました。

矢野： みんなが元気になれる元気旗を作りました。作っていたらみんながだんだん元気になっていたのが良かったです。

百崎： あしがらアートプロジェクトは、今日がイベントの最終日なので、スタッフがこちらに来ることがで

きませんでした。ビデオメッセージをいただいていますので、ご覧ください。

ビデオレター 梅香家さん：

みなさんこんにちは。足柄フェスティバルのメイン会場にきています。たくさんのおアートがこのメイン会場に集まっています。こちらが元気旗プロジェクトの旗になります。

(会場で元気旗が飾られているようすが放映された)

百崎： ありがとうございます。

実際に僕たちもみんなで旗を描きました。今日来ているつなぎを着て描いたんですけど、みんなが一生懸命がんばったので完成がすごく早くてびっくりしました。

《特定非営利活動法人 |love つづき》

特命子ども地域アクター： 栗原里実、高崎基

司会：特定非営利活動法人 |love つづきは横浜市都筑区でまちづくりを行っている団体です。

今回私たちは福祉施設の作業場の製品をセレクトしたショップのデザインイメージを作る会議に参加し、実際にデザインされたキットをショッピングセンターで展開、販売しました。レイアウトの仕方について意見を出したりしました。



高崎： 僕はなかなか日程があわずに1回しか参加する事ができませんでした。でも、その一回で商品のイメージマークを考えるのがとても難しかったです。

栗原： デザインって、細かいところまでこだわりがあるので興味深いな、と思いました。私自身、福祉



施設の訪問ができずに残念でしたが、ショッピングモールでの販売では手伝いをさせていただき、来ていたデザイン事務所の人と一緒にどうやったらお客さんの目に留まるようにできるかを考えながら活動しました。

中： |Love つづきの中です。

商品を作っている福祉施設の方に見学する事ができずに残念でしたが、ショッピングモールでの販売の時にはいろんな案を出してくれて、お

客さまがショップに立ちよりやすいよう、一緒に考えてくれて本当に助かりました。

《つづきミュージック・ビート実行委員会》

特命子ども地域アクター：石井真央、百崎佑、森本大樹、斎藤宙、花岡直幸、今村怜那

石井・百崎：

皆さん、こんにちは～！つづきミュージック・ビートの司会をした石井と百崎です。

つづきミュージック・ビートは都筑区の中学、高校生が主役の音楽・ダンスイベントです。今回私たちアクターはイベントのチラシを配る広報から当日の司会などを担当し、バンドにも参加し盛り上げました。

司会： それではご紹介しましょう。エントリーナンバー1番メイドとポテトヘッドです。

~~~~TMBを再現して1曲 演奏~~~~



司会： インタビューしたいと思います。皆さんつづきミュージック・ビートに参加した感想はいかがでしたでしょうか？

出演者： 盛り上がったので楽しくできました。

司会： メイドとポテトヘッド流の盛り上げ方はどんな感じですか？

出演者： みんなで手拍子をして楽しく盛り上げました。

司会： つづきミュージック・ビートの大人スタッフの谷さんをお迎えします。谷さんどうぞお越しください。アクターが来てどうだったか、コメントを頂けますか？

谷： つづきミュージック・ビート実行委員会の谷です。簡単につづきミュージック・ビートの事を紹介させていただきます。

中学生、高校生、大学生で都筑区を中心に活動している青少年のバンド・ダンスのコンテスト形式のフェスティバルをやっています。今年で第8回となり、さきほど、素晴らしい演奏をして頂いたメイドとポテトヘッドも出場して頂きました。

我々の実行委員会は40代、50代、60代の大人スタッフが中心となって運営をしています。青少年育成というスローガンをもとに冒頭、NPO法人の方の話にもありましたように、まち＝世代

を超えた人と人との交流ができれば良いな、という思いでやっています。

青少年育成ということで運営しているのが大人で良いのか、という事があり、数年前から企画の段階から中学生、高校生スタッフを募集していましたが、なかなか集まらなく困っている矢先に、今回地域アクターさんの参画をお願いできてうれしく思っていました。中学生、高校生の方にイベントのお手伝いをしてもらうことがどういうものなのか、検討がつかず最初は戸惑っていましたが、皆さん一生懸命やってくれて、ちらし配り、会場の設営、受付、メイン会場の司会まで、本当に期待以上の活躍をしてくれて、感謝しています。

今回出場した子どもたちは高校生が中心となり、友達、父兄の方々が500名くらい公会堂に集り大成功でしたが、こういうイベントに中学生、高校生が参画している姿を見て、同年代の子ども、同年代のお子さんをもつ親御さんから意見をたくさん頂きました。子どもたちへの良い知見になったのかな、と心から感謝しています。

我々実行委員会の大人スタッフも子育てから離れて久しい中で、アクターの子どもたちに接する事ができてとても幸せだと思い、また感謝もしています。アクターの皆さんありがとうございます。

司会： 谷さんありがとうございました。

百崎： アクター24名の方全員にステージにあがってもらいましょう！

~~~~~バンド演奏の中、再度入場~~~~~



裏方で参加してくれた皆さんもありがとうございました！
メイドとポテトヘッドも皆さんありがとうございました！

皆さんご来場ありがとうございました！！

参加者アンケート

| | | | | | | | | |
|---|----------------------------|---|------------------------------|------------------------------|------------------------------|--------------------------------|---|--|
| 性 | <input type="checkbox"/> 男 | 年 | <input type="checkbox"/> 10代 | <input type="checkbox"/> 20代 | <input type="checkbox"/> 30代 | <input type="checkbox"/> 40代 | 所 | |
| 別 | <input type="checkbox"/> 女 | 齢 | <input type="checkbox"/> 50代 | <input type="checkbox"/> 60代 | <input type="checkbox"/> 70代 | <input type="checkbox"/> 80代以上 | 属 | |

1. 今日の成果報告会をなにで知りましたか。あてはまる番号に一つ○をつけてください。

- ①特命子ども地域アクターメンバーからの紹介 ②今年度の事業に参加したまちづくり団体からの紹介
②推進会議団体のメンバーからの紹介 ④ホームページ、フェイスブック、チラシを見て
⑤その他(具体的に→)

2. 今日の成果発表会はいかがでしたか。あてはまる番号に一つ○をつけてください。

- ①十分満足 ②少し満足 ③普通 ④少し物足りない ⑤不満足

3. 2でお答えいただいた理由をお書きください。

4. その他感想およびご意見がありましたらお書きください。

5. 今後もこの事業を継続させる体制づくりのため、こどもの社会参画へのしきみを一緒に検討し、実践する仲間「協力体」メンバーを募集しています。協力体に登録するとメンバーリストに入り、事業の進捗、2ヶ月に1回程度の推進会議への参加情報等が得られます。この事業に関心がある、参画してみたいまちづくり団体や青少年団体の方、企業等の方は以下にご記名ください。(※後日、こちらからご連絡させていただきます。)

お名前 _____ 所属(あれば) _____

メールアドレス あるいは 電話番号 _____

子どもまちづくりアクション成果発表会 参加者アンケート

1. アンケート回答者の属性

| 年代 | |
|-----|----|
| 10代 | 3 |
| 20代 | 10 |
| 30代 | 5 |
| 40代 | 7 |
| 50代 | 9 |
| 計 | 34 |

| 性別 | |
|----|----|
| 男 | 19 |
| 女 | 15 |

2. フォーラムを知った媒体について

| フォーラムをなにで知ったか | |
|--------------------|----|
| アクターからの紹介 | 8 |
| まちづくり団体からの紹介 | 9 |
| 推進会議体メンバーからの紹介 | 6 |
| HP,Facebook,チラシをみて | 6 |
| 参加団体の紹介 | 5 |
| 計 | 34 |

3. 今日の満足度とその理由

| 今日の満足度 | | その理由 | 年齢 | 性別 | |
|--------|---|------|---|-----|---|
| 1 | 1 | 十分満足 | セットの仕掛けや進行のとてもしっかりしているところに、想像を超える驚きがあり、とてもびっくりして、良かったです。また発表内容もよくまとまっております、内容も充実していて楽しく、退屈することなく見ることができました。 | 20代 | 男 |
| 3 | 1 | 十分満足 | 子どもたちが活動に参加して、生き生きしている姿を見て、とても元気になりました。子どもたちの力はすばらしく、地域の活性化にはとても必要で、子ども達にとってもとても良い経験になると思いました。 | 20代 | 男 |
| 5 | 1 | 十分満足 | 授業を受けていた時と比べると、顔つきがすっかりしたなあと。取り組みを通して成長した姿が見れてよかったです。 | 20代 | 女 |
| 6 | 1 | 十分満足 | 子どもたちがはきはきと楽しそうに発表していて、良かったです。いろいろな団体がやっている内容を知れて良かったです。 | 20代 | 女 |
| 7 | 1 | 十分満足 | 手作りで工夫があり、すごく温かみのある発表会でした。アクターのみんなと活動するきっかけがあったらいいなと思いました。 | 20代 | 女 |
| 8 | 1 | 十分満足 | このフォーラムの企画に子どもの力が活きているところが魅力に感じました。子どもたちがどのくらい何にどのようにコミットできたのか、関わりの程度が明確にされていた点がとてもわかりやすくよかったですとおもいます。 | 20代 | 女 |
| 9 | 1 | 十分満足 | ほかの参加団体の成果や課題がわかり、来年度へ行かせるヒントをもらえた。ほかの団体と情報交換をできた。 | 30代 | 男 |
| 10 | 1 | 十分満足 | 子どもたちが非常に主体的でしっかりした考えを持っているのを知り、刺激になった | 30代 | 男 |
| 11 | 1 | 十分満足 | こんなにも子どもたちがいきいきしているのを見てびっくりしました。自立、協調がしっかり育っていたと思います。 | 30代 | 男 |
| 12 | 1 | 十分満足 | 今後の活動の参考になったから。とても意味のある事業だと思いました。 | 40代 | 男 |
| 13 | 1 | 十分満足 | 特命地域アクターの方々の活動を通して、ほかの地域団体の活動を知ることができました。いろいろな切り口でのまちづくりへのかかわり方を学べました。 | 40代 | 女 |
| 14 | 1 | 十分満足 | 活動の様子と結果、特に受け入れ側の感想を聞いたのが良かった。子どもたちが工夫して発表している様子が良かった。途中、進行が止まってしまうことがあったが一所懸命さが伝わってよかった。 | 40代 | 女 |
| 15 | 1 | 十分満足 | 一人ひとりの、この取り組みに参加しての気持ちがたくさん聞きました。 | 50代 | 男 |
| 16 | 1 | 十分満足 | 子供たちがまちづくり(ボランティア)に参加することの大切さ及び意味があることを痛感しました。社会の一員としての子供たちの存在をあらためて重要だと思えます。 | 50代 | 男 |
| 17 | 1 | 十分満足 | 活動の内容がよくわかりました。多種多様な活動内容が把握できました。 | 50代 | 男 |
| 18 | 1 | 十分満足 | 子どもたちにミッションと責任をもたせてあげると、こんなにも生き生きとするものだと実感できた | 50代 | 男 |
| 19 | 1 | 十分満足 | 子どもたちが元気に一生懸命発表している姿がとても良かったです。内容も大変よくわかりました。もっと活動人数が増えると良いなと思いました。 | 50代 | 女 |
| 20 | 1 | 十分満足 | 立ち上げまでかわれませんが、それぞれいい活動をしていただき、とても嬉しく思っています。子供たちにも、大人たちにも、こうした活動が広がっていき、当たり前になるよう、ずっと続けていきたい活動です | 50代 | 女 |
| 21 | 2 | 少し満足 | 歌えたのはいいんですけど、自己紹介のとき、後悔したような気がしたから | 10代 | 男 |
| 22 | 2 | 少し満足 | 子どもたちがガンバってた。段取りがちょっとギクシャクしてた。 | 30代 | 男 |
| 23 | 2 | 少し満足 | 音楽ありのステージが楽しかったです | 30代 | 女 |
| 24 | 2 | 少し満足 | 受け入れ団体の大人が少なく、大人側ががっかり(自分も含め)。子どもははとも良い。 | 40代 | 男 |
| 25 | 2 | 少し満足 | 全体としては、子どもたちの熱い発表を見られたので良かったです。できれば、各アクターの重複を極力抑え、子どもたち自体のより多くの参加を望みたいと思います。 | 50代 | 男 |
| 26 | 3 | 普通 | 子どもだから、長い話をきいていると、かったるい。話の内容がわからないとあきてしまう | 10代 | 女 |
| 27 | 3 | 普通 | 内容が少しむずかしかった | 10代 | 女 |
| 28 | 3 | 普通 | ステージでは質疑応答ができなかったが、ポスターセッションででき、活動内容について深い理解が得られました。 | 20代 | 男 |
| 31 | 3 | 普通 | アクターの子どもたちが、どういった活動に参加したかがわかった。子どもが地域参画することで、まちが活性化する可能性も感じられた。参加者が少なく、この事業を知ってもらうことができないのは残念。 | 40代 | 女 |
| 33 | 3 | 普通 | 何をやったのか成果発表ではよくわからなかった。もう少し内容を詳しく知りたかった。 | 50代 | 男 |
| 34 | 3 | 普通 | 子どもたちが地域と関わりをもって積極的に活動していることが良くわかった。大人がしゃべりすぎている面があるので、もう少し子どもの生の声が聞ければなおよかった。 | 50代 | 男 |

4. その他 感想

| | 感想 | 年齢 | 性別 |
|----|---|-----|----|
| 1 | 音楽の演奏があったのが良かったです。(単調なプレゼンテーションになってしまうのを防いでいたため。私自身も音楽に携わるため、演奏スタイルや活動概要等の参考になったから。) | 20代 | 男 |
| 2 | すでに想像を超えるおどろきをいただいたので、次回の発表はさらにすごいものになっていることを期待しています。 | 20代 | 男 |
| 3 | 多くの人がかかわりあえる場が形成されることを嬉しく思いました。 | 20代 | 男 |
| 4 | 子どもたちがのびのびと等身大で活動しているのが素敵だと感じました。とても素晴らしい取り組みだと思うので、ぜひ今後とも続けてほしいです。 | 20代 | 男 |
| 5 | とても良い活動であると思います。子どもたちの今後の成長にとっても良い影響を与えたいと思います。 | 20代 | 男 |
| 6 | パネルセッション: せっかくいろいろなブースが出ているのだから、一か所で順にやるだけでなく、その部署ごとで行きたい所へ行って説明を聞いたりするのもいいと思う。 | 20代 | 女 |
| 7 | またこのようなイベントがあればご連絡ください | 20代 | 女 |
| 8 | すごく元気をもらえました^^ | 20代 | 女 |
| 9 | より多くのまちづくり団体へ呼びかけを行ったほうが良いと思います | 30代 | 男 |
| 10 | 司会の百崎君のトークセンスの良さにビックリ! | 30代 | 男 |
| 11 | ぜひとも継続していただきたいです | 40代 | 男 |
| 12 | 各団体それぞれに、ライブ感満載のステージ発表でした。参加させていただいて、とても光栄に思います。 | 40代 | 女 |
| 13 | 横浜に限らず、いろんな地域にかかわっているのびびっくりしました。イベントも子供対象に関係なくいろんなイベントがありました。こういった取り組みがもっと増えれば良いと思いました。もっとPRして参加が増えればと思います | 40代 | 女 |
| 14 | 意欲のある子どもたちが参加しているので、積極的に大人の輪に入り案を出しているため、受け入れ側の大人が皆さん予想以上の働きをしてくれたと感想を持っていた。中高生は部活などで校外、地域の活動に参加が難しい現実がありますが、異年齢の意見も聞きながら活動することは、子どもにも大人にも大切なことだと感じました。 | 40代 | 女 |
| 15 | 子どもが自らまちを創っていけることを改めて確信しました。 | 50代 | 男 |
| 16 | NPO法人ミニシティプラスの皆さまありがとうございました。子供から学ぶことが多いです!! | 50代 | 男 |
| 17 | これからの地域、まち、社会で主体的活動をする人が、この発表会やアクションから数多く出てきてほしいと心から思っています。大人たちもまげずにがんばります! 子供も日頃からドンドンアイデアを出し続けてください! 期待しています。 | 50代 | 男 |
| 18 | 今後も発展していく、もしくは活動がグレードアップしていくと思います。次年度からの予算はだいじょうぶかな? | 50代 | 男 |

神奈川特命子ども地域アクター養成アクション
第2回 かながわ子どもの地域社会参画推進会議
(神奈川県子どもの地域社会参画推進会議体会議から名称変更)

日時：平成24年2月24日（金） 20：00～21：00

場所：神奈川県青少年センター 2F 多目的プラザ

| | | | |
|-----|-------------------|------------|--------|
| 出席者 | NPO 法人ミニシティ・プラス | 理事長 | 三輪 律江 |
| | NPO 法人ミニシティ・プラス | 副理事長 | 岩室 晶子 |
| | NPO 法人ミニシティ・プラス | | 森山 真稔 |
| | NPO 法人ミニシティ・プラス | | 中 聡美 |
| | NPO 法人ミニシティ・プラス | | 杉山 昇太 |
| | 神奈川県 県民局青少年部青少年課 | 企画グループリーダー | 丸山 尚子 |
| | 神奈川県 県民局青少年部青少年課 | | 鈴木 かおり |
| | NPO 法人 アクションポート横浜 | 学生スタッフ | 富樫 愛美 |
| | 特定非営利活動法人教育支援協会 | | 田中 靖子 |

(オブザーバー参加 横浜市立大学 西田、南條)

〈報告・承認事項〉

1. 事業説明会の報告 事業説明会 in 小田原・報告メモにて説明

・人数が少なかったため、1対1の対話のような説明会になった。まちづくり現場の方の質問では、中高生を迎え入れた事業のイメージがつかみにくいという意見や、まちづくり現場の団体全体が中高生の受け入れを認めるハードルが高いという意見があった。

→まちづくり現場の団体には中高生を受け入れられる事業を考案してもらおう。

その事業によってその団体へのフィードバックにも役立つのではないかと。

・中学校の教頭先生から県へ問い合わせがあった。

→ピンポイントで説明しに行くことも可能。調整を試みるようにする。

・まち探検ツアーに、他のまちの子どもが参加しチェックしてもらおう企画もいいかもしれない、という反応だった。

2. まちづくり現場募集について

特命子ども地域アクタープロジェクト現場募集チラシ（0224版）にて説明

・まちづくり現場募集のチラシは、赤を入れて相模原での説明会では差し替える。

・salesforceのページを活用して、子どものプロジェクトへの応募状況や、議事録などを共有する。

・応募用紙の事業の内容についての欄が、完成された案を書かなければならないようなイメージになっているので、書く方のハードルが高いのではないかと。既に内容が固まっている事業というイメージを与えると、子どもが企画段階から参加するという点において、本アクションの目的に合わない可能性もある。

→「事業」という名称を使わずに別の言葉で表現。ex)「何かやりたいことがあればお書きください」など

3. 内部イントラネット salesforce の使用方法

4. 次年度前半スケジュールの確定

来月以降のスケジュールは以下の通りである。(会場は一部未確定)

- ・ 3/28 (水) 18 時～@さくらワークス※推進会議のみ
 - (・ 4/15 (日) 13 時半～@神奈川県青少年センター※子ども会議のみ)
 - ・ 5/13 (日) 13 時半～@神奈川県青少年センター※子ども会議+推進会議 (合同)
 - ・ 7/8 (日) 13 時半～@神奈川県青少年センター※子ども会議+推進会議 (合同)
 - ・ 8/19 (日) 13 時半～@神奈川県青少年センター※子ども会議+推進会議 (合同)
- 9 月以降は未定。

5. 議事録公開について

本日以降議事録は web に公開する。議事録は会議体でチェックされた後に掲載される。

〈その他〉

1. 説明会での区役所関係者とのやり取りの中での印象で、区役所側ではすでに大枠が決まっているイベントにアクターに参加してもらいたい模様。その場合このプロジェクトの「子どもが企画する」ことに反しているのではないかとの懸念もあった。

→ヒアリングを丁寧におこなう必要がある。「子どもが企画」できるようなプランを提案できるよう区役所側に伝える必要がある。

2. 協力体のまちづくり現場同士の情報交換会などについて

いろは講座に来ていただくのはなかなか難しいが、それぞれの現場の意見交換は必要ではないか。

→6 月 24 日(日)顔合わせ会後に交流会。この情報はチラシにも掲載する。

以上。(文責・横浜市大、南條)

神奈川特命子ども地域アクター養成アクション
第3回 かながわ子どもの地域社会参画推進会議

日時：平成24年3月28日 18:00～20:00

場所：関内 さくらワークス

出席者

| | |
|-----------------------------|--------|
| 横浜市立大学学術院国際総合科学群 准教授 | 三輪 律江 |
| NPO 法人ミニシティ・プラス 副理事長 …… | 岩室 晶子 |
| NPO 法人ミニシティ・プラス 理事 | 中 聡美 |
| NPO 法人ミニシティ・プラス 会員 | 杉山 昇太 |
| NPO 法人ミニシティ・プラス 会員 | 熊井 一之 |
| 神奈川県 県民局青少年部青少年課 企画グループリーダー | 丸山 尚子 |
| 神奈川県 県民局青少年部青少年課 …… | 鈴木 かおり |
| リスト株式会社 CS 企画部 次長 | 松本 紀明 |
| NPO 法人 教育支援協会 事務運営部 | 池田 正則 |
| NPO 法人 教育支援協会 事務運営部 | 田中 靖子 |

(オブザーバー参加 横浜市立大学 西田、椿、松田)

〈報告・承認事項〉

1. 事業説明会 in 相模原の報告

資料 事業説明会 in 相模原 報告

三輪によって報告がなされた。

- ・地縁がない割には、声かけがされてまちづくり現場の参加者が結構集まった。
- ・相模原職員1人というのは、子どものまち関係の人である。
- ・法政大学の大学生が資料だけを受け取りにきた。

〈協議事項〉

1. アクター選考について

資料 特命子ども地域アクター応募者一覧 (個人情報なので会議終了後に回収した。)

岩室によって地域アクター応募者の説明がなされた。その後、会議参加者によって応募者ひとり一人の承認の是非について判断した。

- ・現在、20人ほどの応募がある。
 - ・地域アクターが何か分からないがやってみたい、というのも志望理由としてはOKとしたので、そう書いている子どもが多い。
- 応募動機とやってみたいことが書いてある **16人**については承認する。2つが未記入の子ども4人については、大至急記入して送ってもらうようお願いする。(4人については、岩室の知っている適応能力としては仮承認とする。)

・地域アクターの情報をどこから得たか(情報源)については、応募者一覧表の備考欄に記入する形とする。

- ・地域アクターに応募している子どもにはヒアリングをしておくこと(岩室担当)

2. アクター追加募集について

資料 特命子ども地域アクター募集チラシ 追加募集 Ver.

- ・地域アクターの応募締め切りは5月7日まで延長する。
- ・既に応募した子には「友だちも誘って」と呼びかける。
- ・まちづくりの現場の方で既に参加している子どもにアクターにも参加してもらうのはどうか。
- ・新学期なので予定が立てにくいのか。
- ・追加募集のチラシについては、横浜市大のプレオープンキャンパスでエクステンション講座のチラシと一緒に配布済み。

- 質疑 -

(岩室) 追加募集を受けて、4月15日までに応募してきた子どもは15日の会合に参加可能だが、どう対応するか？

(三輪) 追加募集の子どもについては、基本的には5月13日のこども会議から参加してもらうこととする。後からの応募を公平にするため、第1回の会合に出られない子どもがいるのは仕方がない。

2回目から参加する子どもについては、1回目の会合の内容を何らかの形で伝えるようにする。1回目から参加する子どもについては、追加募集で他の子どもが加わることを伝える。

3. まちづくり現場募集について

- ・相模原の説明会后、説明会に参加した1社から申し込みがあった。
- ・まだまだ募集している状況である。
- ・協議体のメンバーであっても応募用紙は提出すること。
- ・〆切は5月10日とする。

〈その他〉

1. SalesforceCRMの使い方の説明を事務局・熊井より行った。

- ・Chatterとは…

人やファイルをフォローできる。twitterと違うのはファイルもフォローできること。皆と共有するためには、グループに投稿する。

- ・推進会議のメンバーにやっていただきたいこと
 - ・人をフォローする。
 - ・必要なグループ(「アクター推進会議」のグループ)に参加する。
 - ・参加グループのメール送信頻度を設定。－「各投稿のメール」の推奨。
- ・個人情報の取り扱いについて
アクター応募者の個人情報について取り扱いには十分注意することとする。

2. 次年度のスケジュール確認、次回会合日の確認

- ・次回の会合
- ・子ども：

4月15日(日) 13:30～15:30 子どもアクターの顔合わせ、その他。
@神奈川県青少年センター

- ・大人、子ども：

5月13日(日) 13:30～15:30 こどもアクターと大人の合同会議
15:30～16:30 まちづくり現場の決定等
@神奈川県青少年センター3階

- ・次年度のスケジュールは、改訂し、メールで送信する。

(その他)

- 質疑 -

(松本) リストが定期開催している東戸塚での清掃活動は、地域アクターの事業にふさわしい内容であるか？

(三輪) それに子どもが参加して終わり、というのではあまりふさわしくない。子どもが企画の段階からかかわれるようなものが望ましい。

- 意見 -

・説明会に来てくれたまちづくりの現場の方々には、応募締め切りの再通知や企画内容についての相談に乗るなどのフォローが必要ではないか。

・高校生は部活やバイトで忙しいから、なかなか土日の参加が難しい。興味は湧くようだが、実際にやってみる段階まではたどりつかないようだ。

→地域アクターが部活と同じレベルの選択誌になるかどうか。都筑区の子ども達がこの事業に興味を示すのは、ミニヨコの活動などを通してそういった土壌があるからだろう。

参加のためのきっかけ作りが大切なのではないか。

以上。(文責・横浜市大 西田)

神奈川県特命子ども地域アクター養成アクション
第4回かながわ子どもの地域参画推進会議事録

日時：平成24年5月13日 15時半～17時半

場所：県立青少年センター

出席者

| | | |
|-----------------|--------------------|-------|
| NPO 法人ミニシティ・プラス | 理事長 | 三輪律江 |
| NPO 法人ミニシティ・プラス | 副理事長 | 岩室晶子 |
| NPO 法人ミニシティ・プラス | 理事 | 中聡美 |
| NPO 法人ミニシティ・プラス | 会員 | 杉山昇太 |
| 神奈川県 | 県民局青少年部青少年課 | 中野篤子 |
| 神奈川県 | 県民局青少年部青少年課 | 平野真理子 |
| 神奈川県 | 県民局青少年部青少年課 | 鈴木かおり |
| リスト株式会社 | CS 企画部 次長 | 松本紀明 |
| NPO 法人 | 横浜プランナーズ・ネットワーク理事長 | 山路清貴 |
| 特定非営利活動法人 | シャーロックホームズ事務局長 | 東 恵子 |
| NPO 法人 | 教育支援協会 事務運営部 | 池田正則 |
| NPO 法人 | 教育支援協会 事務運営部 | 田中靖子 |

(オブザーバー参加 横浜市立大学三輪ゼミ学生 渡辺 松田)

<報告・承認事項>

1. アクター会合（4月・5月）の報告
2. 23年度事業報告 資料 23年度報告資料一式

<協議・承認事項>

1. アクター追加者 資料 特命子ども地域アクター応募者追加一覧

岩室によって説明がなされた。

→追加応募のあった5名を承認

当初の予定人数に満たないが（現在25名）新たに追加募集をするかどうか

- ・基準は、追加募集された子どもにとって不都合があるか否か
- ・5月27日の講座までに参加するならばフォローアップが可能

→あと5人ほど追加可。大々的に告知はせず、内々の締め切りを5月末とする。

2. まちづくり現場の団体承認

資料 特命子ども地域アクター派遣先「まちづくりの現場」応募者一覧

- ・ 現段階ではまだ、内容についてヒアリングしきれていない団体が多い
- ・ 以前検討した選考基準では①アクター派遣の合意、②アクターの希望に沿っている、③来年度も受け入れ可能か などが挙げられた。
- ・ 現段階の資料では、派遣を決定できるだけの要素がないため、再度詳しくヒアリングすることとする。

→6月24日のお見合い会までに合わせ、まちづくり現場に、活動内容・スケジュールの詳細提示を求める。お見合い会の出席の要確認

- ・ その他、イベントの確実の実施があるかの確認、子ども向けの企画実施をしている団体に対しては同じエリアにいるアクターとして入る子どもとそれ以外で参加する子どもとの棲み分けが団体としてできるか、について注意を払う必要がある、といった意見が出た。

3. 推進会議の規約 資料 特命子ども地域アクター規約案

- ・ 推進会議メンバーとなる組織に、代表・監査などをおく必要は無い
- 規約については置かないこととする

4. 今年度後半のスケジュールの確定 資料 今年度実施計画スケジュール改訂版 (案)

6月24日(日) いろは講座(午前)、お見合い会(13時～15時)、推進会議(15時半～17時)

7月8日(日) 推進会議 (13時半～15時)、子ども会議 (15時半～17時半)

※8月19日(日) 子ども会議 (夕方からの可能性有、詳細未定)

※9月23日(日) 推進会議・子ども会議 (平日へ日程変更の可能性有、詳細未定)

11月18日(日) 推進会議 (10時～12時)、子ども会議 (午後)

12月2日(日) 第1回子ども地域社会参画促進フォーラム (10時～17時)

1月13日(日) 推進会議 (10時～12時)、子ども会議 (午後)

3月17日(日) 推進会議 (10時～12時)、子ども会議

※についてはスケジュール調整中・変動の可能性あり

<その他>

1. アクターによるブログ運営 資料 地域アクターによるブログ運営方針案

- ・ メディアリテラシーを徹底するのが難しい
- ・ しかし、内容の検閲をもうけるのも良い形とは言えない
- ・ なにかあったとき、元の情報を削除しても転用された情報は消えない
- ・ 情報が出回ったときに困るのは子どもたち

→個人情報保護等の問題のため、ブログ運営は見送り。

2. アクター派遣後の報告フォーム 資料 特命子ども地域アクター報告書

→試しに子どもに書いてもらい、参考にする

3. 確認事項

- ・お見合い会までに、子どもたちにどのような場所からオファーが来ているか事前連絡。
→まちづくりのいろは講座の中で資料として提示する。
- ・子どもたちの写真を使用するにあたり、保護者から同意を得る。

以上。(文責・横浜市大 松田)

神奈川県特命子ども地域アクター養成アクション
第5回かながわ子どもの地域参画推進会議事録

日時：平成24年7月8日 13時半～15時半

場所：県立青少年センター

| | | | |
|-----|-----------------|--------------|-------|
| 出席者 | NPO 法人ミニシティ・プラス | 理事長 | 三輪律江 |
| | NPO 法人ミニシティ・プラス | 副理事長 | 岩室晶子 |
| | NPO 法人ミニシティ・プラス | 理事 | 中聡美 |
| | NPO 法人ミニシティ・プラス | 会員 | 杉山昇太 |
| | NPO 法人ミニシティ・プラス | 会員 | 松田香 |
| | 神奈川県 | 県民局青少年部青少年課 | 中野篤子 |
| | 神奈川県 | 県民局青少年部青少年課 | 鈴木かおり |
| | リスト株式会社 | CS 企画部 次長 | 松本紀明 |
| | NPO 法人 | 教育支援協会 事務運営部 | 田中靖子 |

<報告・承認事項>

1. いろは講座・お見合い会の報告 資料 **報告事項（資料1）**

三輪によって説明がなされた。

（1）まちづくりいろは講座について

- ・初回、最終回はほぼ全員出席。その他の回についても7割が出席。欠席者はビデオ受講ができるようになっている。
- ・講座全体についてのアンケートも実施。エクステンションからの応募者とアクターの両方に配布し、回収しているところである。回収結果は、最終の報告書などに含める予定

（2）お見合い会について

- ・お見合い会、交流会ともに参加団体から良い反応があった

<協議・承認事項>

1. まちづくり団体への派遣の承認 資料 **特命子ども地域アクター受け入れ団体リスト**

（1）派遣団体について

岩室によって説明がなされた。

24日のお見合い会において、本事業の趣旨と異なるプレゼンテーションを行った団体について審議し、今回はこの団体への特命子ども地域アクターの派遣は行わないことを決定した。

→派遣先団体を選考し、17団体に確定

（2）子どもの派遣先の承認について

資料 **特命子ども地域アクター受け入れ団体リスト** **スケジュール表**

アクター個人別希望表 **特命子ども地域アクター振り返りシート**

- ・事前に岩室が子どもと連絡をとり、希望を聞いて派遣先案を考えている。そのため、希望先

を提出しただけ、という子どもはいない。意見などをすり合わせているという前提の共有

- ・岩室より各団体ごとの説明
- ・(現在のスケジュール表だと空欄が多いが) 確定している日程のみ、スケジュール表に記載している。事前ミーティングなどの日程は子どもの予定に合わせる場所が多いので、これから増えていく。
- ・スタッフは、1回目の派遣は必ず付き添う。
- ・子どもの派遣先の行動は、「振り返りシート」にて把握。毎派遣時に書いてもらい、派遣先の人にサインをもらう。当日の活動を振り返るとともに、その日のメインの活動を把握する。
- ・一日中ではなく、午前の最初や、帰りなど区切りのところでスタッフに付き添ってもらうような形もある。また、事前会議とイベント当日の付き添いは、できれば同じ人が行くのが望ましい。
- ・派遣の付添には、市大の学生も参加する。その際、スタッフマッチングを行い、興味のあるところに行ってもらおうことを考えている。
- ・(個人別希望表の) No.2 の子は、団体 17.18 とともにカッコ書きで入っているが、両方入ることになるのかということについては、希望を聞いて検討する。
- ・他の子がほとんど第1、2で通っている中、No.8の子は、第4、5希望だが大丈夫 かとということについては、日程や、受け入れ先が中高生を対象にしているところなど、理由がはっきりしている。
 - 子どもの派遣先を承認
 - とくに秋の子どもの派遣先について、再調整が必要になる旨を承認

2. 今後のスケジュールの確認

資料 特命子ども地域アクター養成アクション 7月以降のスケジュール

- 9月30日(日) 大人・子ども合同会議 (17時~19時) 於 県民活動サポートセンター
- 11月11日(日) 子どもを中心にフォーラムの準備 (10時~16時) 於 県立青少年センター
- 11月25日(日) 推進会議 (10時~12時)、子どもフォーラムリハーサル (13時~15時)
於 県立青少年センター
- 12月1日(日) フォーラム準備 (時間未定)
- 12月2日(日) 第1回子ども地域社会参画促進フォーラム (10時~17時)
於 県立青少年センター
- 1月13日(日) 推進会議 (10時~12時)、子ども会議 (13時~15時)
- 3月17日(日) 大人・子ども合同会議(10時~12時)

3. 7月20日の協働推進課の中間報告での報告内容について

- ・新しい公共を協働で進めていくうえで、報告会で忌憚のない提案をさせていただく。具体的内容に関しては事前に推進会議メンバーには見ってもらう。
- ・新しく始めた事業のため、意見をだして改善していくことは望ましい

以上。(文責 松田)

神奈川県特命子ども地域アクター養成アクション
第6回かながわ子どもの地域参画推進会議事録

日時：平成24年10月7日 18時半～19時半

場所：関内リスト本社5階会議室

出席者

| | | |
|-----------------|--------------------|-------|
| NPO 法人ミニシティ・プラス | 副理事長 | 岩室晶子 |
| NPO 法人ミニシティ・プラス | 理事 | 中聡美 |
| NPO 法人ミニシティ・プラス | 会員 | 杉山昇太 |
| NPO 法人ミニシティ・プラス | 会員 | 松田香 |
| NPO 法人ミニシティ・プラス | 会員 | 森山真稔 |
| 神奈川県 | 県民局青少年部青少年課 | 鈴木かおり |
| リスト株式会社 | CS企画部 次長 | 松本紀明 |
| NPO 法人 | 横浜プランナーズ・ネットワーク理事長 | 山路清貴 |

オブザーバー参加

| | |
|--------|------|
| 慶応大学学生 | 奥津憲聖 |
|--------|------|

<協議・承認事項>

1. フォーラムの方針について 資料 こども地域アクター合同会議

(1) フォーラムの概要

- ・岩室より概要の説明がなされた（資料参照）。
- ・ターゲットは大人に置く。
- ・スケジュール案は13時～15時：ホールを使用した発表／15時～17時：子どもによるポスターセッション@ホワイエ
- ・配布資料部数を把握したいので、資料がほしい人はできるだけ事前予約をお願いするという一文をチラシに入れる。
- ・ホール収容人数は全812席。100名は子ども・保護者・関係者で埋まる見込みだが、最低200人の確保、目標を300人とする。800人収容のホールに300人だと寂しい雰囲気になるので、客席を区切るなどをする予定。
- ・報告書と発表資料は同一ではない。発表資料は、写真と説明でこの活動の意義が伝わるものにする。HP上でダウンロードできるようにする予定だが、まずはフォーラムに来てほしいので、開催後にダウンロードできるようにしたい。

(2) 広報、集客協力についての検討

- ・県の広報協力としては以下の3点を予定。①11月発行の県のたよりに掲載予定。ただ、記者発表を行う場合は、10月25日までにを行う必要がある。②ちらしを学校に配布することも考えていたが、大人が対象となるので、再考する必要がある。③11月21日お昼前のNHK-FMラジオの枠でフォーラムを紹介する予定。
- ・「子ども」「まち」というキーワードで活動している団体は多く、集客は難しくないだ

ろう。ポイントは、フォーラムが一方向の発表で終わるのではなく、関係者以外にも壇上に上がってもらうような企画が必要。

→17 団体の人に関係者への声かけをお願いします。

→広報に向けて、来場者も主体的に参加できるフォーラムになるよう内容を検討する。

(3) フォーラム発表形式・内容

- ・岩室より、写真と解説ではなく、音楽や寸劇を入れて伝わりやすくしたいとの説明。
- ・新しくやるより、17 団体でアクターがやってきてきた成果をみせる。現場感がぶれてしまうのがもったいないので、発表を聞いて、現場のイメージが湧くものがよい。お客さんに、活動が全部見れたらもっと面白いよ、ということが伝わるステージに。
- ・テーマは、子どもたちとまちづくり団体の輪をフォーラムでどう広げるかということ。第3者が入ってくることの刺激もあるので、2 部目はディスカッションなど、来た人とやりとりができるといい。
- ・以前、行政で子ども事業を扱っている関連者に話したが、あまり反応が良くなかった。「アクター」という言葉はわかりやすく、外部の人にもピンとくる写真などの材料を使う方がよい。
- ・まちづくり団体の人に、アクターが来て気付いたことを発信してもらう。子ども側の優秀さよりも、「子どもの世話をしないといけないので面倒」という印象を払拭するため。「来てくれてこれだけよくなった」ということを大人が伝える。
- ・まちづくり団体にも、募集動機は様々である。(県のサポートがあって信頼できるから、子どもが来てくれるからなど)。発表するかは別として、そのカテゴリ別の結果を整理していく必要がある。
- ・お見合い会後に、「うちの所に子どもは派遣されますか？」という問い合わせが多く来た。お見合い会の前後の時はなにか手続きが多くてめんどくさそうなところもあったので、お見合い会を経て子どもたちに来て欲しいという気持ちが本当に起きたのだと思う。そのギャップに驚いた。
- ・アクターの派遣も受け入れも両方やっている立場として話すと（リスト）、アクターに来てもらって見落とししていたところが出てくるがあった。一方で、子どもの扱いに不慣れな所はある。すぐに完璧な受け入れ態勢ができるのは無理で、子どもも大人もお互いに刺激し合うことが必要。
- ・二部構成になっているので、パネルを置くだけではなく子どもとのやり取りを。子どもも3.4人とスタッフ1人のグループの小さいお店を開いて、来場者が20人-30人くらいの単位で訪れるイメージ。
- ・17のまちづくり団体に、派遣後のヒアリングをする必要がある。
- ・派遣を受けてのアンケートはまだやっていない。終わったところからどんどん聞いていく。全体でどんな結果が得られた、ということを示すよりも、個別の意見が大切だ。
- ・アンケートの構成としては、①アクターの派遣を受けての感想 ②現場ごとに個別の質問 ③来年やるとしたら、改善するところ（まちづくり団体／アクター／事務局にむけて）などのシンプルなもの。
- ・以前行った、お見合い会後の交流会がすごく好評だった。その後、お互いの現場を見

に行ったりしていたようだ。なかなか一斉に集まることがないので、まちづくり団体の大人会議があれば行く意味が上がるかもしれない。

→2部構成の後半の形式についてインタラクティブなものにできるか検討

→まちづくり団体に派遣後のヒアリングを行う。発表してもらえるかも相談。

→フォーラム後の交流会を検討。

(4) 会計予算について

中より説明がなされた。

- ・未消化や超過はなく、順調に予算が使われている。
- ・報告書を充実したものになりたい。
- ・外部用に、来年の呼び水になるような4 pから8 pの冊子と、詳しくまとめたものは別で必要。詳細にまとめる報告書では、こどもの感想をそれぞれからもらうのも良い。

(5) その他 派遣終盤での感想

- ・部活が忙しくなって1回しか参加できなかったアクターもいた。
- ・中高生は、部活に入るか地域に入るかの二者択一。部活との戦いがある。
- ・部活は成績に貢献するので入部を推奨されるようだが、アクターのような活動も、AO入試などで成果が上がる ことが見込まれる。
- ・部活が生活のモチベーションになっているようで、災害ボランティアのアンケートでは、引退した運動部の子などが多かった。(他の活動での実例)
- ・各学校に「アクター部」を設置する、くらいの動きにつなげたい。
- ・スポーツゴミ拾いを行っているリストでは、イベントに加えて大会も開いて、年中関わる循環をつくっている。1回目のハードルより、2,3回めの参加のハードルが高い。
- ・つづきジュニアに比べて、アクターの募集は集まりが良くなかった。編集、取材という分かりやすいプログラムがなく、内容が見えないことで不安になるのだろう。次回は活動のようすが報告から見えるので、参加しやすくなると思う。
- ・「自由にしている」というのが大人も子どもも一番困るようだ。でもそこが大切。
- ・子どものバリエーションも多様だった。年齢の幅もそうだが、バイト・部活・受験勉強をしながら参加している子どもが多かった。参加活動から得るものへのモチベーションが高いと見えた。

2. 今後のスケジュール確認

11月11日 午前10時～12時 第7回推進会議

※以前11月18日としていたものが変更になった。

12月2日 10時～17時 発表フォーラム(前日準備を行う)

12月から3月には来年度についての打ち合わせを行う必要がある。

以上。(文責 松田)

神奈川県特命子ども地域アクター養成アクション
第7回かながわ子どもの地域参画推進会議事録

日時:平成24年11月11日 10時～12時

場所:県立青少年センター研修室1

出席者

NPO 法人ミニシティ・プラス 理事長 三輪律江
NPO 法人ミニシティ・プラス 副理事長 岩室晶子
NPO 法人ミニシティ・プラス 理事 中聡美
NPO 法人ミニシティ・プラス 会員 杉山昇太
NPO 法人ミニシティ・プラス 会員 松田香
神奈川県 県民局青少年部青少年課グループリーダー 中野篤子
神奈川県 県民局青少年部青少年課副主幹 平野真理子
神奈川県 県民局青少年部青少年課 鈴木かおり
NPO 法人 横浜プランナーズ・ネットワーク理事 内海宏

《12月2日の成果発表会についての検討》

1. チラシ配布先について

・チラシは5000部印刷

(1)配布先について

・アクターの出身の学校に配布
・横浜全域の学校に送ったほうがいい。教師回覧をしてもらうことを希望。
→地域の公立・私立の中学校・高校に配布。

案内状はアクターの自校とそうでないもの、2パターン用意する。(担当:三輪)

・説明会に参加した団体。
・Facebookのイベントを作成、招待。
・県の施設へ配布依頼。
・市民活動支援課に配布依頼。
・地域の子どもの居場所・拠点などに配布依頼。
→その他会議体のメンバーの協力のもと、告知を進める。
・その他アクターの保護者あてに送る。

2. 12月2日のフォーラム内容について

(1)活動報告シアター

・どういう流れで行動したか、団体の大人とアクター寸劇を行う。ただ、取材など内容によっては形態を変えるので、各団体によって変わる予定。詳細はレジュメに掲載。
・回る舞台利用、アクターバンドの演奏も入れるステージングとなる。
・団体には発表に参加してもらう旨を連絡済み。
・弓矢やまちあるきキットなど、会場に持ち込めるものは、使用する。

- ・「大人」の役は、実際にまちづくり団体にやってもらう。事前にコメントを渡す。リハは当日必要なら行う。メモを持って舞台上がるのも構わない。団体の登場は各発表の時のみ。
- ・活動趣旨を最初に推進会議から行う。
- ・各団体の活動趣旨も必要に応じ、司会から行う。
- ・当日の司会進行もアクターが行う。希望するアクターにお願いする。
- ・内容が複雑なので、大丈夫か？
→舞台監督、照明、音響など重要な部分にプロを入れる。香盤表がしっかりできていればできる。

(2) パネルセッションについて

- ・団体・子どもに直接聞けるようにするのが趣旨。
- ・子どもがまちづくり団体に参加することで、団体に何がもたらされたか、子どもには何がもたらされたか、というテーマ。
- ・PCで各団体のスライドを流し、パネルでやったことを簡単に説明。
- ・子どもが「歩くパネル」形式にする。各ブースには大人が常駐。

3. すべての活動が終了したことでの報告

【振り返りシートについて】

- ・書いてある内容は、個人差があり、きっちり書けているアクターと、そうでない場合の差が大きい。一律にまとめづらい。
- ・現場はギリギリまで仕事があり、終了後、電車の時間、会場退場の時間等の都合で、その場で振り返りシートにじっくり記入する時間がない場合が多かった。
- ・以上の理由もあり、今後フォーラムまでにアクターに個別のヒアリングを行う。
- ・報告書に向けて、振り返りシートの分析は、個人単位で、活動の前後の比較などを行う。

(1) 活動で大変だったこと

- ・前日の欠席連絡が多かった。そのため、(少ない数ではあるが)当日アクターが行けなくなったこともあった。活動自体に支障はなくても、来れるはずが来なくなったというのは困る。
- ・団体から依頼される打ち合わせが予定より増えて、アクターの負担にならないか不安になることもあった。
- ・イベント当日が天候で延期になり、アクター参加が少なくなってしまったものもあった。

(2) アクターについて

- ・高校3年生でもきちんと活動に参加していた。すでに推薦で合格が決まっている人もいる。
- ・アクターの中には、5回参加する人もいれば、1回しか参加できなかった人もいた。
- ・活動にいて団体の他の人に「ボランティアで来てるの?」と言われ、「違います、特命子ども地域アクターです。」と誇らしげに答える場面があり、「すごいね、かっこいいね」と言われている場面があった。アクターにも単なるボランティアではないという意識があったようでよかった。

(3) アクターへのヒアリング内容について

アクターへのヒアリング内容は以下とする。

- ・参加した活動について

- ・会議の回数、講座の回数について、多いかすくないか
- ・自分がなにを得たか、成長したか。
- ・まちのためにこれからも大人になってもできそうなことが発見できたか？
- ・改善すべき点はなにか
- ・大人にいわれてうれしかったことは？
- ・来年もアクターに参加したいか。その条件は？（交通費がでる、でないも含む） など。

・事前段階についても質問したい。まちづくりのいろは講座がどうだったか、会議は多かったか、時間帯は適切か、など。

(4)まちづくり団体へのヒアリングについて

- ・順番におこなっている。メールで送り、送り返してもらおう。その後電話等でインタビューし補足。
- ・現在までの傾向として・・・「アクターを受け入れたことが本当によかったが、はじめてだったこともあり、100%生かしきれなかった。次回もぜひかかわっていきたいが、その際はもっと積極的に参加して欲しい。」「交通費を出しても来て欲しい」「交通費は出せないが来て欲しい」
- ・今後アクターとまちづくり団体のお見合い会をするときに、団体の条件を明確にし（交通費でるでない、スケジュール感、参加の方法など）マッチングすることが必要。

神奈川特命子ども地域アクター養成アクション
第8回かながわ子どもの地域参画推進会議事録

日時:平成24年1月8日 18時~20時

場所:県民サポートセンター4F 会議室

出席者

| | |
|--------------------------|-------|
| NPO 法人ミニシティ・プラス 理事長 | 三輪律江 |
| NPO 法人ミニシティ・プラス 副理事長 | 岩室晶子 |
| NPO 法人ミニシティ・プラス 理事 | 中聡美 |
| NPO 法人ミニシティ・プラス 会員 | 柳本薫 |
| 神奈川県 県民局青少年部青少年課グループリーダー | 中野篤子 |
| 神奈川県 県民局青少年部青少年課副主幹 | 平野真理子 |
| 神奈川県 県民局青少年部青少年課 | 鈴木かおり |
| NPO 法人 横浜プランナーズ・ネットワーク理事 | 山路清貴 |
| NPO 法人 シャーロックホームズ理事 | 東恵子 |
| NPO 法人 教育支援協会 理事 | 田中靖子 |
| NPO 法人 アクションポート横浜 | 北川有紀 |
| リスト株式会社 | 松本紀明 |

1. 12月2日の成果発表会について

- ・入場者数は120人、アンケート35回収。
- ・当日のアクターは風邪で欠席した人もいて、最終的に26名中、4名が欠席、1名遅刻参加。
- ・リハーサルが少ない中、子どもたちはしっかりと発表していて内容はすばらしかった。
- ・お客さんが少なかった。800人のホールに100人ちょっとは少なすぎる。
- ・構成は展開が楽しく、音楽もあって、飽きずにみることが出来た。
- ・パネル展示、交流会ともよかった。

2. 事業の報告書について、目次の案を事務局が示した。

会議で出た以下の意見は、いずれも検討する。

- ・もりだくさんな内容になるので、報告書は大量に印刷せず、限定で作り、気軽に配布できるA3ぐらいまでのパンフレット、あるいはカードのようなものをつくってはどうか？
- ・推進会議メンバーからも事業評価的なヒアリング(アンケート)を行い盛り込む。
- ・上記のコンパクトなパンフレットは、次回の募集につなげられるような内容になっていれば、報告書と同時に来年度募集を盛り込んで今年度に関係者に送ることができてよい。
- ・報告書はホームページからダウンロードして多くの人が見られるようにしたらどうか。
- ・会計に関してはほぼ予定通り進んでおり、問題なく執行できると考えている(事務局)

3. 来年度の継続について

- ・資金がないので、出せる助成金はすべて出していく。(夏にある、神奈川県協働事業負担金などにも応募検討する)

- ・NPO 法人ミニシティ・プラスでよこはま夢ファンドに登録した。企業協賛も募っていく。
- ・推進会議メンバーは、今年度は手探りで進めてきたが、事業が終了して、参加できる場面がわかってきたので、今後も現在のメンバーは引き続き参加する。推進会議には子どもアクターの参加も検討する。協力体として参加したい団体から、推進会議に参加したいところがあれば今後検討する。
- ・協力体の位置づけがあいまいなため検討の余地あり。
- ・アクター募集とまちづくり団体募集は3月～6月(予定)と長めの募集をする。
- ・まちづくりのいろは講座は子どもたちに好評だったが、実際の派遣に生かせなかったという意見があったため、ワークショップを増やすことなども含め、改訂して行う。
- ・まちづくりのいろは講座は次回も横浜市大と連携して行う。横浜市の高校との連携も検討していく。
- ・まちづくり団体は、受け入れの方法について明確にもらい、子どもたちに提示した上で調整をおこなう。(交通費、飲食代を出せるかどうか、どのくらい活動に参画できる等)
- ・まちづくり団体への付き添いについてもすべてにいけるかどうかは未定なので、どこまで受け入れを増やせるかは調整する必要がある。
- ・募集にあたって、まちづくり団体選定の基準を定義する必要がある。

4. その他

次回の会議は 3月17日 10時～12時 横浜市市民活動支援センター4F 会議室
最終回なので、大人と子どもが一緒に行う。

このときまでに報告書をまとめ、手渡しできるようにする。子どもたちには活動の記録写真を DVD に焼いて、渡せるようにする。

ティーンがまちをつくる
特命 子ども 地域アクター事業

2013年3月発行

【かながわ子どもの地域社会参画推進会議事務局】
〒224-0001横浜市都筑区中川1-4-1-411
(ILoveつづき内) NPO法人ミニシティ・プラス
Tel&fax (045) 306-9004 (月～金9時～17時)
メールアドレスminicityplus@gmail.com

このプロジェクトの会議体メンバー

神奈川県民局青少年部青少年課/NPO法人ミニシティ・プラス
NPO法人横浜プランナーズネットワーク/NPO法人 アクションポート横浜
NPO法人 教育支援協会 /NPO法人 シャーロックホームズ /リスト株式会社